

国士舘大学学則

令和8年6月

学校法人 国 士 舘

目 次

第 1 章 総 則（第 1 条～第 4 条）

第 2 章 通 則（第 5 条～第 39 条）

- 第 1 節 学年・学期及び休業日（第 5 条～第 7 条）
- 第 2 節 入学、転学、留学、休学、退学及び除籍等（第 8 条～第 20 条）
- 第 3 節 入学検定料及び入学金等（第 21 条～第 24 条）
- 第 4 節 教職員組織（第 25 条～第 29 条）
- 第 5 節 教授会、学部長会及び委員会（第 30 条～第 36 条）
- 第 6 節 附属施設等（第 37 条・第 38 条）
- 第 7 節 附置研究所等（第 39 条～第 39 条の 6）

第 3 章 学 部（第 40 条～第 75 条）

- 第 1 節 教育課程の教育研究上の目的、授業科目及び修業年限・在学年限
（第 40 条・第 41 条）
- 第 2 節 履修方法、試験及び単位認定（第 42 条～第 51 条）
- 第 3 節 卒業及び学位（第 52 条・第 53 条）
- 第 4 節 教科・教職に関する科目（第 54 条～第 56 条）
- 第 5 節 科目等履修生、聴講生、研究生及び委託学生（第 57 条～第 68 条）
- 第 6 節 外国人留学生及び交換留学生（第 69 条～第 70 条）
- 第 7 節 公開講座（第 71 条）
- 第 8 節 賞 罰（第 72 条・第 73 条）
- 第 9 節 奨学制度（第 74 条）
- 第 10 節 学生寮（第 75 条）

第 4 章 定型約款（第 76 条）

第 5 章 雑 則（第 77 条）

附 則

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 国士舘大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、建学の精神に則り、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、歴史と伝統をたつとび、心身を錬磨し、誠意・勤労・見識・気魄の徳性を養い、もって道義日本を建設し人類の福祉に貢献する有為の人材を養成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第 1 条の 2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本大学における教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 自己点検・評価の項目、実施に関する組織及び、運営等については別に定める。

(組 織)

第 2 条 本大学に次の大学院研究科、学部及び学科を置く。

大 学 院

政 治 学 研 究 科

経 済 学 研 究 科

経 営 学 研 究 科

スポーツ・システム研究科

救急システム研究科

工 学 研 究 科

法 学 研 究 科

総合知的財産法学研究科

人 文 科 学 研 究 科

グローバルアジア研究科

政 経 学 部

政 治 行 政 学 科

経 済 学 科

体 育 学 部

体 育 学 科

武 道 学 科

ス ポ ー ツ 医 科 学 科

こどもスポーツ教育学科

理 工 学 部

理 工 学 科

法 学 部

法 律 学 科
 現 代 ビ ジ ネ ス 法 学 科
 文 学 部
 教 育 学 科
 史 学 地 理 学 科
 文 学 科
 21 世 紀 ア ジ ア 学 部
 21 世 紀 ア ジ ア 学 科
 経 営 学 部
 経 営 学 科

(大学院の規定)

第3条 大学院については、別に定める。

(学生定員)

第4条 各学部における学科等の学生定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員(人)	3年次編入学 定員(人)	収容定員(人)
政 経 学 部	政 治 行 政 学 科	175	—	700
	経 済 学 科	360	—	1,440
体 育 学 部	体 育 学 科	220	—	880
	武 道 学 科	90	—	360
	ス ポ ー ツ 医 科 学 科	150	15	630
	こどもスポーツ教育学科	80	—	320
理 工 学 部	理 工 学 科	335	—	1,340
法 学 部	法 律 学 科	200	—	800
	現 代 ビ ジ ネ ス 法 学 科	200	—	800
文 学 部	教 育 学 科	120	—	480
	史 学 地 理 学 科	170	—	680
	文 学 科	100	—	400
21世紀アジア学部	21世紀アジア学科	350	—	1,400
経 営 学 部	経 営 学 科	270	—	1,080

計	2,820	15	11,310
---	-------	----	--------

第 2 章 通 則

第 1 節 学年・学期及び休業日

(学 年)

第5条 春期入学者の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 秋期入学者の学年は、9月16日に始まり、翌年9月15日に終わる。

(学 期)

第6条 学年は、次の2期に分ける。

春 期 4月1日から9月15日まで

秋 期 9月16日から翌年3月31日まで

2 前項の期日は、必要に応じ、変更することができる。

(休業日)

第7条 休業日は、次のとおりとする。

日 曜 日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

創立記念日 11月4日

春 季 休 業 3月21日から3月31日まで

夏 季 休 業 8月1日から9月15日まで

冬 季 休 業 12月24日から翌年1月7日まで

2 前項の休業期間及び期日は、授業又は行事等の都合により、変更することができる。

3 第1項に定める休業日のほか、必要に応じ、臨時に休業日を設けることができる。

第 2 節 入学、転学、留学、休学、退学及び除籍等

(入学時期)

第8条 本大学の入学は、第6条に規定する各期の始めとする。

(入学資格)

第9条 本大学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年1月31日文部科学省令第1号）により、文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（選考の方法）

第10条 前条による入学志願者について、教授会の意見を聴き、学長が合格者を決定し、所定の手続を経た者に入学を許可する。

2 選考の方法は、別に定める。

（編入学・転入学）

第11条 次の各号の一に該当する者で、本大学へ編入学又は転入学を志願する者について、学長が合格者を決定し、所定の手続を経た者に相当年次への編入学又は転入学を許可するものとする。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の課程を修了若しくは卒業した者
- (4) 学校教育法第132条に定める専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- (5) 学校教育法第58条の2に定める高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

2 他の大学に在籍する者が、本大学に転入学を希望するときは、その大学の承認を得なければならない。

3 選考の方法は、別に定める。

（入学手続）

第12条 合格通知を受け入学を希望する者は、指定期日までに、本大学所定の書類を提出し、かつ、第22条に定める入学金及び学費（以下「入学金等」という。）を納入しなければならない。

2 指定の期日までに手続を完了しないときは、入学を許可しない。

(保証人)

第13条 学生は、入学に際し、保証人を設けなければならない。

- 2 保証人は、学生の父又は母とし、その双方を欠くときは、これに準ずる者とする。
- 3 保証人は、その保証する学生が在学中に遵守すべき事項について責任を負うものとする。
- 4 保証人は、その住所等に異動があったときは、直ちに届出なければならない。
- 5 保証人を変更するときは、速やかに届出なければならない。

(他大学への入学等)

第14条 学生が他大学へ入学又は転入学を志望するときは、学長の許可を得なければならない。

(転学部・転学科)

第15条 学生が転学部、転学科を志望するときは、春期の始めに限り、学部で選考の上、学長が許可するものとする。

(外国留学)

第16条 学生が外国の大学又は短期大学に留学を志望するときは、学長の許可を得なければならない。

- 2 外国の大学及び短期大学において修学する期間は、原則として1年とする。
- 3 留学の許可を得た者が、留学した大学又は短期大学において修得した単位については、教授会の議を経て、60単位を限度として本大学において修得したものとみなすことができる。
- 4 学生の外国留学については、前3項によるほか、必要な事項は別に定める。

(欠席届)

第17条 学生が病気その他やむを得ない理由のため欠席するときは、理由を付して、届出るものとする。

- 2 欠席が7日以上にわたるときは、理由を付して、保証人と連署の上、届出るものとする。

(休学及び復学)

第18条 学生が病気その他やむを得ない理由のため1月以上にわたり欠席する場合は、許可を得て休学することができる。

- 2 休学しようとするときは、休学願を提出し、学長の許可を得なければならない。
- 3 休学期間は、在学年数に算入しない。また、休学は通算8回を超えない。
- 4 休学は、その学年を超えることができない。ただし、特別の事情があるときは、許可を得て引き続き1年もしくは第6条に規定する春期又は秋期まで延長することができる。
- 5 復学の時期は、第6条に規定する各期の始めとする。
- 6 復学の手続については、第2項の規定を準用する。

(退学及び再入学)

第19条 学生が病気その他の理由により退学しようとするときは、保証人と連署の上、理由を付して

退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

- 2 前項の規定によって退学した者が、再入学を願い出たときは、学長の許可を得なければならない。
- 3 第73条第2項の規定によって退学処分を受けた者の再入学は認めない。
- 4 再入学の時期は、第6条に規定する各期の始めとする。
- 5 再入学の手続については、第12条及び第13条の規定を準用する。

(除籍及び復籍)

第20条 学生が、次の各号の一に該当するときは、学長が除籍する。

- (1) 第41条に規定する在学年限を超えた者
 - (2) 第18条第4項に規定する休学期間を超えた者
 - (3) 正当な理由がなく、無届で3月以上連続して欠席した者
 - (4) 正当な理由がなく、所定の期日までに学費等定められた納入金を納入しない者
- 2 除籍の場合は、保証人に通知するものとする。
 - 3 第1項の規定により除籍された者が、復籍を願い出たときは、第3号の場合のみ事情を調査の上、学長が復籍を許可するものとする。
 - 4 復籍の手続については、別に定める。

第3節 入学検定料及び入学金等

(入学検定料)

第21条 本大学に入学を志望する者は、別表第12に定める入学検定料を納入しなければならない。

(納入金)

第22条 納入金とは、別表第13から別表第16に定める入学金等及び別に定める諸費をいう。

- 2 納入金は、別に定めるところにより、所定の期日までに納入しなければならない。
- 3 高学年学生（5年次生以上）の学費は、別に定めるところにより、減免する。

(納入金の改定)

第23条 納入金の改定が行われた場合、在学生には適用しないものとする。ただし、諸費については、特別の事情があるときは、在学生にも適用することができる。

(入学検定料及び入学金等の返還)

第24条 既に納入した入学金は返還しない。ただし、入学検定料、学費及び諸費等については、特別な場合に限り返還することができる。

- 2 入学検定料、学費及び諸費等の返還については別に定める。

第4節 教職員組織

(学 長)

第25条 本大学に、学長を置く。

2 学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

(副学長)

第26条 本大学に、副学長を置くことができる。

2 副学長は、教学全般について学長を補佐する。

3 副学長の選任等については、別に定める。

(学部長等)

第27条 各学部に学部長を置く。

(教 員)

第28条 本大学に教授、准教授及び講師を置く。

2 本大学に助教を置くことができる。

3 本大学に別に定めるところにより、特任教授を置くことができる。

4 本大学に別に定めるところにより、客員教授を置くことができる。

(名誉教授)

第28条の2 本大学に、多年勤務した者であつて、教育上又は学術上特に功績のあつた者に対し、別に定めるところにより、名誉教授の称号を授与することができる。

(職 員)

第29条 本大学に事務職員、技術職員及びその他必要な職員を置く。

第 5 節 教授会、学部長会及び委員会

(教授会の構成)

第30条 本大学各学部教授会を置き、専任教授をもって構成する。ただし、必要と認められる場合は、准教授及び専任講師を加えることができる。

2 学長及び副学長は、教授会に出席することができる。

(教授会の招集)

第31条 教授会は、学部長が招集し、議長となる。

2 学部長等は、所属教授会構成員の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して教授会の開催を求められた場合には、教授会を招集しなければならない。

(教授会の成立及び議決)

第32条 教授会は、構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席者の過半数による。

(教授会の検討事項)

第33条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する事項について、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(学部長会)

第34条 本大学に、学部長会を置く。

2 学部長会は、学長、副学長、各学部長をもって構成し、2学部以上にわたる教学に関する共通事項について協議し、各学部等相互の意見の調整をはかるものとする。

3 学部長会の運営については、別に定める。

(委員会)

第35条 本大学に、学長の諮問機関として委員会を置くことができる。

(応急措置)

第36条 学長は、非常変災その他急迫の事情があるときには、教学に関して臨機の措置をとることができる。このときは、速やかに教授会に報告するものとする。

第6節 附属施設等

第37条 削除

(国際交流センター)

第37条の2 本大学に、国際交流センターを置く。

2 国際交流センターについては、別に定める。

(図書館・情報メディアセンター)

第37条の3 本大学に、図書館・情報メディアセンターを置く。

2 図書館・情報メディアセンターについては、別に定める。

(健康管理室)

第38条 本大学に、健康管理室を設け、教職員及び学生の保健管理に関する業務のほか、健康増進に関する指導を行う。

2 健康管理室の運営については、別に定める。

第 7 節 附置研究所等

(附置研究所及び附属研究施設等)

第39条 本大学に、防災・救急救助総合研究所を附置する。

2 前項に規定するもののほか本大学の学部、必要に応じて附属研究施設及び学会を置くことができる。

3 第1項に規定された附置研究所及び第2項に示す附属研究施設等については、別に定める。

第39条の2 削除

第39条の3 削除

(地域連携・社会貢献推進センター)

第39条の4 本大学に、地域連携・社会貢献推進センターを置く。

2 地域連携・社会貢献推進センターについては、別に定める。

(ウエルネス・リサーチセンター)

第39条の5 本大学に、ウエルネス・リサーチセンターを置く。

2 ウエルネス・リサーチセンターについては、別に定める。

第39条の6 削除

第 3 章 学 部

第 1 節 教育課程の教育研究上の目的、授業科目及び修業年限・在学年限

(教育研究上の目的・授業科目)

第40条 本大学が設置する学部等の教育研究上の目的並びに学部において開設する授業科目、単位数及び開設年次等は、次のとおりとする。

- (1) 政経学部は、別表第1
- (2) 体育学部は、別表第2
- (3) 理工学部は、別表第3
- (4) 法学部は、別表第4
- (5) 文学部は、別表第5
- (6) 21世紀アジア学部は、別表第6
- (7) 経営学部は、別表第7

(8) 全学共通教育科目は、別表第8

- 2 授業科目について、特別の事情があるときは、学部の定めるところにより他学部又は他学科に属する科目をもって充てることができる。
- 3 第1項の別表第1から同第8に定める授業科目のほか、必要に応じて特別講義、演習又は随意科目を開設することができる。

(修業年限・在学年限)

- 第41条 学部の修業年限（修業期間）は、4年（8期）とする。ただし、8年（16期）を超えて在学することはできない。
- 2 編入学及び転入学した者は、当該修業年限（修業期間）の2倍に相当する年数（期数）を超えて在学することはできない。
 - 3 再入学した者は、再入学以前の在学年数（在学期数）を加えて8年（16期）を超えることはできない。

第2節 履修方法、試験及び単位認定

(履修要領)

- 第42条 第40条に定める各授業科目の履修要領は、別に定める。また、卒業所要単位は、別表第9に定める。
- 2 学生が、第40条第2項のほかに科目の履修を希望するときは、当該学部に申し出て承認を得た後履修することができ、修得した単位は卒業所要単位に算入することができる。
 - 3 学生は、第40条に定める各授業科目の中から指定された特定分野の授業科目を副専攻科目として、別に定めるところにより、履修することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

- 第43条 本大学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議により、本大学の学生の当該大学又は短期大学の授業科目の履修を認めることができる。また、当該大学又は短期大学の学生を本大学において特別聴講生として履修させることができる。
- 2 本大学の学生が前項の規定により、履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本大学において修得したものとみなすことができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

- 第43条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 2 前項により与えることのできる単位数は、第16条第3項及び前条第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(外国で教育を受けた学生に対する履修の特例)

第44条 外国人留学生及び外国人留学生以外の学生で、外国において相当期間、中等教育を受けた者の教育について必要があると認めるときは、日本語に関する科目及び日本事情に関する科目を開設し、履修させることができる。

(教員免許状及び諸資格)

第45条 教育職員の免許状を得ようとする者の履修要領は、第54条、第55条及び第56条による。

2 司書、司書教諭、学校司書、博物館学芸員及び社会教育主事補の資格を得ようとする者は、それぞれ別表第10及び第10の2に定める科目の単位を修得しなければならない。

3 測量士補の資格を得ようとする者は、別に定める科目の単位を修得しなければならない。

(履修届)

第46条 学生は、春期の始めに、当該学年に履修する科目を選定して届出なければならない。ただし、第6条に規定する秋期の始めとすることができる。

(単位の基準)

第47条 各授業科目の単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とし、外国語については、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価し単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(多様なメディアによる授業の方法)

第47条の2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところによって、前条に規定する講義、演習、実験、実習又は実技による授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業方法により与えることができる単位数は60単位を超えないものとする。

(試験)

第48条 履修した授業科目については、定期的に試験を行う。ただし、授業科目によっては、平常の成績をもって試験にかえることができる。

2 やむを得ない理由によって定期の試験を受けなかった者については、教授会の承認を得て、追試験を受けることができる。

(成績評価)

第49条 各授業科目は、成績によって合格、不合格を決める。

- 2 成績評価は、秀、優、良、可、不可及び欠席と表記し、秀、優、良、可を合格、不可、欠席を不合格とする。また、単位認定を認と表記することができる。
- 3 評価基準は100点を満点とし、90点から100点を秀、80点から89点を優、70点から79点を良、60点から69点を可とし、59点以下は不可とする。
- 4 学業成績を総合的に判断する指標として、Grade Point Average（以下「G P A」という。）を用いる。なお、G P Aに関しては、別に定める。

(単位認定及び再履修)

第50条 各授業科目の試験に合格した者には、当該科目所定の単位を与える。ただし、各授業科目について出席すべき時間数（試験時間数を含む。）の3分の2以上の出席がなければならない。

- 2 単位の修得ができなかった科目については、あらためて、その科目を履修しなければ受験することができない。

(入学前の既修得単位等の認定)

第51条 大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）を卒業し、あるいは中途退学して新たに第1年次に入学した学生の既修得単位については、教授会の議を経て、60単位を超えない範囲で本大学において修得したものとみなすことができる。

ただし、このことによって修業年限を短縮することはできない。

- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、本大学の学生が本大学に入学する前に行った第43条の2第1項に規定する学修を本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第16条第3項及び第43条第2項並びに第43条の2第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第 3 節 卒業及び学位

(卒 業)

第52条 本大学に4年（8期）以上在学して、所定の授業科目を履修し、定められた単位数を修得した者は、卒業とする。

- 2 卒業の時期は、第6条に規定する各期の終りとする。

(学 位)

第53条 本大学を卒業した者には、次の区分により学士の学位を授与する。

政 経 学 部

政治行政学科	学士（政治学）
経済学科	学士（経済学）
体育学部	
体育学科	学士（体育学）
武道学科	学士（武道学）
スポーツ医科学科	学士（スポーツ医科学）
こどもスポーツ教育学科	学士（体育学）
理工学部	
理工学科	学士（工学）、学士（理学）
法学部	
法律学科	学士（法学）
現代ビジネス法学科	学士（法学）
文学部	
教育学科	学士（文学）
史学地理学科	学士（文学）
文学科	学士（文学）
21世紀アジア学部	
21世紀アジア学科	学士（アジア学）
経営学部	
経営学科	学士（経営学）

第4節 教科・教職に関する科目

（教職科目の設置）

第54条 本大学各学部、学科に、教員免許状授与の所要資格を得させるための課程を置く。

2 課程の認定を受けた学部、学科における免許状の種類及び各免許教科は、別表第11のとおりとする。

（教職科目の履修）

第55条 前条第2項に示す教員免許状を得ようとする者は、所属する学部、学科において開設する教員免許状の取得に必要な授業科目について、本大学で定める所定の単位を修得しなければならない。

（教職科目の配当）

第56条 本大学で開設する教職課程科目は、別に定める。

2 別表第1から別表第8に規定する授業科目のうち、別表第11の教員免許状の取得に係る授業科目については、備考欄に下表のとおり表記する。

表記	左欄表記が示す教育職員免許法施行規則に規定する科目
幼	領域に関する専門的事項に関する科目

小、国、社、 数、理、保、 技、英、地、 公、書、情、 工、商	小は小学校、国は国語、社は社会、数は数学、理は理科、保は保健体育、技は技術、英は英語、地は地理歴史、公は公民、書は書道、情は情報、工は工業、商は商業の教科に関する専門的事項に関する科目
養	養護に関する科目
職	教育職員免許法施行規則第2条から第5条に定める第2欄（指導法に係る部分に限る）から第5欄及び第9条に定める第3欄から第5欄の科目
独自	大学が独自に設定する科目
特支	特別支援教育に関する科目
教免要件	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

第 5 節 科目等履修生、聴講生、研究生及び委託学生

（科目等履修生の入学）

第57条 本大学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）が本大学に開設された授業科目について、受講を願い出たときは、当該学部で選考の上、正規の課程の学生の学修を妨げない範囲で、学長が入学を許可するものとする。

2 科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

（科目等履修生の単位の認定）

第58条 科目等履修生が、履修科目の受講を修了し所定の試験に合格（試験によらない場合の成果の評価を含む。）したときは、その科目の単位を認定し、単位認定書を授与する。

（科目等履修生の在学年限）

第59条 科目等履修生として在学した年限は、正規の課程の在学年限（在学期限）に算入することはできない。

（科目等履修生の教免申請）

第60条 学部を卒業して科目等履修生となった者が、第55条に規定する単位を修得した場合は、教員免許状を申請することができる。

（科目等履修生の規定の準用）

第61条 科目等履修生に関して、第57条から前条までに規定した以外の事項で、科目等履修生に関して必要な事項は、当該学部の正規の課程の学生に適用する規定を準用する。

（聴講生）

第61条の2 本大学で開講している授業科目の聴講を希望する者（以下「聴講生」という。）があるときは、当該学部で選考の上、正規課程の学生の学修を妨げない範囲で、学長が聴講を許可するものとする。

2 聴講生について必要な事項は、別に定める。

(研究生の受入)

第62条 本大学で特定の課題について研究をすすめよう并希望する者があるときは、当該学部で選考の上、正規の学生の学修を妨げない範囲において、学長が研究生として受入を許可するものとする。

2 研究生について必要な事項は、別に定める。

(研究生の聴講)

第63条 研究生は、指導教授の承認を得て、学部の講義、演習及び実験等を聴講することができる。

(研究証明)

第64条 研究生として相当の成績をおさめた者には、研究証明書を与える。

(研究期間)

第65条 研究生の研究期間は、1年もしくは第6条に規定する春期又は秋期とする。ただし、事情によって期間の延長を願い出ることができる。

(研究生の規定の準用)

第66条 第62条から第65条までの規定及び研究生に関する他の規定以外の事項で、研究生に関して必要な事項は、当該学部の正規の学生に適用する規定を準用する。

(委託学生の入学)

第67条 委託学生とは、官公庁その他の団体等の委託に基づき、第10条の規定によらないで、本大学において学修を許可された学生をいう。

2 委託学生として入学を希望する者に対しては、正規の学生の学修を妨げない範囲で、当該学部で選考の上、学長が許可するものとする。

(委託学生の取扱)

第68条 前条の規定による委託学生で、正規の課程の履修を希望する者は、第9条の規定による入学資格を有するものでなければならない。この場合の履修要領及び卒業等については、正規の課程の学生に適用する規定による。

2 前条の規定による委託学生で、科目等履修生として入学を希望する者は、第57条から第61条までの規定を準用する。ただし、第57条に定める入学資格のない者であっても、科目等履修生として入学を許可することができる。

第6節 外国人留学生及び交換留学生

(外国人留学生の入学)

第69条 外国人留学生で本大学に入学を志願する者に対しては、選考の上、所定の手続を経た者に入学を許可する。

(交換留学生)

第69条の2 本大学は、本大学との協定に基づき、外国の大学又は短期大学の学生が本大学の授業科目を履修する場合は、交換留学生として受け入れることができる。

2 交換留学生について、必要な事項は別に定める。

(外国人留学生の取扱)

第70条 外国人留学生で、前条の規定により正規の課程に入学を希望する者は、第9条による入学資格を有するものでなければならない。

2 前項に定める外国人留学生の履修要領及び卒業等については、正規の学生に適用する規定による。

3 外国人留学生の取扱いについて、必要な事項は別に定める。

第7節 公開講座

(公開講座)

第71条 本大学は、正規の授業科目以外に、必要に応じて特別の講座を設けて、一般に公開することができる。

2 公開講座に関する規程は、別にこれを定める。

第8節 賞 罰

(表 彰)

第72条 本大学の学生で、人物及び学業の優秀な者又は表彰に該当する行為のあった者は、学長が表彰する。

(懲 戒)

第73条 学生が、本大学の規則に背き又は学生の本分に反する行為をしたときは、その都度懲戒委員会を設けて審議し、学長が懲戒を行う。

2 懲戒は、戒告、停学及び懲戒退学とし、懲戒退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められるもの

(2) 学業を怠り、成業の見込がないと認められるもの

(3) 正当な理由がなく、出席が常でないもの

(4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反したもの

3 前項の規定によって停学又は懲戒退学を命じたときは、その旨を保証人に通知する。

4 懲戒に関する規程については、別に定める。

第 9 節 奨学制度

(奨学制度)

第74条 本大学に奨学制度を設ける。

2 奨学制度に関しては、別に定める。

第 10 節 学生寮

(学生寮)

第75条 本大学に学生寮を置く。

2 学生寮に関しては、別に定める。

第 4 章 定型約款

(定型約款)

第76条 この学則及び本学が定めるその他諸規則（以下、「本約款」という。）を、民法第3編第2章第1節第5款で定める定型約款とみなす。

2 本約款は、民法第548条の4の規定により、変更することがある。

3 前項の規定により本約款を変更する場合には、本約款を変更する旨及び変更後の本約款の内容並びにその効力発生時期を本学ホームページに記載し、インターネットによる公開の方法により周知する。

第 5 章 雑 則

(雑 則)

第77条 この学則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 本学則は、昭和33年4月1日から施行する。
- 2 本学則は、昭和36年4月1日から施行する。
- 3 本学則は、昭和37年4月1日から施行する。
- 4 本学則は、昭和38年4月1日から施行する。
- 5 本学則は、昭和39年4月1日から施行する。
- 6 本学則は、昭和40年4月1日から施行する。

- 7 本学則は、昭和41年4月1日から施行する。
- 8 本学則は、昭和44年4月1日から施行する。
- 9 本学則は、昭和46年4月1日から施行する。
- 10 本学則は、昭和49年4月1日から施行する。
- 11 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 12 本学則は、昭和51年4月1日から施行する。
- 13 本学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 14 本学則は、昭和53年4月1日から施行する。
- 15 本学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 16 本学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 17 本学則は、平成元年4月1日から施行する。
- 18 本学則は、平成2年4月1日から施行する。

ただし、平成2年度から平成5年度において政経学部二部の総定員は、第4条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
政治学科	850	900	950	1,000
経済学科	650	700	750	800

- 19 本学則は、平成3年4月1日から施行する。

ただし、平成3年度から平成11年度の間における工学部及び法学部の入学定員については、第4条の規定にかかわらず、下表のとおりとする。

工 学 部				法学部
機械工学科	電気工学科	土木工学科	建築学科	法律学科
80	80	80	80	300

また、学則第54条、第55条及び第56条の規定は、平成2年度入学生から適用する。

- 20 本学則は、平成3年9月18日から施行する。

ただし、第53条の規定は、平成3年7月1日から適用する。

- 20-2 平成3年3月以前の本学卒業生に対する学士の称号は、第53条の規定による学士の学位とみなす。

- 21 本学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、平成4年度から平成11年度の間における政経学部一部、体育学部及び文学部の入学定員については、第4条の規定にかかわらず、下表のとおりとする。

政経学部一部	経 済 学 科	300人
	経 営 学 科	250人
体 育 学 部	体 育 学 科	300人
文 学 部	教 育 学 科 倫 理 学 専 攻	30人

	史学地理学科 国史学専攻 東洋史学専攻 地理学専攻	70人 40人 60人
	文学科 中国文学専攻 国語国文学専攻	30人 70人

22 本学則は、平成5年4月1日から施行する。

23 本学則は、平成6年4月1日から施行する。

24 本学則は、平成7年4月1日から施行する。

25 本学則は、平成8年4月1日から施行する。

ただし、改正後の第41条1項と3項の別表第1、第2、第3、第4、第5、第6及び第42条1項、第44条、第51条の定めにかかわらず、平成7年4月1日以前の入学生については、なお従前の例による。

26 本学則は、平成9年4月1日から施行する。

27 本学則は、平成10年4月1日から施行する。

28 本学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

2 学則第4条の規定にかかわらず、次の表の学部の学科等の平成12年度から平成16年度間における入学定員については、次の表のとおりとする。

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
政経学部一部	経済学科	280	260	240	220	200
	経営学科	230	210	190	170	150
体育学部	体育学科	210	195	180	165	150
工学部	機械工学科	80	80	80	80	80
	電気電子工学科	80	80	80	80	80
	土木工学科	80	80	80	80	80
	建築学科	80	80	80	80	80
法学部	法律学科	285	270	255	240	225
文学部	教育学科 倫理学専攻	30	30	30	30	30
	史学地理学科					
	国史学専攻	70	70	70	70	70
	東洋史学専攻	40	40	40	40	40
	地理学専攻	60	60	60	60	60
	文学科					
	中国文学専攻	30	30	30	30	30
	国語国文学専攻	70	70	70	70	70

附 則

- この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 工学部の電気工学科は、改正後の学則第2条、第4条、第41条第3項第4号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成13年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 学則第4条の規定にかかわらず、次の表の学部の学科等の平成13年度から平成16年度の間ににおける入学定員については、次の表のとおりとする。

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
政経学部一部	経済学科	280	260	240	220	200
	経営学科	230	210	190	170	150
体育学部	体育学科	210	195	180	165	150
工学部	機械工学科	80	80	80	80	80
	電気電子工学科	80	80	80	80	80
	土木工学科	80	80	80	80	80
	建築学科	80	80	80	80	80
法学部	法律学科	285	245	230	215	200
文学部	教育学科 倫理学専攻	30	30	30	30	30
	史学地理学科					
	国史学専攻	70	70	70	70	70
	東洋史学専攻	40	40	40	40	40
	地理学専攻	60	60	60	60	60
	文学科					
	中国文学専攻	30	30	30	30	30
	国語国文学専攻	70	70	70	70	70

- 4 学則第41条第3項第4号に定める別表第4電気電子工学科の教職課程教科「情報」に関する科目については、在学生に対し適用し、履修学生の年次以下に開設している科目を履修することができる。

附 則

- この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 工学部の機械工学科、土木工学科、建築学科は、改正後の学則第2条、第4条、第41条第3項第4号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成14年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 学則第4条の規定にかかわらず、次の表の学部の学科等の平成14年度から平成16年度の間ににおける入学定員については、次の表のとおりとする。

		平成14年度	平成15年度	平成16年度
政経学部一部	経済学科	240	220	200
	経営学科	190	170	150
体育学部	体育学科	180	165	150

工 学 部	機 械 情 報 工 学 科	80	80	80
	電 気 電 子 工 学 科	80	80	80
	都市システム工学科	80	80	80
	建築デザイン工学科	80	80	80
法 学 部	法 律 学 科	230	215	200
文 学 部	教 育 学 科 倫 理 学 専 攻	30	30	30
	史学地理学科			
	国 史 学 専 攻	70	70	70
	東 洋 史 学 専 攻	40	40	40
	地 理 学 専 攻	60	60	60
	文 学 科 中 国 文 学 専 攻 国 語 国 文 学 専 攻	30 70	30 70	30 70

附 則

- この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 政経学部一部及び政経学部二部の各学科は、改正後の学則第2条、第4条、第41条第1項第1号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成15年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 学則第4条の規定にかかわらず、次の表の学部の学科等の平成15年度から平成16年度の間ににおける入学定員については、次の表のとおりとする。

			平成15年度	平成16年度
政 経 学 部	経済学科	昼間主コース	240	220
	経 営 学 科		230	210
体 育 学 部	体 育 学 科		165	150
工 学 部	機 械 情 報 工 学 科		80	80
	電 気 電 子 工 学 科		80	80
	都市システム工学科		80	80
	建築デザイン工学科		80	80
法 学 部	法 律 学 科		215	200
文 学 部	教 育 学 科 倫 理 学 専 攻		30	30

	史学地理学科		
	国史学専攻	70	70
	東洋史学専攻	40	40
	地理学専攻	60	60
	文学科		
	中国文学専攻	30	30
	国語国文学専攻	70	70

附 則

この学則は、平成15年10月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年 4 月 1 日から施行する。
- 2 文学部の史学地理学科国史学専攻及び地理学専攻並びに文学科中国文学専攻及び国語国文学専攻は、改正後の学則第 2 条、第 4 条、第41条第 1 項第 5 号、第42条第 1 項、第53条及び第54条第 2 項の規定にかかわらず、平成16年 3 月31日に当該専攻に在学するものが当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成16年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年10月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 法学部の現代ビジネス法学科昼間主コース及び夜間主コースは、改正後の学則第2条、第4条、第41条第1項第4号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成18年3月31日に当該コースに在学する者が当該コースに在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 工学部の機械情報工学科、電気電子工学科、都市システム工学科及び建築デザイン工学科は、改正後の学則第2条、第4条、第41条第1項第3号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成19年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 政経学部政治学科昼間主コース・夜間主コース及び経済学科昼間主コース・夜間主コースは、改正後の学則第2条、第4条、第40条第1項第1号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず、平成20年3月31日に当該学部在籍する者が当該学部在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第1号別表第1から同条同項第5号別表第5の「海外研修」に関する外国語科目については在学学生に対し適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第4号別表第4の「スポーツ法学」に関する科目については在学学生に対し適用

し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 政経学部の経営学科は、改正後の第2条、第4条、第40条第1項第1号、第53条及び第54条第2項別表10の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該学部 に在籍する者が当該学部 に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学則第40条第1項第5号別表第5の教育学専攻及び日本文学・文化専攻の「教職中免（副免）社会、国語」に関する科目については在学 生 に対し適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2の「キャリアアップ実践講座」については在学 生 に対しても適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第4号別表第4の「国際刑事司法と紛争処理」に関する科目については在学 生 に対し随意科目として適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2の「初等教育実習3（事後指導を含む）」については、平成24年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第2号別表第2の「教職実践演習（小・中・高）」については、平成22年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 4 学則第40条第1項第4号別表第4の「キャリアデザイン」、「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」、「法学特殊講義Ⅰ」、「法学特殊講義Ⅱ」、「法学特殊講義Ⅲ」、「インターンシップ」及び「ボランティア活動」に関する科目については在学 生 に対し適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。

- 2 学則第42条別表第8の法学部現代ビジネス法学科については、平成25年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は平成27年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2の「保健体育科教育論Ⅰ」については、平成24年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第7号別表第7の「経営TOEIC英語1」、「経営TOEIC英語2」、「経営TOEIC英語3」及び「経営TOEIC英語4」については、平成26年度入学生から適用し、科目を履修することができる。又、「経営学史A」及び「経営学史B」については平成23年度入学生から適用し、科目を履修することができる。
- 4 学則第56条別表第11の「教職実践演習（小・中・高）」については、体育学部こどもスポーツ教育学科の平成24年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 政経学部政治学科は、改正後の学則第2条、第4条、第40条第1項第1号、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず平成28年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 学則第40条第1項第2号別表第2の「脳神経外科学」は平成26年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 4 学則第40条第1項第2号別表第2の「コミュニケーション演習Ⅰ」、「コミュニケーション演習Ⅱ」は平成26年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 5 学則第40条第1項第4号別表第4の「寄附講座Ⅰ」、「寄附講座Ⅱ」、「寄附講座Ⅲ」、「寄附講座Ⅳ」及び「寄附講座Ⅴ」は在学生に対し適用し、開設科目を履修することができる。
- 6 学則第40条第1項第4号別表第4の「資格・検定(宅地建物取引士)」、「資格・検定(法学検定アドバンスト＜上級＞コース)」及び「資格・検定(法学検定スタンダード＜中級＞コース)」は在学生に対し適用し、資格等を取得した場合認定することができる。
- 7 学則第40条第1項第5号別表第5の教育学科倫理学専攻専門科目「ギリシャ哲学研究」、「中世キリスト教哲学研究」、「英米哲学研究」、「フランス哲学研究」、「ドイツ哲学研究」、「日本思想研究」、「中国思想研究」、「インド思想研究」、「イスラム思想研究」及び「仏教思想研究」に付された備考は在学生に対し適用する。
- 8 学則第40条第1項第7号別表第7の「特別講義Ⅰ」、「特別講義Ⅱ」、「特別講義Ⅲ」、「特別講義Ⅳ」、「特別講義Ⅴ」、「特別講義Ⅵ」、「特別講義Ⅶ」及び「特別講義Ⅷ」は平成25年度入学生から

適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 文学部教育学科教育学専攻、倫理学専攻、初等教育専攻、史学地理学科考古・日本史学専攻、東洋史学専攻、地理・環境専攻、文学科中国語・中国文学専攻及び日本文学・文化専攻は、改正後の学則第2条、第4条、第40条第1項、第42条第1項、第53条及び第54条第2項の規定にかかわらず平成29年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第1号別表第1の「経済特別講義VA」「経済特別講義VB」は在学生に対し適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第7号別表第7の「会計史A」、「会計史B」、「イノベーション論A」及び「イノベーション論B」は平成28年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。また、「特別講義IX」及び「特別講義X」は平成26年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2のスポーツ医科学科専門科目「救急処置実習B（病院内実習）」は平成28年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第7号別表第7の「ビジネス英語Ⅰ」及び「ビジネス英語Ⅱ」は平成29年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第1号別表第1から同条同項第7号別表第7の「ボランティア実践Ⅰ」、「ボランティア実践Ⅱ」、「ボランティア実践Ⅲ」、「ボランティア実践Ⅳ」に関する科目については在學生に対し適用し、本学が派遣を認めるボランティア活動（学部が独自で認めたものを含む）に参加した場合認定することができる。
- 3 学則第40条第1項第4号別表第4の「法学特殊講座Ⅰ」、「法学特殊講座Ⅱ」、「法学特殊講座Ⅲ」に関する科目については在學生に対し適用し、開設科目を履修することができる。
- 4 学則第40条第1項第4号別表第4の「資格・検定（法学検定ベーシック〈基礎〉コース）」、「資格・検定（ビジネス著作権検定初級）」は在學生に対し適用し、資格等を取得した場合認定することができる。
- 5 学則第40条第1項第4号別表第4の「資格・検定（法学検定アドバンスト〈上級〉コース）」、「資格・検定（法学検定スタンダード〈中級〉コース）」、「資格・検定（ビジネス著作権検定上級）」、「資格・検定（知的財産管理技能検定2級）」、「資格・検定（知的財産管理技能検定3級）」の単位数は在學生に対し適用する。
- 6 学則第40条第1項第4号別表第4の「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」に関する科目については在學生に対し適用し、開設科目を履修することができる。
- 7 平成30年度以前の入學生の学則第40条第1項第4号別表第4の「法研指導ⅠA/ⅠB～法研指導ⅣA/ⅣB」、「寄附講座Ⅰ～寄附講座Ⅴ」は平成31年度より廃止とする。
- 8 平成30年度以前の入學生の学則第40条第1項第4号別表第4の「ボランティア活動」は平成31年度より廃止とする。
- 9 学則第45条第2項別表第9の司書資格取得のための科目は、平成29年度入學生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2の「アスリート実習3」、「アスリート実習4」は平成31年度入學生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 学則第40条第1項第3号別表第3の「生徒・進路指導論」は平成31年度入學生から適用し、開設科目を履修することができる。また、備考欄の教職課程に関する内容は平成31年度入學生から

適用する。

- 4 学則第40条第1項第5号別表第5の「書誌学」は平成31年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 第39条の6の規定は令和2年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第20条第3項は、在学生に対し適用する。
- 3 第40条第1項第2号別表第2の「人と宇宙」、「A Iとサイエンス」、「数学入門」、「数学（線形代数）」、「数学（微分積分）」は令和3年度入学生から適用し、開設科目を履修することができる。
- 4 第47条の2第2項は、在学生に対し適用する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。

- 2 学則第39条第1項及び第39条の4の規程は、令和4年4月1日から適用する。
- 3 学則第40条第1項第4号別表第4の「ITパスポート」は在学生に対し適用し、資格等を取得した場合認定することができる。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第4号別表第4の「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」は在学生に対し適用し、開設科目を履修することができる。

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 令和6年度入学生の学則第40条第1項第4号別表第4の「インターンシップ」は令和7年度より廃止とする。
- 3 学則第40条第1項第8号別表第8の「オンライン海外演習」は令和5年度以前の入学生に対し外国語科目として適用し、開設科目の単位を認定することができる。

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 学則第40条第1項第2号別表第2の「海外研修」は在学生に対し適用し、開設科目を履修することができる。
- 3 令和6年度入学生の学則第40条第1項第3号別表第3の「インターンシップ」は令和7年度より廃止とする。

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 学則第19条第3項及び第73条第2項、第3項及び第4項は在学生に対し適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和８年５月27日から施行する。
- 2 学則第39条の６の規定は、令和８年４月１日から適用する。

別表第1 政経学部

政経学部教育研究上の目的

政経学部は、政治行政、経済分野の専門性だけに偏らない、人間力、体力、気力、学際的知力、礼節等バランスのとれた総合力を持つ人材を育成することを教育の基本方針としている。その上で、建学の精神に基づき、次のような能力を備えた人材の育成を行っている。世界の様々な価値観を理解し、各国の歴史や文化を尊重する心を有していること。論理的思考力と主体的行動力を兼ね備え、それらを用いて、多様な人々と協働し、世のため、人のために尽くすことができること。このようなトップマネジメント及びミドルマネジメントの中心的役割を担うことのできる社会人を養成することを、政経学部は教育目的としている。

政治行政学科

政治行政学科においては、建学の精神を基盤に、時代に即応したトップマネジメントおよびミドルマネジメントの中心的役割を担う実践型人材の育成を行なうべく教育の充実を目指している。

政治行政学科では、現代社会のあり方や課題などについて、政治及び行政を基点として学び、地域社会のリーダーとして必要な社会的かつ専門的知識を習得させ、総合的観点から物事に対し適切な分析の対応力と指導力を培い、次世代においても社会を支え、人の模範となる人材を輩出することを目標としている。本学科には、政治及び行政に関する理論・思想・歴史について学ぶ「政治と人間コース」、行政制度及び政策について学ぶ「公務員養成コース」、国際政治や外交、特定地域の政治文化などについて学ぶ「国際関係・地域研究コース」を設け、より専門性を高めるとともに、各コースや各学科との科目の互換制を活かして、柔軟な発想を持つ国際人から地方の文化・行政・教育の担い手を養成している。

経済学科

経済学科は、経済分野の専門性だけに偏らない、人間力、体力、気力、学際的知力、礼節等バランスのとれた総合力を持つ人材を育成することを教育の基本方針としている。その上で、建学の精神に基づき、トップマネジメント及びミドルマネジメントの中心的役割を担うことのできる社会人を養成することを目的に、以下の6つの専門コースを設けている。

（1）経済専門人材育成コース

経済学の理論や分析手法をベースに、社会を取り巻く経済現象を解明し、コンサルタントなどの課題解決に資する高度専門職、教員、研究者などを目指すコース。

（2）税務・会計専門人材育成コース

社会や経済の重要な構成要素である企業の活動について、税務や会計、監査の立場から支える専門職業人の育成を目指すコース。

（3）専門企業人育成コース

社会や経済、企業が直面している課題の解決など、企業の第一線で活躍できる企業人の育成を目指すコース。

（4）国際企業人育成コース

国際的な事業展開を行う企業の最前線で活躍できる、グローバルな視点を持った特色ある国際企業人の育成を目指すコース。

（5）公共人材育成コース

地域社会の持続的発展や安心・安全を支える公共人材（地方公務員、警察官、消防官などの専門職業人）の育成を目指すコース。

（6）データ分析人材育成コース

経済数学や統計学、計量経済学の知識をベースとして、データに基づいた分析により、企業や国、地方自治体などにおいて課題解決に取り組む専門的人材の育成を目指すコース。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	政 治 行 政 学 科	専門科目								
		初年次ゼミナールⅠ	2		2				2	
		初年次ゼミナールⅡ	2		2				2	
		統計学(基礎統計)		2	2				2	
		統計学(推定・仮説検定の実務)		2	2				2	
		憲法(総則・統治機構論)		2	2				2	教免要件
		憲 法 (人 権 論)		2	2				2	教免要件
		政治分析入門		2	2				2	社・公
		政治理論入門		2	2				2	社・公
		日本経済論(基礎)		2	2				2	
		日本経済論(各論)		2	2				2	
		基礎ゼミナール		4		4			4	
		専門ゼミナールⅠ		4			4		4	
		専門ゼミナールⅡ		4				4	4	
		卒業論文		4				4	4	
		近代ヨーロッパ政治史		2	2				2	社・地
		現代ヨーロッパ政治史		2	2				2	社・地
		日本政治文化の形成史		2	2				2	社・地
		日本政治文化の発展史		2	2				2	社・地
		近代日本政治史		2	2				2	社・地
		現代日本政治史		2	2				2	社・地
		日本政治思想史A		2			2		2	社・地
		日本政治思想史B		2			2		2	社・地
		政治学史(近代前)		2		←	2		→	2 社・地
		政治学史(近代以降)		2		←	2		→	2 社・地
		政治制度論(総論)		2	2				2	社・公
		政治制度論(各論)		2	2				2	社・公
		地方自治入門		2	2				2	社・公
		地方分権論		2	2				2	社・公
		バリアフリー社会論		2	2				2	
		政治過程分析		2			2		2	社・公
		政治体制論		2			2		2	社・公
		政治哲学A		2			2		2	
		政治哲学B		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	政 治 学 科	政 治 社 会 学 A		2			2	2	社・公 社・公 <	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	政 治 行 政 学 科	ロシア・東欧地域研究B		2			2		2	社・公 社・公
		アジア政治論1(歴史と文化)		2		2			2	
		アジア政治論2(地域紛争)		2		2			2	
		東南アジア地域研究		2			2		2	
		東南アジア民族文化論		2			2		2	
		民法(親族法)		2	2				2	
		民法(相続法)		2	2				2	
		社会学原論A		2	2				2	
		社会学原論B		2	2				2	
		比較憲法A		2		2			2	
		比較憲法B		2		2			2	
		政治特殊講義I		2			2		2	
		政治特殊講義II		2			2		2	
		政治特殊講義III		2			2		2	
		政治特殊講義IV		2			2		2	
		行政特殊講義I		2			2		2	
		行政特殊講義II		2			2		2	
		行政特殊講義III		2			2		2	
		行政特殊講義IV		2			2		2	
		国際事情特殊講義I		2			2		2	
		国際事情特殊講義II		2			2		2	
		国際事情特殊講義III		2			2		2	
		国際事情特殊講義IV		2			2		2	
		メディア論		2			2		2	
		マスコミュニケーション論		2			2		2	
		労働問題A		2			2		2	
		労働問題B		2			2		2	
		司法制度論A		2			2		2	
		司法制度論B		2			2		2	
		商法(手形法)		2			2		2	
		商法(小切手法)		2			2		2	
		刑法A		2			2		2	
		刑法B		2			2		2	
		労働法A		2			2		2	
		労働法B		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	政 治 学 科	刑 事 政 策 A		2			2		2	
		刑 事 政 策 B		2			2		2	
		英 文 献 講 読 I		4			4		4	
		仏 文 献 講 読 I		4			4		4	
		独 文 献 講 読 I		4			4		4	
		英 文 献 講 読 II		4				4	4	
		仏 文 献 講 読 II		4				4	4	
		独 文 献 講 読 II		4				4	4	
		公 務 員 基 礎 講 座		2		2			2	
		社 会 調 査 研 究 法		2	2				2	
		社 会 調 査 実 践 法		4			4		4	
	行 政 学 科	教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		国史概説(原始～中世)		2		2			2	
		国史概説(近世～現代)		2		2			2	
		外国史概説(西洋)		2		2			2	
		外国史概説(東洋)		2		2			2	
		地 誌 学		2			2		2	
		人 文 地 理 概 説		2		2			2	
		自 然 地 理 概 説		2			2		2	
		哲 学 概 論		2			2		2	
		倫 理 学 概 論		2			2		2	
		計	4	268	4	18	28	20	272	
						66	16	112		
						←	4	→		
	随意科目	災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	卒業所要単位に含めない
		計		1	←	1		→	1	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	経 済 学 科	専門科目								
		初年次ゼミナールⅠ	2		2				2	
		初年次ゼミナールⅡ	2		2				2	
		統計学(基礎統計)		2	2				2	情
		統計学(推定・仮説検定の実務)		2	2				2	情
		憲法(総則・統治機構論)		2	2				2	教免要件
		憲 法 (人 権 論)		2	2				2	教免要件
		政 治 分 析 入 門		2	2				2	社・公
		政 治 理 論 入 門		2	2				2	社・公
		日本経済論(基礎)		2	2				2	
		日本経済論(各論)		2	2				2	
		経済理論基礎(ミクロ経済学)	2		2				2	社・公
		経済理論基礎(マクロ経済学)	2		2				2	社・公
		基 礎 ゼ ミ ナ ー ル	4			4			4	
		専 門 ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ	4				4		4	
		専 門 ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ	4					4	4	
		貿易論(基礎理論)		2	2				2	社・公
		貿易論(諸問題)		2	2				2	社・公
		簿記論(基礎)		2	2				2	商
		簿記論(応用)		2	2				2	商
		会計学(財務会計・管理会計)		2	2				2	
		会計学(公会計・環境会計)		2	2				2	

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	経 済 学 科	経済数学(微分積分)		2	2				2	社・公
		経済数学(線形代数)		2	2				2	社・公
		統計学概論(統計基礎)		2	2				2	
		統計学概論(統計分析)		2	2				2	
		ミクロ経済学(消費者分析)		2		2			2	
		ミクロ経済学(生産者分析)		2		2			2	
		マクロ経済学(理論と政策の経済学)		2		2			2	情
		マクロ経済学(雇用と物価の経済学)		2		2			2	情
		日本経済史(江戸期)		2		2			2	社・地
		日本経済史(明治以降)		2		2			2	社・地
		西洋経済史(工業化の前提条件)		2		2			2	社・地
		西洋経済史(現代経済への歩み)		2		2			2	社・地
		金融論(銀行論)		2		2			2	商
		金融論(貨幣理論)		2		2			2	商
		国際金融論(貨幣入門)		2		2			2	
		国際金融論(実際)		2		2			2	
		国際経済論(諸理論)		2		2			2	
		国際経済論(諸問題)		2		2			2	
		公共経済論(基礎理論)		2		2			2	
		公共経済論(諸政策)		2		2			2	
		経済開発論(貧困と開発)		2		2			2	社・公
		経済開発論(諸問題)		2		2			2	社・公
		上級簿記論(資産・負債・純資産会計)		2		2			2	
		上級簿記論(損益会計・連結会計)		2		2			2	
		財政学(政府支出)		2		2			2	商
		財政学(政府収入)		2		2			2	商
		地方財政論(政府支出)		2		2			2	社・公
		地方財政論(政府収入)		2		2			2	社・公
		租税論(理論と対策)		2		2			2	
		租 税 論 (各 論)		2		2			2	
		経済統計学(基礎)		2		2			2	
		経済統計学(各論)		2		2			2	
		計量経済学(推定)		2		2			2	商
		計量経済学(検定)		2		2			2	商
		経済データ分析(クロスセクション分析)		2		2			2	情
		経済データ分析(時系列分析)		2		2			2	情
		時 事 経 済 英 語		2		2			2	

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	経 済 学 科	実 践 経 済 英 語		2		2			2	
		応用ミクロ経済学(企業行動と成果)		2				2	2	社・公
		応用ミクロ経済学(ミクロ政策)		2				2	2	社・公
		応用マクロ経済学(成長と循環の経済学)		2				2	2	社・公
		応用マクロ経済学(期待と変動の経済学)		2				2	2	社・公
		経 済 史 概 論 (基 礎)		2	2				2	社・地
		経 済 史 概 論 (各 論)		2	2				2	社・地
		経 済 学 史 (基 礎)		2	2				2	社・地
		経 済 学 史 (各 論)		2	2				2	社・地
		スポーツ経済論(総論)		2	2				2	
		スポーツ経済論(各論)		2	2				2	
		民法/総則・物権法(基礎)		2	2				2	社・公
		民法/総則・物権法(応用)		2	2				2	社・公
		商法/総則・商行為(基礎)		2	2				2	
		商法/総則・商行為(応用)		2	2				2	
		経済日本語(入門経済学)		2	2				2	} 外国人留学生 のみ履修
		経済日本語(時事経済)		2	2				2	
		民法/債権法(基礎)		2	2				2	
		民法/債権法(応用)		2	2				2	
		商法/会社法(基礎)		2	2				2	
		商法/会社法(応用)		2	2				2	
		租税法(国内課税)		2	2				2	
		租税法(国際課税)		2	2				2	
		経営学概論(基礎)		2	2				2	
		経営学概論(応用)		2	2				2	
		人的資源管理論(総論)		2	2				2	
		人的資源管理論(各論)		2	2				2	
		証券市場論(基礎)		2	2				2	
		証券市場論(応用)		2	2				2	
		企業金融論(総論)		2	2				2	
		企業金融論(各論)		2	2				2	
		ジェンダー論(総論)		2	2				2	
		ジェンダー論(各論)		2	2				2	
		情 報 科 学 論		2	2				2	情
		情 報 産 業 論		2	2				2	情
		情報社会及び情報倫理		2	2				2	情
		情報メディア概論		2	2				2	情
		情報システム(基礎)		2	2				2	情

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	経 済 学 科	情報システム(応用)		2	2				2	情
		産業と職業(情報分野A)		2	2				2	情
		産業と職業(情報分野B)		2	2				2	情
		国 際 社 会 の 主 役		2	2				2	社・公
		国 際 社 会 の 諸 問 題		2	2				2	社・公
		国際マクロ経済学(基礎)		2		2			2	商
		国際マクロ経済学(応用)		2		2			2	商
		東 洋 経 済 史 (基 礎)		2		2			2	社・地
		東 洋 経 済 史 (各 論)		2		2			2	社・地
		アジア経済論(全般)		2		2			2	
		アジア経済論(国・地域別)		2		2			2	
		経 済 政 策 学 (基 礎)		2		2			2	
		経 済 政 策 学 (応 用)		2		2			2	
		労働経済学(基礎理論)		2		2			2	
		労働経済学(労働市場)		2		2			2	
		福祉の経済学(基礎概念)		2		2			2	社・公
		福祉の経済学(諸問題)		2		2			2	社・公
		環境経済論(汚染の経済学)		2		2			2	
		環境経済論(資源の経済学)		2		2			2	
		企業経済論(基礎)		2		2			2	商
		企業経済論(応用)		2		2			2	商
		国 際 金 融 実 務		2			2		2	
		国 際 貿 易 実 務		2			2		2	
		国 際 会 計 実 務		2			2		2	
		国 際 情 報 論		2			2		2	情
		情 報 政 策 論		2			2		2	
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2			2		2	商
		ビ ジ ネ ス 情 報		2			2		2	商
		寄 附 講 座 I		2			2		2	
		寄 附 講 座 II		2			2		2	
		卒 業 論 文		4				4	4	
		経 済 特 別 講 義 I A		2		2			2	
		経 済 特 別 講 義 I B		2		2			2	
		経 済 特 別 講 義 II A		2		2			2	
		経 済 特 別 講 義 II B		2		2			2	
		経 済 特 別 講 義 III A		2	←	2		→	2	

教職科目履修
者のみ受講

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
政 経 学 部	経 済 学 科	経 済 特 別 講 義 Ⅲ B		2	←	2		→	2	
		経 済 学 特 殊 講 座 Ⅰ		2		←	2	→	2	
		経 済 学 特 殊 講 座 Ⅱ		2		←	2	→	2	
		経 済 学 特 殊 講 座 Ⅲ		2		←	2	→	2	
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		国史概説(原始～中世)		2		2			2	社・地
		国史概説(近世～現代)		2		2			2	社・地
		外国史概説(西洋)		2		2			2	社・地
		外国史概説(東洋)		2		2			2	社・地
		地 誌 学		2			2		2	社・地
		人 文 地 理 概 説		2		2			2	社・地
		自 然 地 理 概 説		2			2		2	社・地
		哲 学 概 論		2			2		2	社・公
		倫 理 学 概 論		2			2		2	社・公
		職 業 指 導 (理 論)		2			2		2	商
		職 業 指 導 (実 践)		2			2		2	商
		Cプログラミング入門		2		2			2	情 理工学科、経営学科共通開設
		デ ジ タ ル 通 信		2			2		2	情 理工学科、経営学科共通開設
		計	20	286	8	16	14	8	306	
					116	108	26			
					←	6	→			
					←	4	→			
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	
		計		1	←	1		→	1	

別表第2 体育学部

体育学部の教育研究上の目的

体育・スポーツ・武道の学芸を学び、より広い専門知識や高い技能を修得させ、体育・スポーツ・武道文化の発展と学術の研究活動推進につとめ、豊かな心身の育成と錬磨をはかる文武両道教育を進める。また、社会の変化に的確に対応し、健康で豊かな生活環境を阻害するスポーツ障害や疾病をはじめ、各種の事故・災害に対処する高度な救急医療体制の充実・発展に寄与し、人間の幸福や生活の基本である健康・体力の保持増進を推進する役割を担い、健康で明るく豊かな社会の創造者として活躍できる人材や国際社会に貢献できる人材の育成をはかる。

体育学科

現在、スポーツの大衆化・多様化・生活化が進み、個々のライフスタイルにおいて「楽しむ文化」としての体育・スポーツ、「健康で生きがいのある生活」のためのスポーツへと、社会の要請と期待が高まっている。一方、オリンピックや世界選手権等を頂点とする競技スポーツは、技術・戦術ともに高度化し、高い科学性に基づいたトレーニングやコーチング等を必要としている。

このような社会のニーズに呼応すべく、基礎科目と専門科目のバランスを維持し、専門分野の教授・研究をさらに深めると共に、基礎科目との融合を図り、体育・スポーツの実践と理論的指導ができる人材の育成を目指している。

また、体育・スポーツの意義や役割、共生社会でのあり方、豊かなスポーツライフの探求など、社会のニーズに貢献できる人材が求められており、体育・スポーツ・健康学に関する学問領域を幅広く理解し、個々に応じていずれかの専門分野を深く学修し、将来、有為なる人材としての成長基盤・基礎を培う教育を目指している。

これらのことを踏まえ、本学科では、学校体育・アスリート・スポーツトレーナーの3つのコースを配置し、それぞれの特性を考慮した基礎科目・専門科目のカリキュラムと諸資格取得の教育課程を編成して、学校体育・生涯スポーツ・健康教育などに積極的に貢献できる専門性の高い人材を養成するための教育を行っている。

武道学科

わが国固有の伝統運動文化である「武道」の特性と、武道教育に期待されている人格陶冶や人間形成といった「道を求める武道」並びに「科学性を伴った武道」のあり方等を実践し、国内はもとより国際社会に貢献する人材育成及び国家意識や国威発揚のための競技力向上に関わる指導者並びに競技者を養成する。

特に、伝統運動文化としての武道の継承、科学性を伴った武道の国際競技力向上への貢献、生涯学習・生涯スポーツの発展に貢献する武道指導者の育成、国際的武道指導者の育成と国際交流進展への寄与を4つの柱とした教育・研究を実践する。

スポーツ医科学科

スポーツ医科学科においては、大学に学び研鑽するものとして不可欠な主体性を持って学び、考える能力の育成と、医療職たる救急救命士資格取得を目指すものに必須の高い倫理観と豊かな教養の醸成を目的とする。そのうえに、基礎ならびに臨床医学、救急処置、救助等広範な分野にわたり理論・基礎から最新の高度救急医療技術まで確実に身につけ、救急現場やスポーツ時の事故に際し、全体を把握し柔軟かつ総合的な判断を下すことのできる職業人の養成を目指す。

さらに、高度救急医療の専門職として救急救命活動での主導的役割を果たす能力、一般市民に対する啓蒙教育活動、大学院や職場において救急医療に関する研究教育活動を行える素養を培う事を重要な目的と考えている。

また体育学部に属する特性を生かし、救急救命士資格を持った保健体育教員、養護教諭等も養成し児童生徒により安全な教育環境を提供する事をめざしている。

こどもスポーツ教育学科

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、社会構造は急速に変化し、予測が困難な時代となっている。このような時代にあって、子どもたちには多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが望まれている。加えて、いじめや不登校の問題、自己肯定感の低下や無気力化などの子どもたちをめぐる問題も複雑化しており、これらの課題や問題に対応できる教育者の育成が求められている。

そこで、こどもスポーツ教育学科では、さまざまな体育・スポーツ活動を通して健やかな心身を身に付け、主に小学校の教育者としての高い専門性と具体的な教育実践力を備えた優れた教員の育成を目指し、次の点を具体的な目的とする。

1. 高いレベルの専門性を有し、各教科等における先進的な研究を迫及する。
2. 武道の精神を身に付けるとともにコミュニケーション能力に優れた豊かな人間性を確立する。
3. 様々な教育課題へ適切に対応できる教育実践力を育成する。
4. 体育・スポーツを通じた学校づくりや地域づくりに貢献できる資質を養う。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	学部基礎科目								
		体 育 原 理	2		2				2	保
		解 剖 学	2		2				2	
		運 動 生 理 学	2		2				2	保
		ス ポ ー ツ 専 門 英 語	2			2			2	
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅱ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(器械運動)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(陸上競技)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(水泳)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(ダンス)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(柔道)Ⅰ		1		1			1	保・教免要件
		体育方法学・実習(柔道)Ⅱ		1		1			1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅰ		1		1			1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅱ		1		1			1	保・教免要件
		卒 業 研 究 1	2				2		2	
		卒 業 研 究 2	2					2	2	
		学科基礎教育科目								
		体育方法学・実習(野外教育)Ⅰ	1		1				1	保
		ス ポ ー ツ 社 会 学	2					2	2	保
		ス ポ ー ツ 心 理 学	2			2			2	保
		体 力 測 定 ・ 評 価	2		2				2	保
		体 育 経 営 管 理	2					2	2	保
		公 衆 衛 生 学	2				2		2	保
		学 校 保 健	2				2		2	保
		救 急 処 置 法 実 習 Ⅰ	1			1			1	保
		救 急 処 置 法 実 習 Ⅱ	1			1			1	保
		体育専門教育科目								
		《学校体育コース》								コース別に履修 しなければならない
		ス ポ ー ツ 栄 養 学	2		2				2	
		スポーツバイオメカニクス	2			2			2	保
		コ ー チ 学	2			2			2	
		トレーニング論・実習Ⅰ	1		1				1	
		トレーニング論・実習Ⅱ	1		1				1	
		体 育 方 法 学 ・ 実 習 (レ ス リ ン グ)	1			1			1	保
		(バ ス ケ ッ ト ボ ー ル)	1			1			1	保

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	(ハ ン ド ボ ー ル)	1			1			1	保
		(バ レ ー ボ ー ル)	1			1			1	保
		(サ ッ カ ー)	1			1			1	保
		(ラ グ ビ ー)	1			1			1	保
		(ソ フ ト ボ ー ル)	1			1			1	保
		専門指導法								
		(器 械 運 動)		1			1		1	4種目4単位選択
		(陸 上 競 技)		1			1		1	
		(水 泳)		1			1		1	
		(ダ ン ス)		1			1		1	
		(柔 道)		1			1		1	
		(剣 道)		1			1		1	
		(バスケットボール)		1			1		1	
		(ハ ン ド ボ ー ル)		1			1		1	
		(バ レ ー ボ ー ル)		1			1		1	
		(サ ッ カ ー)		1			1		1	
		(ラ グ ビ ー)		1			1		1	
		(ソ フ ト ボ ー ル)		1			1		1	
		《アスリートコース》								コース別に履修 しなければならない
		ス ポ ー ツ 栄 養 学	2		2				2	
		スポーツバイオメカニクス	2			2			2	保
		コ ー チ 学	2			2			2	
		トレーニング論・実習Ⅰ	1		1				1	
		トレーニング論・実習Ⅱ	1		1				1	
		体 育 方 法 学 ・ 実 習								
		(レ ス リ ン グ)	1			1			1	保
		(バスケットボール)	1			1			1	保
		(ハ ン ド ボ ー ル)	1			1			1	保
		(バ レ ー ボ ー ル)	1			1			1	保
		(サ ッ カ ー)	1			1			1	保
		(ラ グ ビ ー)	1			1			1	保
		(ソ フ ト ボ ー ル)	1			1			1	保

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	専門指導法								
		(器 械 運 動)		1			1		1	4種目4単位選択
		(陸 上 競 技)		1			1		1	
		(水 泳)		1			1		1	
		(ダ ン ス)		1			1		1	
		(柔 道)		1			1		1	
		(剣 道)		1			1		1	
		(レ ス リ ン グ)		1			1		1	
		(バ ス ケ ッ ト ボ ー ル)		1			1		1	
		(ハ ン ド ボ ー ル)		1			1		1	
		(バ レ ー ボ ー ル)		1			1		1	
		(サ ッ カ ー)		1			1		1	
		(ラ グ ビ ー)		1			1		1	
		(ソ フ ト ボ ー ル)		1			1		1	
		《スポーツトレーナーコース》								コース別に履修 しなければならない
		ス ポ ー ツ 栄 養 学	2		2				2	保
		スポーツバイオメカニクス	2			2			2	
		コ ー チ 学	2			2			2	
		トレーニング論・実習Ⅰ	1		1				1	
		トレーニング論・実習Ⅱ	1		1				1	
		体育方法学・実習								
		(レ ス リ ン グ)	1			1			1	保
		(バ ス ケ ッ ト ボ ー ル)	1			1			1	保
		(ハ ン ド ボ ー ル)	1			1			1	保
		(バ レ ー ボ ー ル)	1			1			1	保
		(サ ッ カ ー)	1			1			1	保
		(ラ グ ビ ー)	1			1			1	保
		(ソ フ ト ボ ー ル)	1			1			1	保
		専門指導法								
		(器 械 運 動)		1			1		1	
		(陸 上 競 技)		1			1		1	
		(水 泳)		1			1		1	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	(ダ ン ス)		1			1		1	4種目4単位選択
		(柔 道)		1			1		1	
		(剣 道)		1			1		1	
		(レ ス リ ン グ)		1			1		1	
		(バ ス ケ ッ ト ボ ー ル)		1			1		1	
		(ハ ン ド ボ ー ル)		1			1		1	
		(バ レ ー ボ ー ル)		1			1		1	
		(サ ッ カ ー)		1			1		1	
		(ラ グ ビ ー)		1			1		1	
		(ソ フ ト ボ ー ル)		1			1		1	
		専修教育科目								コース別に履修 しなければならない
		《学校体育コース》								
		ア ス リ ー ト 実 習 1		2	2				2	
		体 育 史		2		2			2	
		教職インターンシップ		2			2		2	
		学 校 教 育 関 係 法 規		2			2		2	
		体力測定評価実習Ⅰ		1			1		1	
		体力測定評価実習Ⅱ		1			1		1	
		教 職 特 別 講 座 1		2		2			2	
		教 職 特 別 講 座 2		2		2			2	
		教 職 特 別 講 座 3		2		2			2	
		教 職 特 別 講 座 (野 外)		2		2			2	
		教 職 特 別 講 座 4		2			2		2	
		教 職 特 別 講 座 5		2			2		2	
		教 職 特 別 講 座 6		2				2	2	
		教 職 特 別 講 座 7		2				2	2	
		《アスリートコース》								
		スポーツ情報処理論実習Ⅰ		1			1		1	
		スポーツ情報処理論実習Ⅱ		1			1		1	
		ス ポ ー ツ 医 学		2			2		2	
		体育・スポーツ行政学		2			2		2	
		発 育 発 達 老 化 論		2				2	2	
		運 動 処 方 論		2				2	2	
		健 康 教 育 学		2			2		2	
		キャリアアップ講座1		2		2			2	
		キャリアアップ講座2		2		2			2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	キャリアアップ講座3		2		2			2	1講座8単位選択
		キャリアアップ講座4		2			2		2	
		教職特別講座1		2		2			2	
		教職特別講座2		2		2			2	
		教職特別講座3		2		2			2	
		教職特別講座4		2			2		2	
		アスリート実習1		2	2				2	
		アスリート実習2		2		2			2	
		《スポーツトレーナーコース》								コース別に履修 しなければならない
		スポーツ医学		2			2		2	
		体育・スポーツ行政学		2			2		2	
		運動処方論		2				2	2	
		健康教育学		2			2		2	
		体力測定評価実習Ⅰ		1			1		1	
		体力測定評価実習Ⅱ		1			1		1	
		エアロビクス運動理論・実習Ⅰ		1				1	1	
		エアロビクス運動理論・実習Ⅱ		1				1	1	
		スポーツ法学		2		2			2	
		エクササイズテクニック		2		2			2	
		アスリート実習1		2	2				2	
		アスリート実習2		2		2			2	
		現場実習1		2		2			2	
		現場実習2		2			2		2	
		関連教育科目								コース別に履修 しなければならない
		《学校体育コース》								
		教育基礎論	2		2				2	
		道徳教育の理論と実践	2		2				2	
		教育心理学	2			2			2	
		教育課程論		2			2		2	
		保健体育科教育論Ⅰ		2		2			2	
		保健体育科教育論Ⅱ		2		2			2	
		保健体育科指導法Ⅰ		2			2		2	
		保健体育科指導法Ⅱ		2			2		2	
		特別活動の理論と実践	2		2				2	
		教 職 論		2		2			2	
		生徒・進路指導論		2		2			2	
		教育相談		2			2		2	
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	教 育 行 財 政		2			2		2	職
		総合的な学習の時間の指導法		2			2		2	職
		特別支援教育概論		2			2		2	職
		《アスリートコース》								コース別に履修 しなければならない
		教 育 基 礎 論	2		2				2	職
		道德教育の理論と実践	2		2				2	職・独自
		教 育 心 理 学	2			2			2	職
		教 育 課 程 論		2			2		2	職
		保健体育科教育論Ⅰ		2		2			2	職
		保健体育科教育論Ⅱ		2		2			2	職
		保健体育科指導法Ⅰ		2			2		2	職
		保健体育科指導法Ⅱ		2			2		2	職
		特別活動の理論と実践	2		2				2	職
		教 職 論		2		2			2	職
		生徒・進路指導論		2		2			2	職
		教 育 相 談		2			2		2	職
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2			2		2	職
		教 育 行 財 政		2				2	2	職
		総合的な学習の時間の指導法		2			2		2	職
		特別支援教育概論		2			2		2	職
		実 践 実 習 1		2			2		2	アスリートコース の関連教育科目 には、自由選択 単位6単位を 含むことができる。
		実 践 実 習 2		2			2		2	
		実 践 実 習 3		2				2	2	
		実 践 実 習 4		2				2	2	
		運動生理学実習Ⅰ		1			1		1	
		運動生理学実習Ⅱ		1			1		1	
		スポーツバイオメカニクス実習Ⅰ		1			1		1	
		スポーツバイオメカニクス実習Ⅱ		1			1		1	
		スポーツメンタルトレーニング論		2				2	2	
		スポーツパフォーマンス分析論		2				2	2	
		テ ー ピ ン グ 論		2		2			2	
		《スポーツトレーナーコース》								コース別に履修 しなければならない
		教 育 基 礎 論	2		2				2	職
		道德教育の理論と実践	2		2				2	職・独自
		教 育 心 理 学	2			2			2	職
		教 育 課 程 論		2			2		2	職
		保健体育科教育論Ⅰ		2		2			2	職
		保健体育科教育論Ⅱ		2		2			2	職
		保健体育科指導法Ⅰ		2			2		2	職
		保健体育科指導法Ⅱ		2			2		2	職

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	体 育 学 科	特別活動の理論と実践	2		2				2	職
		教 職 論		2		2			2	職
		生徒・進路指導論		2		2			2	職
		教育相談		2			2		2	職
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		2			2	職
		教育行財政		2			2		2	職
		総合的な学習の時間の指導法		2			2		2	職
		特別支援教育概論		2			2		2	職
		専門現場実習1		2			2		2	スポーツトレーナー コースの関連教育 科目には、自由 選択単位6単位を 含むことができる。
		専門現場実習2		2			2		2	
		専門現場実習3		2				2	2	
		専門現場実習4		2				2	2	
		運動生理学実習Ⅰ		1			1		1	
		運動生理学実習Ⅱ		1			1		1	
		スポーツバイオメカニクス実習Ⅰ		1			1		1	
		スポーツバイオメカニクス実習Ⅱ		1			1		1	
		スポーツメンタルトレーニング論		2				2	2	
		スポーツパフォーマンス分析論		2				2	2	
		テ ー ピ ン グ 論		2		2			2	
		計	102	232	51	109	128	20	334	
						6	20			
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		体育方法学・実習(野外教育)2		2		2			2	独自
		アスリート実習3		2			2		2	
		アスリート実習4		2				2	2	
		災害とドローン		1	←		1	→	1	
		アスレティック・トレーニング概論		2	←		2	→	2	
		防災と教育		2	←		2	→	2	
		【レクリエーションインストラクター科目】								
		レクリエーション論		2			2		2	
		レクリエーション論実習Ⅰ		1			1		1	
		レクリエーション論実習Ⅱ		1			1		1	
		計		15		2	4	2	15	
					←	5		→		

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	武 道 学 科	学部基礎科目								
		体 育 原 理	2		2				2	保
		解 剖 学	2		2				2	
		運 動 生 理 学	2			2			2	保
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅱ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(器械運動)Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(器械運動)Ⅱ	1		1				1	
		体育方法学・実習(陸上競技)Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(陸上競技)Ⅱ	1		1				1	
		体育方法学・実習(水泳)Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(水泳)Ⅱ	1		1				1	
		体育方法学・実習(ダンス)Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(ダンス)Ⅱ	1		1				1	
		武道方法学実習柔道1		1	1				1	保・教免要件
		武道方法学実習柔道2		1	1				1	保・教免要件
		武道方法学実習剣道1		1	1				1	保・教免要件
		武道方法学実習剣道2		1	1				1	保・教免要件
		武道方法学実習空手道1		1	1				1	
		武道方法学実習空手道2		1	1				1	
		卒 業 研 究 1	2				2		2	
		卒 業 研 究 2	2					2	2	
		学科基礎教育科目								
		武 道 論	2		2				2	
		武 道 教 育 論	2			2			2	
		修 行 実 習	2		2				2	
		武 道 実 践 英 語	2			2			2	
		地 域 武 道 実 習		2			2		2	1科目2単位選択 履修
		海 外 武 道 実 習		2			2		2	
		社会実践教育論AⅠ		2		2			2	A、Bどちらか 8単位選択履修
		社会実践教育論AⅡ		2		2			2	
		社会実践教育論AⅢ		2			2		2	
		社会実践教育論AⅣ		2			2		2	
		社会実践教育論BⅠ		2		2			2	
		社会実践教育論BⅡ		2		2			2	
		社会実践教育論BⅢ		2			2		2	
		社会実践教育論BⅣ		2			2		2	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 1		1	1				1	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 2		1	1				1	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 3		1		1			1	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 4		1		1			1	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 5		1			1		1	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	武 道 学 科	柔 道 理 論 ・ 実 習 6		1			1		1	柔道、剣道 空手道いずれか 8単位選択履修
		柔 道 理 論 ・ 実 習 7		1				1	1	
		柔 道 理 論 ・ 実 習 8		1				1	1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 1		1	1				1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 2		1	1				1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 3		1		1			1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 4		1		1			1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 5		1			1		1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 6		1			1		1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 7		1				1	1	
		剣 道 理 論 ・ 実 習 8		1				1	1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 1		1	1				1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 2		1	1				1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 3		1		1			1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 4		1		1			1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 5		1			1		1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 6		1			1		1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 7		1				1	1	
		空 手 道 理 論 ・ 実 習 8		1				1	1	
		体育専門教育科目								I・IIは同一名称 の科目 計8単位選択 履修
		ス ポ ー ツ 社 会 学	2		2				2	
		体 力 測 定 ・ 評 価	2		2				2	
		ス ポ ー ツ 心 理 学	2			2			2	
		スポーツバイオメカニクス	2			2			2	
		体 育 経 営 管 理	2		2				2	
		公 衆 衛 生 学	2				2		2	
		ス ポ ー ツ 医 学	2				2		2	
		救急処置法実習Ⅰ	1					1	1	
		救急処置法実習Ⅱ	1					1	1	
		体 育 史		2		2			2	
		コ ー チ 学		2		2			2	
		ス ポ ー ツ 栄 養 学		2	2				2	
		体育・スポーツ行政学		2			2		2	
		体力測定評価実習Ⅰ		1			1		1	
		体力測定評価実習Ⅱ		1			1		1	
		テーピング・マッサージ論実習Ⅰ		1				1	1	
		テーピング・マッサージ論実習Ⅱ		1				1	1	

(専門科目)

学部	学科	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	年次及び単位数					備考	
					第一年次	第二年次	第三年次	第四年次	計		
体育学部	武道学	体育方法学・実習(バレーボール)		1		1			1	2種目2単位	
		体育方法学・実習(バスケットボール)		1		1		1	保		
		体育方法学・実習(サッカー)		1		1		1	保		
		体育方法学・実習(ラグビー)		1		1		1	保		
		体育方法学・実習(ハンドボール)		1		1		1	保		
		体育方法学・実習(ソフトボール)		1		1		1	保		
		専修教育科目									
		武道史	2		2				2	1科目 2単位選択履修	
		武道指導特論	2			2			2		
		民族文化論		2		2			2		
		宗教文化論		2		2			2		
		国際武道情報論・実習Ⅰ		1		1			1	Ⅰ・Ⅱは同一名称 の科目 3科目計6単位 選択履修	
		国際武道情報論・実習Ⅱ		1		1			1		
		武道体カトレーニング論・実習Ⅰ		1			1		1		
		武道体カトレーニング論・実習Ⅱ		1			1		1		
		武道運動学・実習Ⅰ		1			1		1		
		武道運動学・実習Ⅱ		1			1		1		
		比較武道論(武道哲学含む)		2			2		2		
		精神文化論		2			2		2		
		武道書講読		2			2		2		
		整復概論		2			2		2		
		柔道専門実習Ⅰ		1	1				1	保	
		柔道専門実習Ⅱ		1	1				1	保	

(専門科目)

学部	学科	授業科目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考	
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計		
体 育 学 部	武 道 学 科	柔 道 専 門 実 習 3		1		1			1	保	柔道、剣道、 空手道いづ れか8単位を 選択履修
		柔 道 専 門 実 習 4		1		1			1	保	
		柔 道 専 門 実 習 5		1			1		1	保	
		柔 道 専 門 実 習 6		1			1		1	保	
		柔 道 専 門 実 習 7		1				1	1	保	
		柔 道 専 門 実 習 8		1				1	1	保	
		剣 道 専 門 実 習 1		1	1				1	保	
		剣 道 専 門 実 習 2		1	1				1	保	
		剣 道 専 門 実 習 3		1		1			1	保	
		剣 道 専 門 実 習 4		1		1			1	保	
		剣 道 専 門 実 習 5		1			1		1	保	
		剣 道 専 門 実 習 6		1			1		1	保	
		剣 道 専 門 実 習 7		1				1	1	保	
		剣 道 専 門 実 習 8		1				1	1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 1		1	1				1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 2		1	1				1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 3		1		1			1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 4		1		1			1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 5		1			1		1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 6		1			1		1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 7		1				1	1	保	
		空 手 道 専 門 実 習 8		1				1	1	保	
		武道方法学実習合気道1		1		1			1	同一名称の科目 計4単位選択履修	
		武道方法学実習合気道2		1		1			1		
		武道方法学実習合気道3		1			1		1		
		武道方法学実習合気道4		1			1		1		
		武道方法学実習相撲1		1		1			1		
		武道方法学実習相撲2		1		1			1		
武道方法学実習相撲3		1			1		1				
武道方法学実習相撲4		1			1		1				
武道方法学実習なぎなた1		1		1			1				
武道方法学実習なぎなた2		1		1			1				
武道方法学実習なぎなた3		1			1		1				
武道方法学実習なぎなた4		1			1		1				

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	武 道 学 科	関連教育科目								
		発 育 発 達 老 化 論		2			2		2	
		<教職科目>								
		道徳教育の理論と実践		2	2				2	職・独自
		教 育 心 理 学		2		2			2	職
		学 校 保 健		2			2		2	保
		保健体育科指導法Ⅰ		2			2		2	職
		保健体育科指導法Ⅱ		2			2		2	職
		教 育 行 財 政		2				2	2	職
		<健康運動指導士科目>								
		健 康 教 育 学		2			2		2	
		運 動 処 方 論		2				2	2	
		エアロビクス運動理論・実習Ⅰ		1				1	1	
		エアロビクス運動理論・実習Ⅱ		1				1	1	
		<レクリエーション・ インストラクター資格科目>								
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論		2			2		2	
		レクリエーション論実習Ⅰ		1				1	1	
		レクリエーション論実習Ⅱ		1				1	1	
		計	48	146	48	56	64	20	194	
							6			
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←		1		1	
		アスレティック・トレーニング概論		2	←		2		2	
		防 災 と 教 育		2	←		2		2	独自
		教 職 特 別 講 座 1		2		2			2	
		教 職 特 別 講 座 2		2			2		2	
		教 職 特 別 講 座 3		2				2	2	
		計		11	←	2	2	2	11	
						5				

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 部	ス ポ ー ツ 医 学 科	学部基礎科目								
		体 育 原 理	2		2				2	保
		基 礎 解 剖 学	2		2				2	養
		生理学(遺伝学を含む)	2		2				2	保・養
		運 動 生 理 学	2			2			2	保
		医 療 英 語	2			2			2	
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅰ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))Ⅱ	1		1				1	保
		体育方法学・実習(柔道)Ⅰ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(柔道)Ⅱ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅰ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅱ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(水難救助・プール)	1		1				1	
		体育方法学・実習(水泳・水難救助)	1		1				1	
		体育方法学・実習(野外教育・遭難救助)	1			1			1	保
		卒 業 研 究 1	2				2		2	
		卒 業 研 究 2	2					2	2	
		計	19	4	14	5	2	2	23	
		学科基礎教育科目								
		病 院 前 医 療 概 論	2		2				2	
		自然科学(生物系A)	2		2				2	
		自然科学(生物系B)		2	←	2	→		2	} 1科目2単位 選択履修
		物 理 学 の 基 礎		2	←	2	→		2	
		薬 理 学	2		2				2	
		病 理 学	2		2				2	
		生化学・微生物学(免疫学を含む)	2		2				2	養
		介 護 ・ 看 護 学 概 論	2				2		2	養
		救 助 概 論	2		2				2	
		現場救急活動概論(搬送技術含む)	2			2			2	
		衛生学・公衆衛生学	2				2		2	保・養
		総 合 リ テ ラ シ ー	2			2			2	
		救急医療行政(関係法令を含む)	1					1	1	
		専修教育科目								
		外 傷 学	4				4		4	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	ス ポ ー ツ 医 学 科	小 児 科 学	2			2			2	保
		救 急 医 学	2					2	2	保
		災害医学(中毒学を含む)	2				2		2	
		蘇 生 学	2					2	2	
		精 神 医 学	1					1	1	保
		臨 床 解 剖 学	2				2		2	
		救 急 病 態 生 理 学	2			2			2	
		救 急 症 候 学	4					4	4	
		救 急 救 命 処 置 概 論	2		2				2	
		疾病救急医学各論1(呼吸・循環・高齢者)	2			2			2	
		疾病救急医学各論2(消化器・内分泌・代謝)	2			2			2	
		疾病救急医学各論3(腎泌尿系・血管血液系・感染症・皮膚)	2			2			2	
		疾病救急医学各論4(神経・脳神経外科・口腔外科)	2			2			2	
		疾病救急医学各論5(産婦人科・耳鼻咽喉科・整形外科・眼科)	2				2		2	
		ブレイクセッション概論・各論	2				2		2	
		救助実習(初期救助)	2		2				2	
		救急救命処置実習1	6		6				6	保・養
		救急救命処置実習2	6			6			6	保・養
		救急救命処置実習3	6				6		6	保・養
		病 院 内 実 習	2				2		2	
		救 急 車 同 乗 実 習	1				1		1	養
		総合シミュレーション実習	4					4	4	
		急性中毒学・環境障害	2					2	2	
		体育専門教育科目								
		ス ポ ー ツ 心 理 学		2		2			2	保
		体 力 測 定 ・ 評 価		2			2		2	保
		体 育 経 営 管 理		2	2				2	保
		体育方法学・実習(器械運動)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(陸上競技)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(ダンス)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(水泳)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(バスケットボール)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(ハンドボール)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(バレーボール)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(サッカー)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(ラグビー)		1	1				1	保
		体育方法学・実習(ソフトボール)		1	1				1	保

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	ス ポ ー ツ 医 学 科	体育方法学・実習(水難救助・河川)		1		←	1	→	1	卒業所要単位に含めない 養 養 養 養 養 養 養 保・養
		関連教育科目								
		手 話 演 習		2	2				2	
		栄 養 学		2	2				2	
		健 康 教 育 学		2		2			2	
		予 防 医 学		2		2			2	
		養 護 概 説		2		2			2	
		養 護 教 職 論		2		2			2	
		精 神 衛 生 学		2			2		2	
		学 校 保 健		2			2		2	
		ス ポ ー ツ 医 学		2		2			2	
		救急処置実習E(海外実習)		1		1			1	
		キャリアアップ実践講座		2			2		2	
		コミュニケーション演習Ⅰ		1			1		1	
		コミュニケーション演習Ⅱ		1				1	1	
		救急救命処置技術・演習(病院内演習)		1			1		1	
	学 科	計	85	45	38	34	34	17	130	
						1	1			
	随 意 科 目	災害とドローン		1	←	1		→	1	卒業所要単位に含めない 独自
		アスレティック・トレーニング概論		2	←	2		→	2	
		防災と教育		2	←	2		→	2	
		計		5	←	5		→	5	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 部	こ ど も ス ポ ー ツ 教 育 学 科	学部基礎科目								
		体 育 原 理	2		2				2	保
		体 力 測 定 ・ 評 価	2		2				2	保
		運 動 生 理 学	2			2			2	保
		小 学 校 英 語	2			2			2	
		体育方法学・実習(体操(集団行動を含む))	1		1				1	保
		体育方法学・実習(器械運動)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(陸上競技)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(水泳)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(ダンス)	1		1				1	保
		体育方法学・実習(柔道)Ⅰ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(柔道)Ⅱ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅰ		1	1				1	保・教免要件
		体育方法学・実習(剣道)Ⅱ		1	1				1	保・教免要件
		こどもスポーツ(野外教育)	1		1				1	小
		卒 業 研 究 Ⅰ	2				2		2	
		卒 業 研 究 Ⅱ	2					2	2	
		計	18	4	14	4	2	2	22	
	学 科 基 礎 教 育 科 目	学 科 基 礎 教 育 科 目								
		教 育 基 礎 論	2		2				2	職
		特別活動の理論と実践(小・中・高)	2		2				2	職
		道徳教育の理論と実践(小・中)	2		2				2	職・独自
		教 育 心 理 学	2			2			2	職
		発 達 心 理 学	2			2			2	職
		教 職 論	2		2				2	職
		生徒・進路指導論(小・中・高)	2			2			2	職
		教育相談(小・中・高)	2				2		2	職
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2				2		2	職
		教育課程論(小・中・高)	2				2		2	職
		特別支援教育概論(小・中・高)	2				2		2	職
		教 育 行 財 政	2			←	2	→	2	職
		総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2				2		2	職
		計	26		6	6	8		26	
						←	2	→		
	体 育 専 門 教 育 科 目	体 育 専 門 教 育 科 目								
		体 育 経 営 管 理	2					2	2	保
		ス ポ ー ツ 心 理 学	2				2		2	保
		学 校 保 健	2					2	2	保

I・II は
同一名称
の科目
計2科目
2単位選
択履修

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	こ ど も ス ポ ー ツ 教 育 学 科	公 衆 衛 生 学	2					2	2	保
		救 急 処 置 法 実 習 I	1					1	1	保
		救 急 処 置 法 実 習 II	1					1	1	保
		体育方法学・実習(野外教育)	1			1			1	保
		体育方法学・実習(バスケットボール)		1		1			1	保
		体育方法学・実習(サッカー)		1		1			1	保
		体育方法学・実習(バレーボール)	1			1			1	保
		体育方法学・実習(ソフトボール)	1			1			1	保
		こどもスポーツ(体操)		1	1				1	小
		こどもスポーツ(器械運動)		1	1				1	小
		こどもスポーツ(陸上競技)		1	1				1	小
		こどもスポーツ(水泳)		1	1				1	小
		こどもスポーツ(ダンス)		1	1				1	小
		こどもスポーツ(バスケットボール)		1		1			1	小
		こどもスポーツ(バレーボール)		1		1			1	小
		こどもスポーツ(サッカー)		1		1			1	小
		こどもスポーツ(ニュースポーツ)		1		1			1	小
		こどもスポーツ(柔道) I		1			1		1	小
		こどもスポーツ(柔道) II		1			1		1	小
		こどもスポーツ(剣道) I		1			1		1	小
		こどもスポーツ(剣道) II		1			1		1	小
		計	13	15	5	9	6	8	28	
		専修教育科目								
		国 語 概 論 A	2			2			2	小
		国語概論B(書写実習を含む)	2			2			2	小
		社 会 科 概 論 A	2			2			2	小
		社 会 科 概 論 B	2			2			2	小
		算 数 概 論 A	2			2			2	小
		算 数 概 論 B	2			2			2	小
		理 科 概 論 A	2			2			2	小
		理 科 概 論 B	2			2			2	小
		生 活 科 概 論	2			2			2	小
		基 礎 音 楽	2			2			2	小
		造 形 1	1			1			1	小
		造 形 2	1			1			1	小
		家 庭 科 概 論	2			2			2	小
		英 語 概 論	2			2			2	小
		計	26			26			26	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
体 育 学 部	こ ど も ス ポ ー ツ 教 育 学 科	関連教育科目								
		教科教育法(国語)	2			2			2	職
		教科教育法(社会)	2			2			2	職
		教科教育法(算数)	2			2			2	職
		教科教育法(理科)	2			2			2	職
		教科教育法(生活)	2			2			2	職
		教科教育法(音楽)	2			2			2	職
		教科教育法(図画工作)	2			2			2	職
		教科教育法(家庭)	2			2			2	職
		教科教育法(体育)	2			2			2	職
		教科教育法(英語)	2			2			2	職
		計	20			20			20	
		合計	103	19	25	19	16	10	122	
					28	22				
					←	2		→		
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		教職特別講座		2	←	2		→	2	
		教職特別講座(基礎)		2	←	2		→	2	
		教職特別講座(応用)		2	←	2		→	2	
		現代的教育課題及び教職総合		2			2		2	
		専門実技(剣道Ⅰ)		1		1			1	
		専門実技(剣道Ⅱ)		1		1			1	
		専門実技(柔道)		1		1			1	
		体育行事演習		1		1			1	
		文系数学(基礎)		2	←		2		→	2
		文系数学(応用)		2	←		2		→	2
		専門音楽		1			1		1	
		専門国語		1			1		1	
		専門英語		1			1		1	
		こども栄養学		2				2	2	
		災害とドローン		1	←	1			→	1
		アスレティック・トレーニング概論		2	←	2			→	2
		防災と教育		2	←	2			→	2
		海外研修		1	←	1			→	1
		計		27		4	5	2	27	
					←	6		→		
					←	10		→		

別表第3 理工学部

理工学部(理工学科)の教育研究上の目的

地球規模で起こっている環境問題、外国に例を見ない速さで進行している少子高齢化、科学技術立国日本の基本であるものづくりが抱える問題点等の深刻な社会問題をふまえて、理工学という広大な分野を従来のような狭い専門分野にとらわれず、幅広い教養と知識に裏付けられた視野の広さと大局的な判断力を身につけさせる教育を目的とする。理工学基礎知識を十分理解し、広い視野と柔軟な思考力、大局的な判断力、積極的に問題を発見し、解決のための方策を考える能力、それを周囲の人に理解してもらえる表現力、周囲の人々とのコミュニケーションを取りながら実行する能力、職業人としての倫理観を備えた人材の育成に努める。

以上の教育目標を達成するために理工学科の中に次の6学系を設ける。それらの特徴は次の通りである。

機械工学系

プロジェクト形式の実習授業を通じ、あらゆる工業分野に必要である機械工学について具体的に体得し、工業社会を支えることのできる人材の育成を目的とする。

電気電子システム工学系

現代社会に欠かすことのできない電気、電子、通信技術の基礎と応用を講義や実験を通して学ぶ。そして次々と開発される新技術に柔軟に対応し、諸課題の解決や持続可能な環境を創造し社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

建築学系

建築デザイン、建築福祉、サステナブル、安全安心、コミュニティをキーワードに自然や社会と調和の取れた建築都市の、計画・設計を学び、これに必要なデザインと工学の深い知識・技術を持つ人材の育成を目的とする。

まちづくり学系

多くの人々が暮らす都市から自然豊かな農村漁村まで、そこに住む人々が安全・安心で生き生きと暮らせる「まち」を創造し、維持するための基礎知識や技術を持った人材の育成を目的とする。

人間情報学系

ヒトの身体活動について測定、解析することができ、スポーツに関する情報、ヒトの身体から得られる情報を活用することのできる知識・技能を持った人材の育成を目的とする。

基礎理学系

科学技術を支える理学の各分野を体系的また専門的に学び、情報を的確に判断し、新たな知識を創造し発信していける人材の育成を目的とする。教職関係の科目を配置し、数学・理科の教員の育成も目指す。

情報理工学系

情報工学、量子科学技術、データサイエンスおよび計算科学の講義・実験を通して得られた知見を活用して、宇宙・地球・量子といった基礎科学分野の課題解決や社会貢献に取り組むことにより、種々の経験的データから新たな価値を創造しデジタル社会を支える人材の育成を行う。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	(学系共通)								
		キャリアデザインA	2		2				2	
		技術者倫理	2		2				2	
		機械の基礎		3	3				3	
		電気電子の基礎Aおよび演習		3	3				3	
		電気電子の基礎B		2	2				2	
		建築基礎演習		1	1				1	
		まちづくり概論		1	1				1	
		まちづくり基礎演習		1	1				1	
		人間情報学の基礎Aおよび演習		3	3				3	
		人間情報学の基礎B		2	2				2	
		基礎理学演習		1	1				1	
		情報理工学の基礎		1	1				1	
		ものづくり基礎A		1	1				1	
		ものづくり基礎B		1	1				1	
		コンピュータリテラシーA	2		2				2	技・工・教免要件
		コンピュータリテラシーB		2	2				2	技・工・教免要件
		基礎数学A 1		2	2				2	
		基礎数学A 2		2	2				2	
		基礎数学B 1		2	2				2	
		基礎数学B 2		2	2				2	
		線形代数A		2	2				2	数
		線形代数B		2	2				2	数
		基礎力学A		2	2				2	
		基礎力学B		2	2				2	
		基礎化学A		2	2				2	理
		基礎化学B		2	2				2	理
		物理実験		2	2				2	理
		化学実験		2	2				2	理
		基礎化学実験		1	1				1	
		キャリアデザインB	1			1			1	
		科学技術と知的財産法		2		2			2	
		Cプログラミング入門		2		2			2	
		Cプログラミング応用		2		2			2	
		スクリプト言語プログラミング		2	2				2	
		JAVAプログラミング		2			2		2	
		データベース		2			2		2	
		キャリアデザインC		2			2		2	
		ゼミナールA		1			1		1	
		ゼミナールB		1			1		1	
		卒業研究	4					4	4	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	(機械工学系)								
		機 械 工 学 概 論		2	2				2	技
		機械設計製図およびDTPD A		1	1				1	技
		工 業 熱 力 学 A		2		2			2	技・工
		工 業 熱 力 学 B		2		2			2	
		機 械 力 学 A		2		2			2	工
		機 械 力 学 B		2		2			2	
		流 体 力 学 A		2		2			2	工
		流 体 力 学 B		2		2			2	
		材 料 力 学 A		2		2			2	技・工
		材 料 力 学 B		2		2			2	
		機械設計製図およびDTPD B		2	2				2	技・工
		機械設計製図およびDTPD C		2		2			2	技・工
		計 測 工 学		2			2		2	技・工
		冷 凍 及 び 空 気 調 和		2			2		2	
		基 礎 電 子 回 路		2		2			2	工
		機械設計製作プロジェクトB		2		2			2	工
		機械設計製作プロジェクトA		2		2			2	工
		基 礎 ロ ボ ッ ト 工 学		2			2		2	
		機 械 材 料 工 学		2			2		2	工
		流 体 工 学		2			2		2	工
		自 動 車 工 学		2			2		2	工
		エ ン ジ ン 工 学		2			2		2	工
		環 境 工 学		2			2		2	
		伝 熱 工 学		2			2		2	
		木 材 加 工 A		2		2			2	技
		木 材 加 工 B		2		2			2	技
		機械設計製図およびDTPD D		2		2			2	工
		機 械 工 学 実 験		2			2		2	技・工
		機 構 学		2			2		2	工
		機 械 と 情 報 技 術		2			2		2	工
		研究開発プロジェクト基礎		2			2		2	工
		生 産 加 工 学		2			2		2	工
		工 業 デ ザ イ ン		2			2		2	工
		車 両 運 動 学		2			2		2	工

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	メカトロニクス		2			2		2	
		エネルギー工学		2			2		2	
		基礎ロボットプログラミング		2			2		2	
		モデルベース開発基礎		2			2		2	
		(電気電子システム工学系)								
		電気電子工学実験A		2		2			2	工
		電気電子工学実験B		2		2			2	工
		回路理論Aと演習		3		3			3	工
		電磁気学Aと演習		3		3			3	工
		回路理論B		2		2			2	工
		電磁気学B		2		2			2	工
		電気電子計測A		2		2			2	情
		電気数学A		2		2			2	
		電気電子計測B		2		2			2	情
		電気数学B		2		2			2	
		デジタル回路		2		2			2	
		電気製図		2		2			2	工
		電気電子工学実験C		2			2		2	工
		電気電子工学実験D		2			2		2	工
		電子回路		2			2		2	工
		通信工学		2			2		2	情
		電気機器A		2			2		2	技・工
		電波法規		2			2		2	工
		電気法規及び施設管理		2			2		2	工
		パワーエレクトロニクス		2			2		2	
		電気機器B		2			2		2	工
		電力工学		2			2		2	工
		電磁波工学		2			2		2	工
		マイクロ波・光工学		2			2		2	工
		電気電子材料		2			2		2	
		高圧工学		2			2		2	工
		半導体デバイス		2			2		2	
		過渡現象論		2			2		2	工

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	(建築学系)								
		設 計 基 礎 演 習 A		1	1				1	工
		設 計 基 礎 演 習 B		1	1				1	工
		造 形 基 礎 演 習 A		1	1				1	
		造 形 基 礎 演 習 B		1	1				1	
		建 築 意 匠 概 論		2	2				2	工
		建 築 構 造 材 料		2		2			2	工
		建 築 構 法		2	2				2	
		建 築 環 境 工 学		2		2			2	
		設 計 演 習 1 a		2		2			2	
		設 計 演 習 1 b		2		2			2	
		建 築 実 務 CAD		2		2			2	工
		建 築 施 工 法 A		2		2			2	工
		建 築 材 料 実 験		2		2			2	
		建 築 計 画		2		2			2	
		建 築 の 利 用 と 再 生		2			2		2	
		日 本 建 築 史 A		2		2			2	工
		日 本 建 築 史 B		2		2			2	工
		住 居 論		2		2			2	工
		建 築 デ ザ イン A		2		2			2	
		建 築 デ ザ イン B		2		2			2	
		生 活 支 援 工 学		2				2	2	
		建 築 福 祉 医 療		2		2			2	
		イ ン テ リ ア ・ デ ザ イン		2		2			2	工
		建 築 仕 上 材 料		2			2		2	工
		建 築 ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン		2		2			2	
		福 祉 の ま ち づ くり		2				2	2	
		構 造 デ ザ イン 論		2			2		2	
		都 市 計 画		2		2			2	工
		建 築 の 法 規		2			2		2	工
		建 築 設 備 工 学 A		2		2			2	工
		建 築 設 備 工 学 B		2			2		2	工
		建 築 構 造 設 計 A		2			2		2	工
		建 築 構 造 設 計 B		2			2		2	工
		設 計 演 習 2		2			2		2	
		設 計 演 習 3		2			2		2	工
		広 域 ・ 都 市 環 境 論		2			2		2	工
		建 築 施 工 法 B		2			2		2	工
		建 築 仕 様 積 算		2			2		2	工
		建 築 環 境 ・ 生 理 学 実 験		2			2		2	
		建 築 生 産		2		2			2	工
		西 洋 建 築 史		2			2		2	
		都 市 デ ザ イン		2			2		2	工
		3D プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン CAD		2			2		2	
		建 築 構 造 製 図		2			2		2	工
		建 築 設 備 製 図		2			2		2	工

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	近 代 建 築 論		2			2		2	(建築学系は3年次)
		住 環 境 の 心 理 学		2		2			2	
		建 築 と 人 間 工 学		2			2		2	
		建 築 構 造 計 画		2			2		2	
		建 築 材 料 施 工 演 習		2			2		2	
		建 築 設 備 計 画		2				2	2	
		福 祉 住 環 境		2	2				2	
		福 祉 施 設 計 画		2				2	2	
		建 築 の 力 と か た ち		1	1				1	
		建 築 構 造 力 学		2		2			2	
		建 築 安 全 防 災 計 画		2				2	2	
		広 域 ・ 都 市 調 査 統 計		2			2		2	
		建 築 材 料 施 工 計 画		2				2	2	
		建 築 構 造 ・ 防 災 工 学 実 験		2			2		2	
		建 築 デ ザ イ ン C		2			2		2	
		建 築 総 合 演 習 (まちづくり学系)		1				1	1	
		景 観 デ ザ イ ン の 基 礎 A		1	1				1	工
		景 観 デ ザ イ ン の 基 礎 B		1	1				1	工
		構 造 力 学 及 び 演 習 A		3	3				3	工 (建築学系と共同開講)
		設 計 製 図 A		1	1				1	工
		設 計 製 図 B		1		1			1	工
		構 造 力 学 及 び 演 習 B		3		3			3	工 (建築学系と共同開講)
		水 理 学 及 び 演 習		3		3			3	工
		景 観 デ ザ イ ン A		2		2			2	工
		土 質 力 学 A		2		2			2	工
		まちづくりの計画と進め方B		2		2			2	
		まちづくりの計画と進め方A		2		2			2	
		まちづくりの交通計画		2		2			2	工
		ランドスケープデザイン		2		2			2	工
		コンクリート工学及び演習		3		3			3	工
		ま ち づ く り の 実 際		2		2			2	工
		建 設 D X ・ A		2		2			2	(建築学系と共同開講)
		建 設 D X ・ B		2			2		2	(建築学系と共同開講)
		まちづくりフィールド演習		1			1		1	
		空 間 情 報 学		2			2		2	工
		プロジェクト実践演習		2				2	2	
		構 造 物 設 計 演 習		1			1		1	工
		測 量 学		2	2				2	工
		測 量 実 習 A		2	2				2	工 (建築学系は3年次)
		測 量 実 習 B		2	2				2	工
		建設材料・構造実験		2			2		2	工
		土 質 力 学 B		2			2		2	工
		土 質 実 験		2			2		2	工
		都 市 緑 地 計 画 学		2			2		2	工

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	河 川 工 学		2			2		2	工
		河川環境とまちづくり		2			2		2	
		土 木 施 工		2			2		2	工
		公共空間デザイン演習		2			2		2	工
		維 持 管 理 工 学		2			2		2	工
		まちづくりの調査解析		2			2		2	工
		景 観 デ ザ イ ン B		2			2		2	
		力 学 総 合 演 習		1			1		1	
		防 災 ま ち づ くり		2		2			2	工
		(人間情報学系)								
		医 学 概 論		2	2				2	
		人 間 情 報 学 序 論		2	2				2	
		スポーツパフォーマンス分析演習		2		2			2	
		スポーツコンディショニング分析演習		2		2			2	
		物 理 療 法 機 器 学		2		2			2	
		機 能 解 剖 学		2		2			2	
		スポーツバイオメカニクス		2			2		2	
		ス ポ ー ツ 医 学		2	2				2	
		ス ポ ー ツ 生 理 学		2	2				2	
		ス ポ ー ツ 生 化 学		2		2			2	
		生 体 計 測 論		2		2			2	
		スポーツディープラーニング演習		2			2		2	
		スポーツ情報データ分析演習		2			2		2	
		スポーツトレーニング論		2			2		2	
		デ ー タ リ テ ラ シ ー		2			2		2	
		実践スポーツトレーニング		2			2		2	
		統 計 処 理 論		2			2		2	
		認 知 科 学 概 論		2		2			2	
		トレーニング情報科学		2		2			2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	人間情報処理演習		2	2				2	
		脳 科 学 概 論		2		2			2	
		言 語 情 報 論		2		2			2	
		ス ポ ー ツ と A I		2				2	2	
		スポーツアプリケーション		2				2	2	
		コンディショニング科学		2			2		2	
		睡 眠 科 学		2			2		2	
		ス ポ ー ツ 工 学		2		2			2	
		スポーツ情報分析学		2			2		2	
		プログラミング演習		2		2			2	
		スポーツディープラーニング		2			2		2	
		スポーツパフォーマンス分析学		2	2				2	
		(基礎理学系)								
		線 形 代 数 概 論 A		2	2				2	数
		線 形 代 数 概 論 B		2	2				2	数
		力 学		2	2				2	理
		特別活動の理論と実践		2	2				2	職
		道徳教育の理論と実践		2	2				2	職・独自
		生 物 学 実 験		2		2			2	理
		地 学 実 験		2		2			2	理
		解 析 学 A		2		2			2	数
		確 率 論		2		2			2	数
		環 境 科 学 A		2		2			2	理
		環 境 科 学 B		2		2			2	理
		幾 何 学 A		2		2			2	数
		解 析 学 B		2		2			2	数
		行 列 論 A		2		2			2	数
		解 析 学 C		2		2			2	数
		振 動 と 波 動		2		2			2	理
		数 理 情 報 入 門		2		2			2	数
		生 物 学 A		2		2			2	理
		生 物 学 B		2		2			2	理
		代 数 学 A		2		2			2	数
		地 球 科 学 A		2		2			2	理
		地 球 科 学 B		2		2			2	理

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	統 計 学		2		2			2	数
		熱 力 学		2		2			2	理
		基 礎 量 子 力 学		2		2			2	理
		論 理 と 集 合		2		2			2	数
		教 育 心 理 学		2		2			2	職
		教 職 論		2		2			2	職
		生徒・進路指導論		2		2			2	職
		解 析 学 精 義 A		2		2			2	
		解 析 学 精 義 B		2		2			2	
		数 学 基 礎 演 習		1	1				1	
		ア ル ゴ リ ズ ム 論		2			2		2	数
		幾 何 学 C		2			2		2	数
		解 析 学 D		2			2		2	数
		解 析 特 論 C		2			2		2	数
		固体地球物質科学		2			2		2	理
		情 報 と 符 号 化 A		2		2			2	
		情 報 と 符 号 化 B		2		2			2	
		生 命 科 学		2			2		2	理
		素 粒 子 と 宇 宙		2			2		2	理
		相 対 性 理 論		2			2		2	理
		地 球 惑 星 発 達 史		2			2		2	理
		解 析 学 E		2			2		2	数
		原 子 と 原 子 核		2			2		2	理
		物 質 科 学		2			2		2	理
		教 育 課 程 論		2			2		2	職
		教 育 行 財 政		2			2		2	職
		教 育 相 談		2			2		2	職
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		2			2	職
		数 学 特 別 演 習		1			1		1	
		代 数 学 B		2		2			2	数
		代 数 学 幾 何 学 精 義		2		2			2	
		行 列 論 B		2		2			2	数
		解 析 特 論 A		2		2			2	数
		解 析 特 論 B		2			2		2	数
		幾 何 学 B		2			2		2	数

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
工 学 部	理 工 学 科	代 数 学 C		2			2		2	数
		無 機 化 学		2		2			2	理
		有 機 化 学		2		2			2	理
		物 理 化 学		2			2		2	理
		(情報理工学系)								
		情報数学の基礎および演習		3	3				3	
		プログラミング言語A		2	2				2	
		プログラミング言語B		2		2			2	
		情報理工学実験A		2		2			2	
		情報理工学実験B		2		2			2	
		アルゴリズムとデータ構造		2		2			2	
		情 報 数 学		2		2			2	情
		制 御 工 学		2		2			2	工
		コンピュータ工学		2		2			2	情
		情報技術概論		2		2			2	工
		デジタル信号処理		2		2			2	工
		オペレーティングシステム		2		2			2	工
		社会と情報システム		2		2			2	情
		情報社会及び情報倫理		2		2			2	情
		情 報 と 職 業 A		2		2			2	情
		情 報 と 職 業 B		2		2			2	情
		応 用 解 析 A		2		2			2	
		応 用 解 析 B		2		2			2	
		数理統計学(基礎)		2		2			2	
		データエンジニアリング		2		2			2	
		実践データサイエンス演習		1			1		1	
		統計活用演習		1			1		1	
		計算機ネットワーク		2			2		2	情
		画像音響処理		2			2		2	情
		ソフトウェア工学A		2			2		2	
		ソフトウェア工学B		2			2		2	
		パターン認識		2			2		2	情
		オブジェクト指向設計		2			2		2	
		実践データサイエンス		2			2		2	
		数理統計学(応用)		2			2		2	
		多変量解析		2			2		2	
		データマイニング・自然言語処理		2			2		2	
		時系列解析		2			2		2	
		ベイズ統計学		2			2		2	
		人工知能・機械学習		2			2		2	
		統計力学		2			2		2	理
		量子力学		2			2		2	理
		量子コンピュータ		2			2		2	
		計算科学		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
理 工 学 部	理 工 学 科	計	11	643	107	262	264	17	654	
					2	2				
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		職 業 指 導 (理 論)		2				2	2	工
		職 業 指 導 (実 践)		2				2	2	工
		計		4				4	4	
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	
		計		1	←	1		→	1	

別表第4 法学部

法学部の教育研究上の目的

法学部は、建学の精神に基づき、法学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組ませ、国家・社会に貢献する人材を育成することを目指している。

変わりゆく時代の要請に応えるために、学生が、公共の精神を養い、基礎知識および識見を身につけた健全な社会人、とりわけ専門の法知識およびリーガルマインド（法的思考力）を備えた職業人となるための教育を行う。

法律学科

グローバル化・情報化が進む法治国家社会では、近年、解決困難な法的問題が次々と生起しており、これに対応できる法的思考力・法的思考方法を修得させる法学教育が求められている。本学科は、このような要請に応えるため、法学の基礎的知識を修得し、身に付けた法的思考力・法的思考方法を実社会で生かせる人材を育成する教育・研究を目的としている。この目的を遂行するために、チャレンジ精神・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力などの「社会人基礎力」をも重視する教育に取り組んでいる。

現代ビジネス法学科

グローバル化・情報化が進む企業社会では、近年、解決困難な問題が次々と生起しており、これに対応できる新しいビジネス法学教育が求められている。本学科は、このような要請に応えるため、企業法務を中核とし、これに経済学、経営学などを加えたビジネス法学の基礎的知識を修得し、グローバルに活躍することができる人材を育成する教育・研究を目的としている。この目的を遂行するために、チャレンジ精神・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力などの「企業人基礎力」をも重視する教育に取り組んでいる。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	法 律 学 科	専門科目								
		法 学 A	2		2				2	
		法 学 B	2		2				2	
		憲法(統治・基礎)	2		2				2	社・公 教免要件
		憲法(人権・基礎)	2		2				2	社・公 教免要件
		民 法 A	2		2				2	社・公
		民 法 B	2		2				2	社・公
		刑 法 A	2		2				2	社・公
		刑 法 B	2		2				2	社・公
		教養教育ゼミA	2		2				2	
		教養教育ゼミB	2		2				2	
		法学演習Ⅰ	4			4			4	
		法学演習Ⅱ	4				4		4	
		卒業課題	4					4	4	※印から20単位選択必修
		刑法総論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑法総論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		債権総論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		債権総論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		民法総則(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		民法総則(応用)		2		2			2	社・公 ※
		刑法各論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑法各論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		債権各論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		債権各論(応用)		2			2		2	社・公 ※
		行政作用法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		行政作用法(応用)		2		2			2	社・公 ※
		行政救済法(基礎)		2		2			2	※
		行政救済法(応用)		2			2		2	※
		物 権 法 (基礎)		2		2			2	社・公 ※
		担保物権法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		不法行為法		2		2			2	※
		会社法(企業統治法)		2		2			2	社・公 ※
		会社法(企業金融法)		2		2			2	社・公 ※
		租 税 法 総 論		2		2			2	※
		商 法 総 則		2			2		2	※
		刑事訴訟法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑事訴訟法(応用)		2		2			2	社・公 ※

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	法 律 学 科	被 害 者 学 (基 礎)		2		2			2	
		被 害 者 学 (応 用)		2		2			2	
		生 活 と 法		2		2			2	
		社 会 と 法		2		2			2	
		紛 争 解 決 と 法		2		2			2	
		税 の ト ラ ブ ル と 法		2		2			2	
		障 害 と 法		2		2			2	
		ビ ジ ネ ス と 法		2		2			2	
		国 際 ビ ジ ネ ス と 法		2		2			2	
		経 済 活 動 と 法		2		2			2	
		ス ポ ー ツ と 法		2		2			2	
		ス ポ ー ツ 事 故 と 法		2		2			2	
		ス ポ ー ツ と 公 法		2		2			2	
		ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス と 法		2		2			2	
		知 的 財 産 と 公 法		2		2			2	
		著 作 権 と 法		2		2			2	
		発 明 と 法		2		2			2	
		親 族 法 ・ 相 続 法 (基 礎)		2		2			2	社・公
		親 族 法 ・ 相 続 法 (応 用)		2		2			2	社・公
		簿 記 原 理		2		2			2	
		憲 法 (統 治 ・ 応 用)		2		2			2	
		憲 法 (人 権 ・ 応 用)		2		2			2	
		物 権 法 (応 用)		2		2			2	社・公
		担 保 物 権 法 (応 用)		2		2			2	社・公
		民 事 訴 訟 法 (基 礎)		2		2			2	社・公
		民 事 訴 訟 法 (応 用)		2			2		2	社・公
		所 得 税 法		2			2		2	
		法 哲 学		2			2		2	
		法 思 想 史		2			2		2	
		消 費 者 法		2			2		2	
		国 際 公 法		2			2		2	社・公
		国 際 私 法		2			2		2	
		労 働 法 (基 礎)		2			2		2	社・公
		労 働 法 (応 用)		2			2		2	社・公
		社 会 保 障 法 (基 礎)		2			2		2	
		社 会 保 障 法 (応 用)		2			2		2	
		経 済 法		2			2		2	
		地 方 自 治 法		2			2		2	
		捜 査 法 (基 礎)		2			2		2	
		捜 査 法 (応 用)		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	法 律 学 科	刑事法特殊講義(基礎)		2			2		2	
		刑事法特殊講義(応用)		2			2		2	
		犯 罪 学 (基 礎)		2			2		2	
		犯 罪 学 (応 用)		2			2		2	
		犯罪学特殊講義(基礎)		2			2		2	
		犯罪学特殊講義(応用)		2			2		2	
		刑 事 政 策 (基 礎)		2			2		2	
		刑 事 政 策 (応 用)		2			2		2	
		少年非行と少年法(基礎)		2			2		2	
		少年非行と少年法(応用)		2			2		2	
		経 済 刑 法 (基 礎)		2			2		2	
		経 済 刑 法 (応 用)		2			2		2	
		民事執行・保全法(基礎)		2			2		2	
		民事執行・保全法(応用)		2			2		2	
		倒 産 処 理 法 (基 礎)		2			2		2	
		倒 産 処 理 法 (応 用)		2			2		2	
		保 險 法		2			2		2	
		商 行 為 法		2			2		2	
		金 融 商 品 取 引 法		2			2		2	
		支 払 決 済 法 (基 礎)		2			2		2	
		支 払 決 済 法 (応 用)		2			2		2	
		知的財産法(産業財産法)		2			2		2	
		知的財産法(文化メディア法)		2			2		2	
		財 務 諸 表 論		2			2		2	
		財 政 学 (基 礎)		2			2		2	
		財 政 学 (応 用)		2			2		2	
		経 済 学 原 論 (基 礎)		2		←	2	→	2	社・公
		経 済 学 原 論 (応 用)		2		←	2	→	2	社・公
		政治学原論(基礎)		2		←	2	→	2	社・公
		政治学原論(応用)		2		←	2	→	2	社・公
		模 裁 ・ 法 討 A		2		←	2	→	2	
		模 裁 ・ 法 討 B		2		←	2	→	2	
		キャリアデザインⅠ		2	←		2	→	2	
		キャリアデザインⅡ		2	←		2	→	2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	法 律 学 科	キャリアデザインⅢ		2	←	2		→	2	各資格・検定については、資格等を取得したもののについて所定の単位を認定する。
		法 学 特 殊 講 座 Ⅰ		2	←	2		→	2	
		法 学 特 殊 講 座 Ⅱ		2	←	2		→	2	
		法 学 特 殊 講 座 Ⅲ		2	←	2		→	2	
		資格・検定関連科目								
		資格・検定(司法書士)		8	←	8		→	8	
		資格・検定(ファイナンシャル・プランニング技能検定2級)		6	←	6		→	6	
		資格・検定(ファイナンシャル・プランニング技能検定3級)		2	←	2		→	2	
		資格・検定(社会保険労務士)		6	←	6		→	6	
		資格・検定(宅地建物取引士)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(通関士)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(行政書士)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(ビジネス実務法務検定2級)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(ビジネス実務法務検定3級)		2	←	2		→	2	
		資格・検定(法学検定アドバンスト〈上級〉コース)		6	←	6		→	6	
		資格・検定(法学検定スタンダード〈中級〉コース)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(法学検定ベーシック〈基礎〉コース)		2	←	2		→	2	
		資格・検定(ビジネス著作権検定上級)		4	←	4		→	4	
		資格・検定(ビジネス著作権検定初級)		2	←	2		→	2	
		資格・検定(知的財産管理技能検定1級)		8	←	8		→	8	
		資格・検定(知的財産管理技能検定2級)		6	←	6		→	6	
		資格・検定(知的財産管理技能検定3級)		4	←	4		→	4	
		IT パ ス ポ ー ト		2	←	2		→	2	
		キャリアデザイン		1			1		1	自由選択枠
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		国史概説(原始～中世)		2		2			2	社
		国史概説(近世～現代)		2		2			2	社
		外国史概説(西洋)		2		2			2	社
		外国史概説(東洋)		2		2			2	社
		人文地理概説		2		2			2	社
		自然地理概説		2			2		2	社
		地 誌 学		2			2		2	社

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	法 律 学 科	哲 学 概 論		2			2		2	社・公
		倫 理 学 概 論		2			2		2	社・公
		社 会 学 概 論		2			2		2	社・公
		計	32	301	20	60	101	4	333	
						44				
							2			
法 学 部	法 律 学 科	随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	
		計		1	←	1		→	1	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法学部	現代ビジネス法学科	専門科目								
		法 学 A	2		2				2	
		法 学 B	2		2				2	
		憲法(統治・基礎)	2		2				2	社・公 教免要件
		憲法(人権・基礎)	2		2				2	社・公 教免要件
		民 法 A	2		2				2	社・公
		民 法 B	2		2				2	社・公
		刑 法 A	2		2				2	社・公
		刑 法 B	2		2				2	社・公
		教養教育ゼミA	2		2				2	
		教養教育ゼミB	2		2				2	
		法学演習Ⅰ	4			4			4	
		法学演習Ⅱ	4				4		4	
		卒業課題	4					4	4	
		金融商品取引法		2			2		2	※印から20単位選択必修
		デジタルコンテンツと法		2			2		2	
		民法総則(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		民法総則(応用)		2			2		2	社・公
		商法総則		2		2			2	※
		刑法総論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑法総論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		国際公法		2			2		2	社・公 ※
		刑事訴訟法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑事訴訟法(応用)		2		2			2	社・公 ※
		刑法各論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		刑法各論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		会社法(企業統治法)		2		2			2	社・公 ※
		会社法(企業金融法)		2		2			2	社・公 ※
		不法行為法		2		2			2	※
		行政作用法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		行政作用法(応用)		2		2			2	社・公 ※
		債権総論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		債権総論(応用)		2		2			2	社・公 ※
		債権各論(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		債権各論(応用)		2			2		2	社・公
		知的財産法(産業財産法)		2		2			2	社・公 ※

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	現 代 ビ ジ ネ ス 法 学 科	知的財産法(文化メディア 法)		2		2			2	社・公 ※
		担保物権法(基礎)		2		2			2	社・公 ※
		担保物権法(応用)		2		2			2	社・公
		物 権 法 (基 礎)		2		2			2	社・公 ※
		物 権 法 (応 用)		2		2			2	社・公
		行政救済法(基礎)		2		2			2	※
		行政救済法(応用)		2			2		2	※
		国 際 私 法		2		2			2	※
		租 税 法 総 論		2			2		2	※
		著作権法(基礎)		2			2		2	※
		著作権法(応用)		2			2		2	
		デザイン法(基礎)		2			2		2	※
		デザイン法(応用)		2			2		2	
		特 許 法 (基 礎)		2			2		2	※
		特 許 法 (応 用)		2			2		2	
		民事訴訟法(基礎)		2			2		2	社・公 ※
		民事訴訟法(応用)		2			2		2	社・公 ※
		商標法・不正競争防止法(基礎)		2			2		2	※
		商標法・不正競争防止法(応用)		2			2		2	
		親族法・相続法(基礎)		2		2			2	社・公
		親族法・相続法(応用)		2		2			2	社・公
		経 営 学		2		2			2	
		簿 記 原 理		2		2			2	
		財 務 諸 表 論		2		2			2	
		産業財産権の実務		2		2			2	
		著 作 権 の 実 務		2		2			2	
		生 活 と 法		2		2			2	
		社 会 と 法		2		2			2	
		紛 争 解 決 と 法		2		2			2	
		税 の ト ラ ブ ル と 法		2		2			2	
		障 害 と 法		2		2			2	
		ビ ジ ネ ス と 法		2		2			2	
		国際ビジネスと法		2		2			2	
		経 済 活 動 と 法		2		2			2	
		ス ポ ー ツ と 法		2		2			2	
		スポーツ事故と法		2		2			2	
		スポーツと公法		2		2			2	
		スポーツビジネスと法		2		2			2	
		知的財産と公法		2		2			2	
		著 作 権 と 法		2		2			2	
		発 明 と 法		2		2			2	
		英 米 法		2		2			2	
		経 済 法		2		2			2	
		ネットワーク社会と犯罪		2		2			2	
		経 済 刑 法 (基 礎)		2			2		2	
		経 済 刑 法 (応 用)		2			2		2	
		所 得 税 法		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	現 代 ビ ジ ネ ス 法 学 科	商 行 為 法		2			2		2	
		消 費 者 法		2			2		2	
		地 方 自 治 法		2			2		2	
		社会保険法(基礎)		2			2		2	
		知的財産法特講		2			2		2	
		法 人 税 法		2			2		2	
		倒産処理法(基礎)		2			2		2	
		倒産処理法(応用)		2			2		2	
		保 険 法		2			2		2	
		労働法(基礎)		2			2		2	
		労働法(応用)		2			2		2	
		支払決済法(基礎)		2			2		2	
		支払決済法(応用)		2			2		2	
		捜査法(基礎)		2			2		2	
		捜査法(応用)		2			2		2	
		著作権管理と法		2			2		2	
		著作権契約		2			2		2	
		裁判外紛争処理法(基礎)		2			2		2	
		裁判外紛争処理法(応用)		2			2		2	
		経済学原論(基礎)		2	←		2	→	2	社・公
		経済学原論(応用)		2	←		2	→	2	社・公
		知財犯罪と警察活動		2	←		2	→	2	
		模 裁 ・ 法 討 A		2	←		2	→	2	
		模 裁 ・ 法 討 B		2	←		2	→	2	
		キャリアデザインⅠ		2	←		2	→	2	
		キャリアデザインⅡ		2	←		2	→	2	
		キャリアデザインⅢ		2	←		2	→	2	
		資格・検定関連科目								各資格・検定については、資格等を取得したものについて所定の単位を認定する。
		資格・検定(司法書士)		8	←		8	→	8	
		資格・検定(ファイナンシャル・プランニング技能検定2級)		6	←		6	→	6	
		資格・検定(ファイナンシャル・プランニング技能検定3級)		2	←		2	→	2	
		資格・検定(社会保険労務士)		6	←		6	→	6	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
法 学 部	現 代 ビ ジ ネ ス 法 学 科	資格・検定(宅地建物取引士)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(通関士)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(行政書士)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(ビジネス実務法務検定2級)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(ビジネス実務法務検定3級)		2	←		2	→	2	
		資格・検定(法学検定 アドバンスト<上級>コース)		6	←		6	→	6	
		資格・検定(法学検定 スタンダード<中級>コース)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(法学検定ベーシ ック<基礎>コース)		2	←		2	→	2	
		資格・検定(ビジネス著作権検定上級)		4	←		4	→	4	
		資格・検定(ビジネス著作権検定初級)		2	←		2	→	2	
		資格・検定(知的財産管理技能検定1級)		8	←		8	→	8	
		資格・検定(知的財産管理技能検定2級)		6	←		6	→	6	
		資格・検定(知的財産管理技能検定3級)		4	←		4	→	4	
		法 学 特 殊 講 座 I		2	←		2	→	2	
		法 学 特 殊 講 座 II		2	←		2	→	2	
		法 学 特 殊 講 座 III		2	←		2	→	2	
		IT パ ス ポ ー ト キャリアデザイン		2	←		2	→	2	
				1			1		1	自由選択枠
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		国史概説(原始～中世)		2		2			2	社
		国史概説(近世～現代)		2		2			2	社
		外国史概説(西洋)		2		2			2	社
		外国史概説(東洋)		2		2			2	社
		人 文 地 理 概 説		2		2			2	社
		地 誌 学		2			2		2	社
		自 然 地 理 概 説		2			2		2	社
		哲 学 概 論		2			2		2	社・公
		倫 理 学 概 論		2			2		2	社・公
		社 会 学 概 論		2			2		2	社・公
		計	32	297	20	64	83	4	329	
						48		10		
					←		10	→		
					←	90		→		
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	
		計		1	←	1		→	1	

別表第5 文学部

文学部の教育研究上の目的

文学部の理念と目的は、「人文科学を中心に深遠な学術を教授研究し、豊かな教養と高潔な人格を養い、文化の創造力をつけ、社会福祉の増進や国際社会の進展に寄与できる人材を養成する」ことにある。これは単に専門的な知識や技術の伝授にとどまることなく、教養科目を重視する大学の伝統を踏まえて「心の教育」と「人間形成」を根幹として「人を育成する」ものである。その理念・目的を達成するために学部内に「教育学科」・「史学地理学科」・「文学科」の3学科を置く。「教育学科」には教育学コースの1コースを、「史学地理学科」には考古・日本史学コース、地理・環境コースの2コースを、「文学科」には日本文学・文化コースの1コースを置いている。学科・コース間でそれぞれ有機的・発展的に広く基礎を学び、深く専門領域を極め、現代社会に寄与する徳と叡智を涵養できるよう、綿密なカリキュラムを編成している。

教育学科

教育学科は学校教員養成を柱とし、「人間形成」という視点を基盤に教育の本質を多角的に探究することで、教育理論の学習と実践を通じて人間と社会の在り方を理解し支援できる人材の育成を目的としている。本学科では、生涯を通じて自己を成長させ、社会に貢献する力を養うことを重視し、教育分野に関わる幅広い知識と技術を修得するためのカリキュラムを編成している。

教育は全ての学校種が相互に関連し合うものであり、その連携と影響を理解することが重要である。そのために、学生が共に学び、互いの知見を共有できる学び舎を構築し、人間と社会に対する多様な視点を養う機会を提供する。

教育学コース

教育学コースは、教育に関する理論的・実践的研究を行い、その知識と技能を体系的に修得させることを目的としている。具体的には、①教員や指導者として豊かな人間性と協働力を持ち、学びの支援と、社会貢献ができる人材 ②教育学の探究を通じて、共創社会の実現に貢献できる知識と実践力を備えた人材 ③人の生涯を見通して教育分野で活躍できる人材 の育成を目指す。

教育分野のキャリアを志す学生のために、幼稚園、小学校、中学校の社会科や保健体育科、高等学校の地理歴史科、公民科、保健体育科および特別支援学校の教諭、養護教諭、社会教育主事(社会教育士)などの多様な資格取得に力を入れている。

史学地理学科

史学地理学科は、考古・日本史学コース、地理・環境コースの2コースによって構成されている。本学科では、本大学における建学の理念や文学部における教育・研究理念を共通の目的として、各コースの独自性を尊重しながら、各コース相互の専門科目を取り入れ、有機的連関性を持ったコースのカリキュラムを編成している。また、本学科は、実証的な教育・研究を各コース共通の柱とし、さらに教育・研究理念ならびに教育目標を達成させるために卒業論文の準備・作成を重視し、入念な指導を実施している。このほか、考古・日本史学コースにおいては、考古学と日本史学の両者によって日本文化の探究を実践している。地理・環境コースにおいても、現実社会の状況を判断し対処できる人材育成を念頭に置き「環境」や「防災」という現代社会が直面している課題に挑戦し、実践している。

考古・日本史学コース

考古・日本史学コースの目的は、日本の歴史研究をとらえて日本文化の特色を把握し、国際社会との協調と発展に貢献しうる有為な人材を育成することにある。この目的を実現するための教育方針として以下の3点を立てている。①世界史のなかで、日本史をとらえる視点の養成 ②文献史料・考古資料を調査・収集して、分析・表現する能力の養成 ③社会に通じる、総合的な実務能力の養成

地理・環境コース

地理・環境コースでは、史学地理学科の教育の目的を、地理・環境分野における地域調査に根ざした実践的カリキュラムを中心に学ばせることによって達成することを、教育の目的としている。この目的を実現するための基本方針は、「人間と自然に関する幅広い視野をもった上で、地理・環境分野における科学的な地域調査に根ざした学びを通して自ら調査・研究を実践できる力を身につけた学生を育てる」というものである。

文学科

文学科は、日本文学・文化コース1コースによって構成されている。本学科では、本大学の建学の理念および文学部の教育研究上の目的に基づき、古代から現代に至る日本の文学・文化現象について幅広く学ぶという知的な作業を通じて、人間的な成長を遂げ、社会に貢献できる人材を育成することを目的としている。

本学科では、日本語で創作された言語文化を中心に、思想、芸能、映像文化などを、研究教育の対象領域とする。

日本には古代以来、永きにわたる文化の積み重ねがあり、それらは我が国のみならず、広く世界に開かれた資産としての価値をもっている。また日本語で表現された文学・文化は、日本人のみならず人間全体に通じうる営みや思索を表出した貴重な資産である。本学科では、文学部に開講された幅広いカリキュラムの学習を踏まえ、これら日本の文化的資産の理解・読解という作業を通じて、人間の営みへの知的な理解力、および共感へと至る感性を磨き、高めるのみならず、現代を生きる社会人に必須な表現力・情報発信能力を備えた知的総合能力を鍛えることによって、日本文学を中心にした、総合的な教養人として社会に有為な人材を育てる教育を行う。また資格科目としては、教職免許に関わる「国語科教育」に特に力を入れ、実践的な教育を行っている。

日本文学・文化コース

日本文学・文化コースは、日本語および日本文学・文化を多面的に学ぶことを通して、日本文学・日本文化に関する幅広く体系的な教養を身に付け、現実の様々な問題についての明晰な判断力・想像力を獲得し、現代の社会生活に活用できる人材を育成することを目標にしている。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
		専門科目								
		《教育学コース》								
		教 育 学 の 基 礎 A	2		2				2	
		教 育 学 の 基 礎 B	2		2				2	
		人 間 と 教 育 A	2			2			2	
		人 間 と 教 育 B	2			2			2	
		教育のための科学的思考法	2			2			2	
		教 育 学	2				2		2	
		キャリアデザイン実習	2				2		2	
		教 育 学 演 習 I	1				1		1	
		教 育 学 演 習 II	1				1		1	
		教 育 学 演 習 III	1					1	1	
		教 育 学 演 習 IV	1					1	1	
		卒 業 論 文	4					4	4	
	教	学 び の 探 究 A		1 ←			1	→	1	
	育	学 び の 探 究 B		1 ←			1	→	1	
		人 類 の 歩 み		2 ←			2	→	2	
		生 命 と 安 全		2 ←			2	→	2	
		共生社会を生きる		2 ←			2	→	2	
	学	学習科学の理論と実践		2 ←			2	→	2	
		防 災 と 教 育		2 ←			2	→	2	独自
		教 育 基 礎 論	2		2				2	職
	科	教 育 心 理 学	2		2				2	職・学校司書
		教 育 課 程 論	2				2		2	職・学校司書
		教 育 社 会 学	2		2				2	社・公
		人間と社会Ⅰ(哲学)		2	2				2	社・公
		人間と社会Ⅱ(倫理学)		2	2				2	社・公
		人間と社会Ⅲ(宗教学)		2	2				2	社・公
		人間と社会Ⅳ(心理学)		2	2				2	公
		発 達 心 理 学	2	2	2				2	職
		特別支援教育概論	2			2			2	職・学校司書
		日 本 教 育 史	2	2	2				2	社・地
		西 洋 教 育 史	2	2	2				2	社・地
		教 育 行 財 政	2			2			2	職
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2			2			2	職
		教 育 経 営 論	2				2		2	
		教 育 法 規 研 究	2	2				2	2	社・公

2科目以上選択必修

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	教 育 学 科	道徳教育の理論と実践		2	2				2	職・独自
		特別活動の理論と実践		2	2				2	職
		総合的な学習の時間の指導法		2			2		2	職
		教 職 論		2		2			2	職
		生徒・進路指導論		2		2			2	職
		生徒・進路指導論(小)		2		2			2	職
		生徒指導論(養)		2		2			2	職
		教育相談		2		2			2	職
		教育哲学		2		2			2	社・公
		人間関係論		2	2				2	社・公
		部活動指導論		2		2			2	
		社会科・地歴科教育論		2		2			2	職
		社会科・公民科教育論		2		2			2	職
		保健体育科教育論Ⅰ		2		2			2	職
		保健体育科教育論Ⅱ		2		2			2	職
		生涯学習概論A		2	2				2	社教主事・学芸員・司書
		生涯学習概論B		2	2				2	社教主事
		社会的平等と社会教育		2	2				2	社教主事
		多文化共生と社会教育		2	2				2	社教主事
		社会教育経営論A		2		2			2	社教主事
		社会教育経営論B		2		2			2	社教主事
		生涯学習支援論A		2		2			2	社教主事
		生涯学習支援論B		2		2			2	社教主事
		保育の理論と実践		2	2				2	職
		幼児教育法		2			2		2	職
		こどもと音楽		1		1			1	独自
		器 楽		1		1			1	独自
		こどもと造形		1		1			1	独自
		美術		1		1			1	独自
		幼児と健康		1		1			1	幼
		幼児と人間関係		1	1				1	幼
		幼児と環境		1	1				1	幼
		幼児と言葉		1		1			1	幼
		幼児と表現		2		2			2	幼
		保育内容(健康)		2			2		2	職
		保育内容(人間関係)		2		2			2	職

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	教 育 学 科	保 育 内 容 (環 境)		2		2			2	職
		保 育 内 容 (言 葉)		2			2		2	職
		保 育 内 容 (表 現)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (国 語)		2		2			2	職
		教 科 教 育 法 (社 会)		2		2			2	職
		教 科 教 育 法 (算 数)		2		2			2	職
		教 科 教 育 法 (理 科)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (生 活)		2		2			2	職
		教 科 教 育 法 (音 楽)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (図 画 工 作)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (家 庭)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (体 育)		2			2		2	職
		教 科 教 育 法 (英 語)		2			2		2	職
		国 語 概 論		2	2				2	小
		書 写 実 習		1	1				1	小
		社 会 科 概 論		2	2				2	小
		算 数 概 論		2	2				2	小
		理 科 概 論		2	2				2	小
		生 活 科 概 論		2	2				2	小
		音 楽 の 基 礎		2	2				2	小
		図 工 の 基 礎		2	2				2	小
		家 庭 科 概 論		2	2				2	小
		体 育 科 の 基 礎		2	2				2	小
		英 語 概 論		2	2				2	小
		国 語 の 理 論 と 実 践		2	2				2	小
		社 会 科 の 理 論 と 実 践		2	2				2	小
		算 数 の 理 論 と 実 践		2	2				2	小
		理 科 の 理 論 と 実 践		2		2			2	小
		体 育 ・ ス ポ ー ツ 哲 学		2		2			2	保
		体 育 ・ ス ポ ー ツ 社 会 学		2		2			2	保
		運 動 学 (運 動 方 法 学 を 含 む)		2		2			2	保
		学 校 保 健		2	2				2	保・養
		精 神 保 健		2			2		2	保・養
		救 急 処 置 (学 校 安 全 を 含 む)		2		2			2	保・養
		衛 生 学		2		2			2	保・養
		公 衆 衛 生 学		2		2			2	保・養

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	教 育 学 科	生理学(運動生理学を含む)		2		2			2	保・養
		栄 養 学		2		2			2	保・養
		解 剖 学		2	2				2	保・養
		生化学・微生物学(免疫学を含む)		2		2			2	養
		健 康 相 談 活 動 論		2				2	2	養
		養 護 教 職 論		2		2			2	養
		養 護 概 説		2		2			2	養
		基 礎 看 護 学		2	2				2	養
		思 春 期・成人保健A		2			2		2	養
		思 春 期・成人保健B		2			2		2	養
		小 児 保 健		2			2		2	養
		特 別 支 援 教 育 論		2	2				2	特支
		知的障害者の心理・生理・病理		2		2			2	特支
		知的障害者教育論		2		2			2	特支
		知的障害者指導法1		2			2		2	特支
		知的障害者指導法2		2			2		2	特支
		発達障害者支援論		2		2			2	特支
		視 覚 障 害 教 育 論		1			1		1	特支
		聴 覚 障 害 教 育 論		1			1		1	特支
		病 弱 者 教 育 論		2			2		2	特支
		肢体不自由者教育論		2		2			2	特支
		病弱者の心理・生理・病理		2			2		2	特支
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2		2			2	特支
		重複障害・LD等の心理・生理・病理		2			2		2	特支
		視覚障害者の心理・生理・病理		1			1		1	特支
		聴覚障害者の心理・生理・病理		1			1		1	特支
		情報メディアの活用		2			2		2	独自・司書教諭
		情報サービス演習(2)		1			1		1	司書・学校司書
		計	30	222	57	70	33	6	252	
					←	40	26	8	→	
						12				
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない。
		日 本 歴 史 A		2	2				2	社・地
		日 本 歴 史 B		2	2				2	社・地
		外 国 史 A		2	2				2	社・地
		外 国 史 B		2	2				2	社・地
		グローバルヒストリーA		2		2			2	社・地
		グローバルヒストリーB		2		2			2	社・地
		人 間 生 活 の 地 理 学		2		2			2	社・地

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	教 育 学 科	現代地理学と自然環境		2		2			2	社・地
		地 誌		2		2			2	社・地
		食 と 農 の 地 理 学		2		2			2	社・地
		防 災 の 地 理		2		2			2	社・地
		江戸東京の歴史地理		2		2			2	社・地
		地理情報システム入門		2		2			2	社・地
		法律学概論(国際法を含む)		2			2		2	社・公
		政治学概論(国際政治を含む)		2	2				2	社・公
		社 会 学 概 論		2			2		2	社・公
		経済学概論(国際経済を含む)		2	2				2	社・公
		体 つ く り 運 動		1	1				1	保
		水 泳		1	1				1	保
		ウォーター・セーフティ		1	1				1	保
		陸 上 競 技 I		1	1				1	保
		陸 上 競 技 II		1	1				1	保
		器 械 運 動 I		1		1			1	保
		器 械 運 動 II		1		1			1	保
		武 道 I (柔 道)		1	1				1	保
		武 道 II (柔 道)		1	1				1	保
		武 道 III (剣 道)		1		1			1	保
		武 道 IV (剣 道)		1		1			1	保
		ソ フ ト ボ ー ル		1		1			1	保
		サ ッ カ ー		1		1			1	保
		バスケットボール		1			1		1	保
		バ レ ー ボ ー ル		1			1		1	保
		ダ ン ス		1			1		1	保
		野 外 活 動		1	1				1	保
		ス キ ー		1		1			1	保
		養護に関する科目								
		看護実習1(事前指導)		1		1			1	養
		看護実習2(事後指導を含む)		1			1		1	養
		計		54	20	26	8		54	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	史 学 地 理 学 科	専門科目								地理・環境コースは※印の52科目101単位のうち28科目56単位以上選択必修
		学科共通科目								
		卒 業 論 文	8					8	8	
		日 本 歴 史 A		2	2				2	
		日 本 歴 史 B		2	2				2	
		日本史学の基礎(前近代)		2	2				2	
		日本史学の基礎(近現代)		2	2				2	
		外 国 史 A		2	2				2	
		外 国 史 B		2	2				2	
		グ ロー バルヒストリー A		2		2			2	
		グ ロー バルヒストリー B		2		2			2	
		考 古 学 の 基 礎		2	2				2	
		日本文化の歴史を考える		2		2			2	
		民俗と文化から歴史を考える		2			2		2	
		歴史におけるジェンダーを考える		2				2	2	
		地域から歴史を考える		2		2			2	
		交流と流通から歴史を考える		2			2		2	
		アーカイブズ学探究		2				2	2	
		防 災 の 地 理		2		2			2	
		自然保護を考える		2		2			2	
		江戸東京の歴史地理		2		2			2	
		交通の発達と環境		2		←	2	→	2	
		経済と人間生活		2		←	2	→	2	
		世界の社会と経済		2		←	2	→	2	
		食と農の地理学		2		2			2	
		農村空間と社会		2		←	2	→	2	
		都市空間と社会		2		←	2	→	2	
		社会環境と人間		2		←	2	→	2	
		レクリエーションと環境		2		←	2	→	2	
		旅 の 地 理 学		2		←	2	→	2	
		環 境 イ メ ー ジ 論		2		←	2	→	2	
		民俗と文化の地理学		2		←	2	→	2	
		地球環境保全論		2		←	2	→	2	
		日 本 の 地 誌		2	2				2	
		日本の景観と社会		2	2				2	
		アジアの環境と人間生活		2		←	2	→	2	
		ヨーロッパの環境と人間生活		2		←	2	→	2	
		アメリカの環境と人間生活		2		←	2	→	2	
		オセアニアの環境と人間生活		2		←	2	→	2	
		アフリカの環境と人間生活		2		←	2	→	2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	史 学 地 理 学 科	地 図 学		2	2				2	測 ※
		地 形 図 判 読 法		2		2			2	測 ※
		地理情報システム入門		2		2			2	社・地・測 ※
		人 間 生 活 の 地 理 学		2		2			2	社・地 ※
		現代地理学と自然環境		2		2			2	社・地 ※
		地 誌		2		2			2	社・地 ※
		人間と社会Ⅰ(哲学)		2	2				2	社
		人間と社会Ⅱ(倫理学)		2	2				2	社
		人間と社会Ⅲ(宗教学)		2	2				2	社
		日 本 倫 理 思 想 史		2	2				2	
		コース別科目								当該コースのみ履修
		《考古・日本史学コース》								
		考古学資料を読む1		2		2			2	5科目以上 選択必修
		古代史料を読む1		2		2			2	
		中世史料を読む1		2		2			2	
		近世史料を読む1		2		2			2	
		近代史料を読む1		2		2			2	
		現代史料を読む1		2		2			2	1科目以上 選択必修
		外国史料を読む1		2		2			2	
		考古学資料を読む2		2		2			2	
		古代史料を読む2		2		2			2	
		中世史料を読む2		2		2			2	
		近世史料を読む2		2		2			2	
		近代史料を読む2		2		2			2	
		現代史料を読む2		2		2			2	
		外国史料を読む2		2		2			2	
		史料学実習Ⅰ		2	2				2	1科目 選択必修
		史料学実習Ⅱ		2		2			2	
		史料学実習Ⅲ		1			1		1	
		史料学実習Ⅳ		1			1		1	
		考古学実習Ⅰ		2	2				2	
		考古学実習Ⅱ		2		2			2	1科目 選択必修
		考古学実習Ⅲ		2			2		2	
		考古学実習Ⅳ		2				2	2	
		歴史学演習1		2			2		2	
		考古学演習1		2			2		2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 史 学 地 理 学 部 科	史 学 地 理 学 科	歴 史 学 演 習 2		2				2	2	1科目 選択必修
		考 古 学 演 習 2		2				2	2	
		古 代 墳 墓 の 考 古 学		2				2	2	
		古 代 社 会 の 考 古 学		2				2	2	
		東アジアの中の日本古代		2				2	2	
		古代国家の形成と展開		2				2	2	
		鎌倉幕府権力の展開		2				2	2	
		都市鎌倉の中世史		2				2	2	
		徳川幕府権力の展開		2				2	2	
		地域から見た江戸時代		2				2	2	
		近代日本草創期の歴史		2				2	2	
		近代日本展開期の歴史		2				2	2	
		東アジアの中の日本現代		2				2	2	
		現代日本の政治外交史		2				2	2	
		地域から見たヨーロッパ近現代		2				2	2	
		近現代ヨーロッパ社会の変容		2				2	2	
		東アジアの中の中国近世		2				2	2	
		中国の近世と伝統文化		2				2	2	
		《地理・環境コース》								
		地 理 学 総 論		2	2				2	測
		人 文 地 理 学 入 門	2		2				2	測
		自 然 地 理 学 入 門	2		2				2	測
		東 京 の 自 然 環 境		2		2			2	測 ※
		地表環境の生い立ち		2		2			2	測 ※
		日 本 の 水 環 境		2		←	2	→	2	測 ※
		グローバルな気候環境		2				2	2	測 ※
		地域の気象と気候		2				2	2	測 ※
		第四紀の自然史		2				2	2	測 ※
		日本の植生環境		2				2	2	測 ※
		地域の生態環境		2				2	2	測 ※
		地 生 態 の 地 理		2				2	2	測 ※
		地域計画と住民参加		2				2	2	測 ※
		地 図 製 作 法		2		2			2	測 ※
		空 中 写 真 判 読		2		←	2	→	2	測 ※
		環境データ分析法		2		←	2	→	2	測 ※
		社会調査とデータ分析法		2				2	2	測 ※
		計 量 地 理 学		2				2	2	測 ※
		環境リモートセンシング		2		←	2	→	2	測 ※
		地理情報システム		2				2	2	測 ※

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	史 学 地 理 学 科	地理情報システム応用		2			2		2	測 ※
		地 理 学 野 外 実 習 A	2		2				2	測
		地 理 学 野 外 実 習 B	2			2			2	
		地 理 学 野 外 実 習 C	2				2		2	
		地 理 学 野 外 実 習 D		2		2			2	※
		地 理 学 入 門 ゼ ミ	1		1				1	
		地 理 学 演 習 1	1				1		1	
		地 理 学 演 習 2	1				1		1	
		地 理 学 演 習 3	1					1	1	
		地 理 学 演 習 4	1					1	1	
		測 量 学 1		2		2			2	測 ※
		測 量 学 2		2			2		2	測 ※
		測 量 実 習 1		1		1			1	測 ※
		測 量 実 習 2		1			1		1	測 ※
		測 量 実 習 3		1			1		1	測 ※
		地 域 調 査 法	2		2				2	測
		自 然 環 境 調 査 法	2			2			2	測
		計	27	223	31	63	16	16	250	
					22	4	58			
					←	40	→			
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない。
		法律学概論(国際法を含む)		2			2		2	社
		政治学概論(国際政治を含む)		2	2				2	社
		社 会 学 概 論		2			2		2	社
		経済学概論(国際経済を含む)		2	2				2	社
		計		8	4		4		8	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	文 学 科	専門科目								※印の22科目44単位のうち6科目12単位以上選択必修
		《日本文学・文化コース》								
		日本文学・文化入門A	2		2				2	
		日本文学・文化入門B	2		2				2	
		日本文学史(古代)	2			2			2	
		日本文学史(中近世)	2			2			2	
		日本文学史(近代以降)	2		2				2	
		日本語学概論(文字・音声)	2		2				2	
		日本語学概論(文法・語彙)	2		2				2	
		日本文学・文化研修Ⅰ		2		2			2	
		日本文学・文化研修Ⅱ		2			2		2	
		日本文学・文化演習Ⅰ	2				2		2	
		日本文学・文化演習Ⅱ	2					2	2	
		卒業論文	8					8	8	
		日本上代文学を読む(飛鳥時代)		2	2				2	
		日本上代文学を読む(奈良時代)		2	2				2	
		日本中古文学を読む(平安前中期)		2	2				2	
		日本中古文学を読む(平安後期)		2	2				2	
		日本中世文学を読む(鎌倉期)		2	2				2	
		日本中世文学を読む(室町期)		2	2				2	
		日本近世文学を読む(江戸前期)		2	2				2	
		日本近世文学を読む(江戸後期)		2	2				2	
		日本近代文学を読む(明治・大正期)		2	2				2	
		日本近代文学を読む(昭和戦前期)		2	2				2	
		日本現代文学を読む(昭和戦後期)		2	2				2	
		日本現代文学を読む(平成以降)		2	2				2	
		日本漢文学を読む(古代、中世)		2	2				2	
		日本漢文学を読む(近世、近代)		2	2				2	
		日本思想を読む(古代、中世)		2	2				2	
		日本思想を読む(近世、近代)		2	2				2	
		日本の文学とことば(古典)		2	2				2	
		日本の文学とことば(現代)		2	2				2	
		日本語の歴史(上代～中世)		2		2			2	
		日本語の歴史(近世～現代)		2		2			2	
		日本文学概論(近代以降)		2		2			2	
		日本文学概論(古典)		2		2			2	
		情報文化論		2	2				2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	文 学 科	日 本 中 古 文 化 論		2			2		2	国・書
		日 本 中 世 文 化 論		2			2		2	国・書
		日 本 近 世 文 化 論		2			2		2	国・書
		日 本 近 代 文 化 論		2			2		2	国・書
		日 本 現 代 文 化 論		2			2		2	国・書
		古 典 文 学 の 世 界		2			2		2	
		近 代 文 学 の 世 界		2			2		2	
		現 代 文 学 の 世 界		2			2		2	
		漢文学概説(中国古典)		2	2				2	国・書
		漢文学概説(日本漢文)		2	2				2	国・書
		日 本 漢 文 学 史		2			2		2	国・書
		比 較 文 化 入 門		2		2			2	
		現代文化の表現(理論)		2				2	2	
		現代文化の表現(実践)		2				2	2	
		現代日本文化(サブカルチャー)		2		2			2	
		日本語の文法(現代)		2		2			2	国
		日本語の文法(古典)		2		2			2	国
		文 章 表 現 (標 準)		2		2			2	
		文 章 表 現 (応 用)		2		2			2	
		国 語 科 基 礎 論		2	2				2	
		書 の 歴 史		2	2				2	書
		書 道 実 習		2		←	2		→	2 国・書
		書 道 の 今 昔		2		2			2	2 国・書
		児 童 文 学		2		2			2	
		映 像 文 化 入 門		2		←	2		→	2

(専門科目)

学部	学科	授業科目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考	
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計		
文 学 部	文 学 科	言 語 情 報 論		2		2			2	国・書 国・書 書・学芸員 書・学芸員 書 書 学芸員	
		日本文化データベース		2			2	2			
		武士の思想と文化		2			2	2			
		武士道入門		2	2			2			
		日本芸能史(古代・中世)		2			2	2			
		日本芸能史(近世・近代)		2			2	2			
		日本美術史(古代・中世)		2			2	2			
		日本美術史(近世・近代)		2			2	2			
		メディアミックスと文学		2			2	2			
		書の名筆を学ぶ		2		←	2		→		2
		文字を学ぶ(くずし字を読む)		2		2			2		2
		中国古典を学ぶ		2				2	2		2
		江戸儒学を学ぶ		2				2	2		2
		日本の神話と宗教		2	2				2		2
		日本倫理思想史		2	2				2		2
		日本歴史A		2	2				2		2
		日本歴史B		2	2				2		2
		日本文化の歴史を考える		2	2				2		2
		民俗と文化から歴史を考える		2			2		2		2
		歴史におけるジェンダーを考える		2				2	2		2
		地域から歴史を考える		2	2				2		2
		交流と流通から歴史を考える		2			2		2		2
		江戸東京の歴史地理		2		2			2		2
		日本の景観と社会		2	2				2		2
計			26	146	24	32	4	10	172		
					50	4	42				
					←		6	→			

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
文 学 部	教育学科・史学地理学科・文学科（共通）	専門科目								上限12単位までを卒業単位とする。ただし、当該コースの専門科目を除く。
		名著で学ぶ西洋思想（古代・中世）		2		2			2	
		名著で学ぶ西洋思想（近現代）		2		2			2	
		文 学 と 災 害		2		2			2	
		比 較 文 学 を 学 ぶ		2		2			2	
		世界 の 文化 と 社会		2		2			2	
		生涯 学 習 概 論 A		2	2				2	
		生涯 学 習 概 論 B		2	2				2	
		日本文化の歴史を考える		2		2			2	
		アーカイブズ学探究		2				2	2	
		日本美術史（古代・中世）		2				2	2	
		日本美術史（近世・近代）		2				2	2	
		武 士 道 入 門		2		2			2	
		文 学 部 の 学 び I		2		2			2	
		文 学 部 の 学 び II		2				2	2	
		日 本 の 文化 と 言 語		2		2			2	
		計		30	4	18		8	30	
		随意科目								卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←		1	→	1	
		計		1	←		1	→	1	

別表第6 21世紀アジア学部

21世紀アジア学部（21世紀アジア学科）の教育研究上の目的

日本を含むアジア地域は、21世紀において多様な姿で急速に発展しており、世界のなかでさらに重要な地位を占めつつある。その結果、経済・ビジネス関係を軸にわが国と他のアジア諸国との連関性と相互依存関係は一層の深まりを見せ、人的、文化的交流の機会もますます高まっている。こうした状況にともなって、日本についてはもとよりアジアの多様性と共通性を深く理解し、アジアと世界につながる総合的なコミュニケーション能力をもち、かつ実践的な専門知識を習得して、広くアジアや世界に視野を広げて活躍できる人材の育成が社会の要請となっている。

21世紀アジア学部は、そのようなアジアのダイナミックな変動と社会的ニーズの高まりに対応し、学部教育における適切な国際化環境を確保しつつ、望まれる人材の育成、およびアジア地域の更なる発展と相互理解の促進に資する教育研究の実践を目指す。このため特に、海外語学研修や海外留学、留学生のための日本研修、インターンシップ、ボランティア活動など単位が認定される学外での体験型学習の機会を拡充するとともに、アジアのビジネス分野での活躍、交流活動、およびより専門的な探求など、将来の進路へのガイドラインとしての専門コースを設置し指導する。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
21 世 紀 ア ジ ア 学 部	21 世 紀 ア ジ ア 学 科	学部専門科目 (学部共通)								
		21世紀アジア学1	2			2			2	
		21世紀アジア学2	2			2			2	
		キャリアデザイン1	2		2				2	
		キャリアデザイン2	2			2			2	
		キャリアデザイン3	2				2		2	
		海外研修1	2		←	2		→	2	
		基礎ゼミナール1	2		2				2	
		基礎ゼミナール2	2		2				2	
		課題研究1	1		←	1		→	1	
		課題研究2	1		←	1		→	1	
		課題研究3	1		←	1		→	1	
		課題研究4	1		←	1		→	1	
		21世紀アジア学演習1	2				2		2	日本語教員養成課程必修
		21世紀アジア学演習2	2				2		2	日本語教員養成課程必修
		21世紀アジア学演習3	2					2	2	
		21世紀アジア学演習4	2					2	2	
		21世紀アジア学研究1	2					2	2	
		21世紀アジア学研究2	2					2	2	
		柔 道		1	←	1		→	1	
		剣 道		1	←	1		→	1	
		弓 道		1	←	1		→	1	
		空 手 道		1	←	1		→	1	
		合 気 道		1	←	1		→	1	
		茶 道		1	←	1		→	1	
		華 道		1	←	1		→	1	
		書 道		1	←	1		→	1	
		日 本 舞 踊		1	←	1		→	1	
		謡 ・ 仕 舞		1	←	1		→	1	
		日本の伝統音楽		1	←	1		→	1	
		ボランティア1		2	←	2		→	2	
		ボランティア2		2	←	2		→	2	
		ボランティア3		2	←	2		→	2	
		ボランティア4		2	←	2		→	2	
		インターンシップ1		2	←	2		→	2	
		インターンシップ2		2	←	2		→	2	
		インターンシップ3		2	←	2		→	2	
		インターンシップ4		2	←	2		→	2	
		社会的多様性理解		2	←	2		→	2	
		海外研修2		2	←	2		→	2	
		現代アジアの文化1		2	←	2		→	2	
		現代アジアの文化2		2	←	2		→	2	
		基礎ゼミナール3		2		←	2	→	2	
		基礎ゼミナール4		2		←	2	→	2	
		特別課題研究1		2	←	2		→	2	
		特別課題研究2		2	←	2		→	2	
		特別課題研究3		2	←	2		→	2	
		特別課題研究4		2	←	2		→	2	
		特別課題研究5		2	←	2		→	2	
		特別インターンシップ1		10	←	10		→	10	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
21 世 紀 ア ジ ア 学 部	21 世 紀 ア ジ ア 学 科	特別インターンシップ2		10	←		10	→	10	
		特別インターンシップ3		10	←		10	→	10	
		特別インターンシップ4		10	←		10	→	10	
		特 別 研 究 1		10	←		10	→	10	
		特 別 研 究 2		10	←		10	→	10	
		特 別 研 究 3		10	←		10	→	10	
		特 別 研 究 4		10	←		10	→	10	
		(コース別科目)								
		ア ジ ア の 伝 統 音 楽		2	←		2	→	2	
		ア ジ ア の 映 画		2	←		2	→	2	
		アジアのポップカルチャー		2	←		2	→	2	
		日本のポップカルチャー		2	←		2	→	2	
		日本の漫画・アニメーション		2	←		2	→	2	
		アジアのファッション文化		2	←		2	→	2	
		ア ジ ア の 食 文 化		2	←		2	→	2	
		ビデオジャーナリズム		2	←		2	→	2	
		メ デ ィ ア と 社 会		2	←		2	→	2	
		日本とアジアの文化交流		2	←		2	→	2	社・地
		日本とアジアのスポーツ交流		2	←		2	→	2	
		万国博覧会とアジア		2	←		2	→	2	
		ア ジ ア の N G O		2	←		2	→	2	
		平 和 と 共 生		2	←		2	→	2	社・公
		国 際 ボ ラ ン テ ィ ア		2	←		2	→	2	
		ボランティア活動の方法と実践		2	←		2	→	2	
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←		1	→	1	
		防災トップリーダー養成論		2		←	2	→	2	
		アジアの身体技法		2	←		2	→	2	
		ア ジ ア の 舞 踊		2	←		2	→	2	
		身 体 表 現 ス キ ル		2	←		2	→	2	
		ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス		2		←	2	→	2	
		アスリート実習1		2	←		2	→	2	
		アスリート実習2		2	←		2	→	2	
		アスリート実習3		2	←		2	→	2	
		アスリート実習4		2	←		2	→	2	
		東南アジア地域研究(大陸部)Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		東南アジア地域研究(大陸部)Ⅱ		2		←	2	→	2	
		東南アジア地域研究(島しょ部)Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		東南アジア地域研究(島しょ部)Ⅱ		2		←	2	→	2	
		東アジア地域研究(中国)Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		東アジア地域研究(中国)Ⅱ		2		←	2	→	2	
		東アジア地域研究(韓国)Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
21 世紀 アジア 学部	21 世紀 アジア 学科	東アジア地域研究(韓国)Ⅱ		2		←	2	→	2	
		東アジア地域研究(日本)Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		東アジア地域研究(日本)Ⅱ		2		←	2	→	2	
		西アジア地域研究Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		西アジア地域研究Ⅱ		2		←	2	→	2	
		中央アジア地域研究Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		中央アジア地域研究Ⅱ		2		←	2	→	2	
		南アジア地域研究Ⅰ		2		←	2	→	2	社・地
		南アジア地域研究Ⅱ		2		←	2	→	2	
		日本の文化遺産		2	←		2	→	2	社・地
		国史概説(原始～中世)		2	←		2	→	2	社・地
		国史概説(近世～現代)		2	←		2	→	2	社・地
		安全保障とアジア		2		←	2	→	2	
		アジアの地政学		2		←	2	→	2	
		アジアにおける地域協力		2		←	2	→	2	英
		アジアの国際関係		2	←		2	→	2	社・公
		東南アジア関係論		2	←		2	→	2	社・公
		日中関係論		2	←		2	→	2	社・公
		日韓関係論		2	←		2	→	2	社・公
		異文化理解		2	←		2	→	2	英
		多文化社会		2	←		2	→	2	英
		東アジアの経済		2	←		2	→	2	社・公
		東南アジアの経済		2	←		2	→	2	社・公
		南アジアの経済		2	←		2	→	2	社・公
		ミクロ経済学		2	←		2	→	2	社・公
		マクロ経済学		2	←		2	→	2	社・公
		経済学概論(国際経済を含む)		2	←		2	→	2	社・公
		現代の国際経済		2	←		2	→	2	社・公
		法律学概論(国際法を含む)		2	←		2	→	2	社・公
		知的財産権とビジネス		2	←		2	→	2	社・公
		現代ビジネスと法		2	←		2	→	2	社・公
		日本企業とアジア社会		2		←	2	→	2	社・公
		グローバル化とアジアの貿易		2		←	2	→	2	英
		アカウンティング		2		←	2	→	2	社・公

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
21 世 紀 ア ジ ア 学 部	21 世 紀 ア ジ ア 学 科	戦 略 マ ネ ジ メ ン ト		2		←	2	→	2	社・公
		競 争 戦 略		2		←	2	→	2	
		マ ー ケ テ ィ ン グ		2		←	2	→	2	社・公
		ス タ ー ト ア ッ プ		2		←	2	→	2	
		マ ネ ジ メ ン ト		2		←	2	→	2	社・公
		ビ ジ ネ ス 実 務		2		←	2	→	2	
		プレゼンテーションスキル		2		←	2	→	2	
		持続可能性とイノベーション		2		←	2	→	2	社・公
		ソーシャルデザイン		2		←	2	→	2	社・公
		都 市 デ ザ イン		2		←	2	→	2	
		観 光 と 異 文 化		2		←	2	→	2	英
		ホテルマネジメント		2		←	2	→	2	
		ホスピタリティ論		2		←	2	→	2	
		アジアのツーリズム		2	←		2	→	2	
		情報技術と社会デザイン		2	←		2	→	2	
		デ ザ イン ・ ア ー ト		2	←		2	→	2	
		デジタルデザイン		2	←		2	→	2	
		カルチュラルデザイン		2		←	2	→	2	社・公
		(資格科目)								
		スポーツファーストレスポnder		2	←		2	→	2	
		コ ー チ ン グ 論		2		←	2	→	2	
		ス ポ ー ツ 心 理 学		2		←	2	→	2	
		スポーツマネジメント		2		←	2	→	2	
		クラブマネジメント		2		←	2	→	2	
		ス ポ ー ツ 社 会 学		2		←	2	→	2	
		ト レ ー ニ ン グ 論		2		←	2	→	2	
		身 体 と 心		2		←	2	→	2	
		ボディデザイナー		2		←	2	→	2	
		文化遺産と文化財		2	←		2	→	2	
		自然環境と文化遺産		2	←		2	→	2	社・地
		ア ジ ア 文 明 史		2	←		2	→	2	社・地
		メソポタミア文明Ⅰ		2	←		2	→	2	社・地
		メソポタミア文明Ⅱ		2	←		2	→	2	社・地
		西アジアの文化と歴史		2	←		2	→	2	社・地
		ユーラシアの世界遺産		2	←		2	→	2	社・地
		アジアの世界遺産		2	←		2	→	2	社・地
		生涯学習概論		2	←		2	→	2	学芸員課程必修
		博 物 館 概 論		2	←		2	→	2	学芸員課程必修
		博 物 館 経 営 論		2			2		2	学芸員課程必修
		博 物 館 資 料 論		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館資料保存論		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館展示論		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館教育論		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館情報・メディア論		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館実習Ⅰ		2			2		2	学芸員課程必修
		博物館実習Ⅱ		1				1	1	学芸員課程必修
		日本語教育概論Ⅰ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育概論Ⅱ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育概論Ⅲ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育概論Ⅳ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育学Ⅰ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育学Ⅱ		2	2				2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育学Ⅲ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育学Ⅳ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育法Ⅰ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育法Ⅱ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育法Ⅲ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育法Ⅳ		2		2			2	日本語教員養成課程必修
		日本語教育実習		1			1		1	日本語教員養成課程必修
		英 語 文 学 と ア ジ ア		2	←		2	→	2	英

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考		
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計			
21 世 紀 ア ジ ア 学 部	21 世 紀 ア ジ ア 学 科	英 米 文 学		2	←		2		→	2	英	
		英 語 学Ⅰ		2	←		2		→	2	英	
		英 語 学Ⅱ		2	←		2		→	2	英	
		英語コミュニケーションⅠ		2		←	2		→	2	英	
		英語コミュニケーションⅡ		2		←	2		→	2	英	
		英語コミュニケーションⅢ		2				2		2	英	
		英語コミュニケーションⅣ		2				2		2	英	
		外国史概説（西洋）		2	←		2		→	2	社・地	
		外国史概説（東洋）		2	←		2		→	2	社・地	
		人 文 地 理 概 説		2	←		2		→	2	社・地	
		自 然 地 理 概 説		2	←		2		→	2	社・地	
		地 誌 学		2	←		2		→	2	社・地	
		政治学概論（国際政治を含む）		2	←		2		→	2	社・公	
		宗 教 学 概 論		2	←		2		→	2	社・公	
		教 職 課 題 研 究Ⅰ		2	←		2		→	2		
		教 職 課 題 研 究Ⅱ		2	←		2		→	2		
		教 職 課 題 研 究Ⅲ		2	←		2		→	2		
		教 職 課 題 研 究Ⅳ		2	←		2		→	2		
		計		32	414	18	18	7	8	446		
								14	5			
							←		100	→		
							←		276	→		
		随意科目										卒業所要単位に含めない
		災 害 と ド ロ ー ン			1	←		1		→	1	
		計			1	←		1		→	1	

別表第7 経営学部

経営学部(経営学科)の教育研究上の目的

経営学部の基本的教育方針は、21世紀の「知識基盤社会」において絶えず変化する企業環境の中で、仮説と検証を繰り返し行う実践的な科目によって「ビジネス人基礎力」の習得を目指すとともに、ともすれば失われがちになってきた日本人の勤勉・利他の精神を涵養するための経営学教育を行うことである。

国土館の創立者柴田徳次郎の建学の精神に賛同して国土館の設立を援助した渋沢栄一は、その著書『論語と算盤』で「道德経済合一説」という理念を打ち出して、倫理と利益の両立こそが真の国富をもたらすものであると主張している。

経営学部は、「国を興し、世を救い、世界の平和と進展に貢献できる誠意・勤労・見識・気魄に満ちた人材を養成する教育を行うことを目的とする。」という国土館大学の建学の精神をふまえたうえで、渋沢栄一の理念の実現を目指して企業の経済的機能のみならず社会的使命を理解し、豊かな適応力と創造性に満ちた人材を育成する。

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
経 営 学 部	経 営 学 科	専門科目								
		経 営 学 総 論 I	2		2				2	社・公
		経 営 学 総 論 II	2		2				2	社・公
		会 計 学 総 論 I	2		2				2	
		会 計 学 総 論 II	2		2				2	
		入 門 簿 記		2	2				2	商
		初 級 簿 記		2	2				2	商
		フレッシュマンゼミナール		2	2				2	
		ゼ ミ ナ ー ル 入 門		2	2				2	
		基 礎 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2			2	
		基 礎 ゼ ミ ナ ー ル II		2		2			2	
		専 門 ゼ ミ ナ ー ル I		4			4		4	半期2コマ
		専 門 ゼ ミ ナ ー ル II		4			4		4	半期2コマ
		専 門 ゼ ミ ナ ー ル III		4				4	4	
		卒 業 論 文		4				4	4	
		中 級 商 業 簿 記		2		←	2	→	2	商
		上 級 商 業 簿 記		2		←	2	→	2	商
		フ ァ イ ナ ン ス		2		←	2	→	2	商
		財 務 会 計		2		←	2	→	2	商
		制 度 会 計		2		←	2	→	2	商
		原 価 計 算		2		←	2	→	2	商
		原 価 管 理		2		←	2	→	2	商
		企 業 シ ス テ ム		2		←	2	→	2	社・地
		コーポレート・ガバナンス		2		←	2	→	2	
		企 業 戦 略 論		2		←	2	→	2	商
		競 争 戦 略 論		2		←	2	→	2	商
		経 営 戦 略		2		←	2	→	2	商
		事 業 戦 略		2		←	2	→	2	商
		人 的 資 源 管 理		2		←	2	→	2	商
		雇 用 シ ス テ ム		2		←	2	→	2	商
		経 営 財 務		2		←	2	→	2	商
		企 業 活 動 と 情 報		2	2				2	情
		経 営 情 報 シ ス テ ム		2	2				2	情
		意 思 決 定 会 計		2		←	2	→	2	
		業 績 管 理 会 計		2		←	2	→	2	

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
経 営 学 部	経 営 学 科	国 際 会 計		2		←	2	→	2	
		流 通		2	2				2	商
		マ ー ケ テ ィ ン グ		2	2				2	商
		マーケティングデータ解析		2		←	2	→	2	情
		マーケティングデータサイエンス		2		←	2	→	2	情
		プロフェッショナル・ビジネスセミナー		2		←	2	→	2	
		プロフェッショナル・キャリアセミナー		2		←	2	→	2	
		中小・ベンチャー経営		2		←	2	→	2	商
		事 業 創 造		2		←	2	→	2	商
		監 査 の 意 義 と 役 割		2		←	2	→	2	商
		監 査 の 実 施 と 報 告		2		←	2	→	2	商
		財 務 分 析		2		←	2	→	2	社・公
		企 業 分 析		2		←	2	→	2	社・公
		経 営 数 学		2		←	2	→	2	情
		ビ ジ ネ ス ゲ ー ム		2		←	2	→	2	
		経 営 学 演 習 I		2		←	2	→	2	
		経 営 学 演 習 II		2		←	2	→	2	
		生 産 シ ス テ ム		2		←	2	→	2	
		生 産 管 理		2		←	2	→	2	
		税 務 会 計		2		←	2	→	2	
		連 結 会 計		2		←	2	→	2	
		デ ー タ 解 析		2		←	2	→	2	情
		多 変 量 解 析		2		←	2	→	2	情
		租 税 法		2		←	2	→	2	社・公
		法 人 税 法		2		←	2	→	2	社・公
		所 得 税 法		2		←	2	→	2	社・公
		相 続 税 法		2		←	2	→	2	社・公
		日 本 経 営 史		2	2				2	社・地
		経 営 史		2	2				2	社・地
		外 国 会 計 史		2		←	2	→	2	社・地
		日 本 会 計 史		2		←	2	→	2	社・地
		組 織 理 論		2		←	2	→	2	社・公
		組 織 行 動		2		←	2	→	2	社・公
		グ ロー バ ル ビ ジ ネ ス		2		←	2	→	2	
		国 際 経 営		2		←	2	→	2	
		経 営 科 学		2		←	2	→	2	情

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
経 営 学 部	経 営 学 科	会 社 法 A		2		←	2	→	2	社・公
		会 社 法 B		2		←	2	→	2	社・公
		優良中堅・中小企業講座		2		←	2	→	2	
		起業家教育講座		2		←	2	→	2	
		ビジネス英語		2		←	2	→	2	
		時事英語		2		←	2	→	2	
		経営学史		2		←	2	→	2	社・地
		技術経営史		2		←	2	→	2	社・地
		情報システム		2	2				2	情
		情報セキュリティ・マネジメント		2		←	2	→	2	情
		TOEIC L&R for Business		2	2				2	
		TOEIC S&W for Business		2	2				2	
		経営学特論Ⅰ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅱ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅲ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅳ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅴ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅵ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅶ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅷ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅸ		2		←	2	→	2	
		経営学特論Ⅹ		2		←	2	→	2	
		マクロ経済学(基礎)		2		←	2	→	2	情
		マクロ経済学(構造と分析)		2		←	2	→	2	情
		ミクロ経済学(消費者分析)		2		←	2	→	2	
		ミクロ経済学(生産者分析)		2		←	2	→	2	
		経済統計学(基礎)		2		←	2	→	2	
		日本経済論(基礎)		2		←	2	→	2	社・公
		日本経済論(各論)		2		←	2	→	2	社・公
		労働経済論(基礎理論)		2		←	2	→	2	
		労働法 A		2		←	2	→	2	社・公
		労働法 B		2		←	2	→	2	社・公
		労働問題 A		2		←	2	→	2	社・公
		労働問題 B		2		←	2	→	2	社・公

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
経済学部	経営学	商 法 A		2		←	2	→	2	社・公
		商 法 B		2		←	2	→	2	社・公
		産業と職業(情報分野A)		2		←	2	→	2	情
		産業と職業(情報分野B)		2		←	2	→	2	情
		情報社会及び情報倫理		2		←	2	→	2	情
		情報メディア概論		2		←	2	→	2	情
		ビジネス情報		2		←	2	→	2	商
		特別講義 I		2	2				2	
		特別講義 II		2	2				2	
		特別講義 III		2		←	2	→	2	
		特別講義 IV		2		←	2	→	2	
		特別講義 V		2		←	2	→	2	
		特別講義 VI		2		←	2	→	2	
		特別講義 VII		2		←	2	→	2	
		特別講義 VIII		2		←	2	→	2	
		特別講義 IX		2		←	2	→	2	
		特別講義 X		2		←	2	→	2	
		計	8	242	38	4	8	8	250	
						←	192	→		
		教科に関する専門的事項に関する科目								卒業所要単位に含めない
		国史概説(原始～中世)		2		2			2	社・地
		国史概説(近世～現代)		2		2			2	社・地
		外国史概説(西洋)		2		2			2	社・地
		外国史概説(東洋)		2		2			2	社・地
		地 誌 学		2			2		2	社・地
		人文地理概説		2		2			2	社・地
		自然地理概説		2			2		2	社・地
		法律学概論(国際法を含む)		2			2		2	社・公
		政治学概論(国際政治を含む)		2	2				2	社・公

(専門科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
経 営 学 部	経 営 学 科	社 会 学 概 論		2			2		2	社・公
		経済学概論(国際経済を含む)		2	2				2	社・公
		哲 学 概 論		2			2		2	社・公
		倫 理 学 概 論		2			2		2	社・公
		職 業 指 導 (理 論)		2			2		2	商
		職 業 指 導 (実 践)		2			2		2	商
		Cプログラミング入門		2		2			2	情
		デ ジ タ ル 通 信		2			2		2	情
		計		34	4	12	18		34	経済学科、理工学科共通開設
		随意科目								経済学科、理工学科共通開設
		災 害 と ド ロ ー ン		1	←	1		→	1	卒業所要単位に含めない
		計		1	←	1		→	1	

別表第8 全学共通教育科目

(全学共通教育科目)

学部	学科	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	(共通教育科目)								
		国 士 館 を 知 る (建学の精神と教育理念)	2		2				2	
		国 士 館 を 語 る (継承する精神文化の探究)		2	2				2	
		国 士 館 ゼ ミ		1	←	1		→	1	
		防災リーダー養成論		2	←	2		→	2	
		防災リーダー養成論実習		2	←	2		→	2	
		文 章 表 現 の 基 礎		2	←	2		→	2	
		社 会 人 基 礎 ス キ ル		2		←	2	→	2	
		ボランティア実践Ⅰ		1	←	1		→	1	
		ボランティア実践Ⅱ		1	←	1		→	1	
		ボランティア実践Ⅲ		1	←	1		→	1	
		ボランティア実践Ⅳ		1	←	1		→	1	
		現 代 の 論 理		2	←	2		→	2	
		哲 学 と 現 代		2	←	2		→	2	
		宗 教 と 人 生		2	←	2		→	2	
		人 間 と 倫 理		2	←	2		→	2	
		人 生 と 教 育		2	←	2		→	2	
		からだと心のつながり		2	←	2		→	2	
		心 の 理 解 と 対 応		2	←	2		→	2	
		日 本 の 文 学		2	←	2		→	2	
		世 界 の 名 作		2	←	2		→	2	
		中国の古典を読む		2	←	2		→	2	
		現 代 の 政 治		2	←	2		→	2	
		経 済 の し く み		2	←	2		→	2	
		社 会 と 人 間		2	←	2		→	2	
		法 と 社 会		2	←	2		→	2	
		日本の歴史と文化		2	←	2		→	2	
		アジアの歴史と文化		2	←	2		→	2	
		ヨーロッパの歴史と文化		2	←	2		→	2	
		アメリカの歴史と文化		2	←	2		→	2	
		イスラムの歴史と文化		2	←	2		→	2	
		アフリカの歴史と文化		2	←	2		→	2	
		地 理 と 人 間 生 活		2	←	2		→	2	
		仕 事 と 社 会		2	←	2		→	2	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	保 育 理 論		2	←	2		→	2	教免要件
		ジェンダーと社会		2	←	2		→	2	
		文化と人間		2	←	2		→	2	
		現代社会論		2	←	2		→	2	
		持続可能な社会と生活		2	←	2		→	2	
		日本国憲法		2	←	2		→	2	
		グローバル社会を学ぶ		2	←	2		→	2	
		インターンシップ		2	←	2		→	2	
		日本の歩み		2	←	2		→	2	
		日本の国際化		2	←	2		→	2	
		A I と サ イ エ ン ス	2		2				2	教免要件
		人 と 宇 宙		2	←	2		→	2	
		数 学 入 門		2	←	2		→	2	
		数 学 (線 形 代 数)		2	←	2		→	2	
		数 学 (微 分 積 分)		2	←	2		→	2	
		数学(多変数関数の微積分)		2	←	2		→	2	
		統 計 学 入 門		2	←	2		→	2	
		確 率 論 入 門		2	←	2		→	2	
		生物とその進化を探究		2	←	2		→	2	技
		変 動 す る 地 球		2	←	2		→	2	
		人 間 と 地 球 環 境		2	←	2		→	2	
		データサイエンス基礎		2	←	2		→	2	
		データエンジニアリング基礎		2	←	2		→	2	
		A I 基 礎		2	←	2		→	2	
		A I 基 礎 演 習		1		←	1		1	
		デ ー タ リ テ ラ シ ー		2	←	2		→	2	
		コンピュータリテラシー		2	←	2		→	2	教免要件
		コンピュータネットワーク		2	←	2		→	2	
		プログラミング基礎		2	←	2		→	2	
		Webデザインの基礎		2	←	2		→	2	
		裁 培		2	←	2		→	2	技 理 理
		基 礎 物 理 学		2	←	2		→	2	
		物 理 学		2	←	2		→	2	
		日本 の 自 然 環 境		2	←	2		→	2	
		ス ポ ー ツ と 人 体		2	←	2		→	2	
		ス ポ ー ツ と 社 会		2	←	2		→	2	
		体 育 実 習		2	←	2		→	2	教免要件
		ス ポ ー ツ 実 習 A		2		2			2	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	年次及び単位数					備考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	スポーツ実習 B		2			2		2	
		スポーツ実習 C		2				2	2	
		スポーツ実習 I		1	1				1	教免要件
		スポーツ実習 II		1	1				1	教免要件
		スポーツ実習 III		1		1			1	教免要件
		スポーツ実習 IV		1		1			1	教免要件
		スポーツ実習 V		1			1		1	教免要件
		スポーツ実習 VI		1			1		1	教免要件
		スポーツ実習 VII		1				1	1	教免要件
		スポーツ実習 VIII		1				1	1	教免要件
		書の世界		2	←		2		→ 2	
		アニメの世界		2	←		2		→ 2	
		日本の伝統芸能		2	←		2		→ 2	
		芸術の世界		2	←		2		→ 2	
		英語で学ぶ教養		2	←		2		→ 2	
		ドイツ語で学ぶ教養		2	←		2		→ 2	
		フランス語で学ぶ教養		2	←		2		→ 2	
		中国語で学ぶ教養		2	←		2		→ 2	
		韓国語で学ぶ教養		2	←		2		→ 2	
		総合講座		2	←		2		→ 2	世田谷6大学コンソーシアム連携授業科目 (末尾に提供科目名を表記する)
		(外国語科目)								
		英語 1		1	1				1	教免要件
		英語 2		1	1				1	教免要件
		英語 3		1		1			1	
		英語 4		1		1			1	
		TOEIC Listening & Reading1		1	←		1		→ 1	
		TOEIC Listening & Reading2		1	←		1		→ 1	
		英会話 1		1	←		1		→ 1	
		英会話 2		1	←		1		→ 1	
		英語プレゼンテーション・スキル		1	←		1		→ 1	
		英語ライティング・スキル		1	←		1		→ 1	
		英語リスニング・スキル		1	←		1		→ 1	
		英語リーディング・スキル		1	←		1		→ 1	
		基礎英語 1		3	3				3	教免要件
		基礎英語 2		3	3				3	教免要件
		実用英語 1		3		3			3	
		実用英語 2		3		3			3	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	応 用 英 語 1		2			2		2	
		応 用 英 語 2		2			2		2	
		ド イ ツ 語 1		1	1				1	
		ド イ ツ 語 2		1	1				1	
		ド イ ツ 語 3		1		1			1	
		ド イ ツ 語 4		1		1			1	
		ドイツ語インテンシヴ1		2	←		2	→	2	
		ドイツ語インテンシヴ2		2	←		2	→	2	
		ド イ ツ 語 会 話 1		1	←		1	→	1	
		ド イ ツ 語 会 話 2		1	←		1	→	1	
		ドイツ語スキルアップA		1		←	1	→	1	
		ドイツ語スキルアップB		1		←	1	→	1	
		ドイツ語スキルアップC		1		←	1	→	1	
		ドイツ語スキルアップD		1		←	1	→	1	
		フ ラ ン ス 語 1		1	1				1	
		フ ラ ン ス 語 2		1	1				1	
		フ ラ ン ス 語 3		1		1			1	
		フ ラ ン ス 語 4		1		1			1	
		フランス語インテンシヴ1		2	←		2	→	2	
		フランス語インテンシヴ2		2	←		2	→	2	
		フ ラ ン ス 語 会 話 1		1	←		1	→	1	
		フ ラ ン ス 語 会 話 2		1	←		1	→	1	
		フランス語スキルアップA		1		←	1	→	1	
		フランス語スキルアップB		1		←	1	→	1	
		フランス語スキルアップC		1		←	1	→	1	
		フランス語スキルアップD		1		←	1	→	1	
		中 国 語 1		1	1				1	
		中 国 語 2		1	1				1	
		中 国 語 3		1		1			1	
		中 国 語 4		1		1			1	
		中国語インテンシヴ1		2	←		2	→	2	
		中国語インテンシヴ2		2	←		2	→	2	
		中 国 語 会 話 1		1	←		1	→	1	
		中 国 語 会 話 2		1	←		1	→	1	
		中国語スキルアップA		1		←	1	→	1	
		中国語スキルアップB		1		←	1	→	1	
		中国語スキルアップC		1		←	1	→	1	
		中国語スキルアップD		1		←	1	→	1	
		基 礎 中 国 語 1		3	3				3	
		基 礎 中 国 語 2		3	3				3	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	実 用 中 国 語 1		3		3			3	
		実 用 中 国 語 2		3		3			3	
		応 用 中 国 語 1		2			2		2	
		応 用 中 国 語 2		2			2		2	
		韓 国 語 1		1	1				1	
		韓 国 語 2		1	1				1	
		韓 国 語 3		1		1			1	
		韓 国 語 4		1		1			1	
		韓国語インテンシヴ1		2	←		2		→	2
		韓国語インテンシヴ2		2	←		2		→	2
		韓 国 語 会 話 1		1	←		1		→	1
		韓 国 語 会 話 2		1	←		1		→	1
		韓国語スキルアップA		1		←	1		→	1
		韓国語スキルアップB		1		←	1		→	1
		韓国語スキルアップC		1		←	1		→	1
		韓国語スキルアップD		1		←	1		→	1
		基 礎 韓 国 語 1		3	3				3	
		基 礎 韓 国 語 2		3	3				3	
		実 用 韓 国 語 1		3		3			3	
		実 用 韓 国 語 2		3		3			3	
		応 用 韓 国 語 1		2			2		2	
		応 用 韓 国 語 2		2			2		2	
		ス ペ イ ン 語 1		1	1				1	
		ス ペ イ ン 語 2		1	1				1	
		ス ペ イ ン 語 3		1		1			1	
		ス ペ イ ン 語 4		1		1			1	
		スペイン語会話1		1	←		1		→	1
		スペイン語会話2		1	←		1		→	1
		ロ シ ア 語 1		1	1				1	
		ロ シ ア 語 2		1	1				1	
		ロ シ ア 語 3		1		1			1	
		ロ シ ア 語 4		1		1			1	
		基礎ロシア語1		3	3				3	
		基礎ロシア語2		3	3				3	
		実 用 ロシ ア 語 1		3		3			3	
		実 用 ロシ ア 語 2		3		3			3	
		応 用 ロシ ア 語 1		2			2		2	
		応 用 ロシ ア 語 2		2			2		2	
		基 礎 タ イ 語 1		3	3				3	
		基 礎 タ イ 語 2		3	3				3	
		実 用 タ イ 語 1		3		3			3	
		実 用 タ イ 語 2		3		3			3	
		応 用 タ イ 語 1		2			2		2	
		応 用 タ イ 語 2		2			2		2	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	基 礎 ベトナム 語 1		3	3				3	
		基 礎 ベトナム 語 2		3	3				3	
		実 用 ベトナム 語 1		3		3			3	
		実 用 ベトナム 語 2		3		3			3	
		応 用 ベトナム 語 1		2			2		2	
		応 用 ベトナム 語 2		2			2		2	
		基 礎 インドネシア 語 1		3	3				3	
		基 礎 インドネシア 語 2		3	3				3	
		実 用 インドネシア 語 1		3		3			3	
		実 用 インドネシア 語 2		3		3			3	
		応 用 インドネシア 語 1		2			2		2	
		応 用 インドネシア 語 2		2			2		2	
		基 礎 アラビア 語 1		3	3				3	
		基 礎 アラビア 語 2		3	3				3	
		実 用 アラビア 語 1		3		3			3	
		実 用 アラビア 語 2		3		3			3	
		応 用 アラビア 語 1		2			2		2	
		応 用 アラビア 語 2		2			2		2	
		日 本 語 リーディング 1		1	1				1	
		日 本 語 リーディング 2		1	1				1	
		日 本 語 ライティング 1		1	1				1	
		日 本 語 ライティング 2		1	1				1	
		日 本 語 スピーキング 1		1	←		1		→ 1	
		日 本 語 スピーキング 2		1	←		1		→ 1	
		時 事 日 本 語 1		1		←	1		→ 1	
		時 事 日 本 語 2		1		←	1		→ 1	
		ビ ジ ネ ス 日 本 語 1		1		←	1		→ 1	
		ビ ジ ネ ス 日 本 語 2		1		←	1		→ 1	
		日 本 語 スキルアップ 1		1		←	1		→ 1	
		日 本 語 スキルアップ 2		1		←	1		→ 1	
		基 礎 日 本 語 1		3	3				3	
		基 礎 日 本 語 2		3	3				3	
		実 用 日 本 語 1		3		3			3	
		実 用 日 本 語 2		3		3			3	
		応 用 日 本 語 1		2			2		2	
		応 用 日 本 語 2		2			2		2	

(全学共通教育科目)

学部	学科	授 業 科 目	必修 単位数	選択 単位数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
					第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
全 学 部	全 学 科	海 外 演 習 1		2	←	2		→	2	研修先によって言語名を 表記する。科目末尾番号 は、研修回数によって追 加できる。春季休業に開 講の研修科目は4年生に は配当しない。
		オンライン海外演習1		1	←	1		→	1	
		検 定 英 語 1		1	←	1		→	1	
		検 定 英 語 2		1	←	1		→	1	
		検 定 英 語 3		1	←	1		→	1	
		検 定 英 語 4		1	←	1		→	1	
		検 定 ド イ ツ 語 1		1	←	1		→	1	
		検 定 ド イ ツ 語 2		1	←	1		→	1	
		検 定 ド イ ツ 語 3		1	←	1		→	1	
		検 定 ド イ ツ 語 4		1	←	1		→	1	
		検 定 フ ラ ン ス 語 1		1	←	1		→	1	
		検 定 フ ラ ン ス 語 2		1	←	1		→	1	
		検 定 フ ラ ン ス 語 3		1	←	1		→	1	
		検 定 フ ラ ン ス 語 4		1	←	1		→	1	
		検 定 中 国 語 1		1	←	1		→	1	
		検 定 中 国 語 2		1	←	1		→	1	
		検 定 中 国 語 3		1	←	1		→	1	
		検 定 中 国 語 4		1	←	1		→	1	
		検 定 韓 国 語 1		1	←	1		→	1	
		検 定 韓 国 語 2		1	←	1		→	1	
		検 定 韓 国 語 3		1	←	1		→	1	
		検 定 韓 国 語 4		1	←	1		→	1	
		計	4	419	80	72	40	4	423	
					←	25		→		
					←	202		→		

別表第9（第42条関係）

学 部	学 科	履修区分	卒 業 所 要 単 位 数					
			全学共通教育科目		専 門 科 目		自由選択	計
			共通教育 科 目	外国語 科 目	学部基礎 科 目	学部専門 科 目		
政経学部	政治行政 学 科 経済学科		※30単位		4単位	80単位	10単位	124単位
体育学部	体育学科		10単位	4単位	20単位	90単位	-	124単位
	武道学科		10単位	4単位	24単位	86単位	-	124単位
	スポーツ医 科学科		12単位	4単位	21単位	87単位	-	124単位
	こども スポーツ 教育学科		10単位	4単位	20単位	90単位	-	124単位
理工学部	理工学科		19単位	8単位	7単位	79単位	11単位	124単位
法 学 部	法律学科							124単位
	現 代 ビジネス 法 学 科		18単位	8単位	20単位	68単位	10単位	124単位
文 学 部	教育学科	教 育 学 コ ー ス						
		初等教育 コ ー ス						
	史学地理 学 科	考 古・ 日本史学 コ ー ス	26単位	8単位	-	90単位	-	124単位
	文 学 科	地 理・ 環 境 コ ー ス 日本文学 ・ 文 化 コ ー ス						
21世紀 アジア 学 部	21世紀 アジア 学 科		14単位	24単位	-	74単位	12単位	124単位
経営学部	経営学科		26単位	8単位	-	82単位	8単位	124単位
備 考	※政経学部の全学共通教育科目単位数は、30単位のうち共通教育科目が18単位以上、外国語が8単位以上必要。							

別表第10

司書、司書教諭及び学校司書資格取得のための科目

授 業 科 目		必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
				第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
司書 (文学部)	図 書 館 概 論	2		2				2	1科目以上 選択必修
	情 報 サ ー ビ ス 論	2			2			2	
	情報サービス演習(1)	1				1		1	
	情報サービス演習(2)	1				1		1	
	図 書 館 情 報 資 源 特 論	2				2		2	
	情報資源組織演習(分類)	1				1		1	
	情報資源組織演習(目録)	1				1		1	
	図 書 ・ 図 書 館 史		2		2			2	
	図 書 館 基 礎 特 論		2			2		2	
	図 書 館 サ ー ビ ス 特 論		2			2		2	
	生涯学習概論A	2		2				2	
	児 童 サ ー ビ ス 論	2			2			2	
	図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2			2			2	
	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2			2			2	
	図 書 館 情 報 資 源 概 論	2			2			2	
	情 報 資 源 組 織 論	2			2			2	
	図 書 館 情 報 技 術 論	2			2			2	
	計	24	6	4	16	10		30	
司書教諭 (全学部共通)	学校経営と学校図書館	2				2		2	※教職課程における 大学が独自に設定する科目
	学校図書館メディアの構成	2				2		2	
	学習指導と学校図書館	2				2		2	
	読書と豊かな人間性	2				2		2	
	情報メディアの活用	2				2		2	
	計	10				10		10	

司書、司書教諭及び学校司書資格取得のための科目

授 業 科 目		必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
				第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
学校司書（文学部）	学校経営と学校図書館	2			2			2	
	図 書 館 情 報 技 術 論	2			2			2	
	図 書 館 情 報 資 源 概 論	2			2			2	
	情 報 資 源 組 織 論	2			2			2	
	情報資源組織演習(分類)	1				1		1	
	情報資源組織演習(目録)	1				1		1	
	学校図書館サービス論	2				2		2	
	情 報 サ ー ビ ス 論	2			2			2	
	情報サービス演習(1)	1				1		1	
	情報サービス演習(2)	1				1		1	
	教 育 基 礎 論	2		2				2	
	教 育 心 理 学	2		2				2	
	特 別 支 援 教 育 概 論		2		2			2	
	教 育 課 程 論		2			2		2	
	学習指導と学校図書館	2			2			2	
	読書と豊かな人間性	2			2			2	
	計	24	4	4	8	6		28	
					8	2			

別表第10の2

博物館学芸員及び社会教育主事資格取得のための科目

授 業 科 目		必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
				第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
博物館学芸員の科目（文学部）	博物館概論	2			2			2	1科目以上 選択必修
	博物館教育論	2			2			2	
	博物館経営論	2				2		2	
	博物館資料論	2				2		2	
	生涯学習概論A	2		2				2	
	博物館情報・メディア論	2				2		2	
	博物館実習1	2				2		2	
	博物館実習2	1					1	1	
	博物館展示論	2					2	2	
	博物館資料保存論	2					2	2	
	日本文化の歴史を考える		2	2				2	
	日本美術史（前期）		2			2		2	
	日本美術史（後期）		2			2		2	
	考古学の基礎		2	2				2	
	アーカイブズ学探究		2			2		2	
	計	19	10	4 2	4	8 6	5	29	
（21世紀アジア学部） 博物館学芸員の科目	博物館概論	2		←		2	→	2	
	博物館経営論	2				2		2	
	博物館資料論	2				2		2	
	博物館資料保存論	2				2		2	
	博物館展示論	2				2		2	
	博物館教育論	2				2		2	
	博物館実習1	2				2		2	
	博物館実習2	1					1	1	
	生涯学習概論	2		←		2	→	2	
	博物館情報・メディア論	2				2		2	
	計	19				14 4	1 →	19	

博物館学芸員及び社会教育主事資格取得のための科目

授 業 科 目		必修 単位 数	選択 単位 数	年 次 及 び 単 位 数					備 考
				第一 年次	第二 年次	第三 年次	第四 年次	計	
社会教育主事の科目（文学部）	生涯学習概論 A	2		2				2	
	生涯学習概論 B	2		2				2	
	生涯学習支援論 A	2				2		2	
	生涯学習支援論 B	2				2		2	
	社会教育経営論 A	2			2			2	
	社会教育経営論 B	2			2			2	
	図書館概論	2		2				2	
	博物館概論	2			2			2	
	社会的平等と社会教育	2		2				2	
	多文化共生と社会教育	2		2				2	
	社会教育実習	1				1		1	
	社会教育演習 A	1					1	1	
	社会教育演習 B	1					1	1	
	社会教育課題研究	1				1		1	
	計	24		10	6	6	2	24	

別表第11

免許状の種類及び各免許教科につき課程の認定を受けた学部、学科等

学 部	学 科 等	免許状の種類及び免許教科		認 定 年 度
		免許状の種類	免許教科・領域	
政 経 学 部	政 治 行 政 学 科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
			公 民	平31
	経 済 学 科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
			公 民	平31
			情 報	平31
			商 業	平31
体 育 学 部	体 育 学 科	中学校 一種	保 健 体 育	平31
		高等学校 一種		平31
	武 道 学 科	中学校 一種	保 健 体 育	平31
		高等学校 一種		平31
	ス ポ ー ツ 医 科 学 科	中学校 一種	保 健 体 育	平31
		高等学校 一種		平31
		養護教諭 一種		平31
	こどもスポーツ教育 学 科	小学校 一種		平31
		中学校 一種	保 健 体 育	平31
		高等学校 一種		平31
理 工 学 部	理 工 学 科	中学校 一種	数 学	平31
			理 科	平31
			技 術	平31
		高等学校 一種	数 学	平31
			理 科	平31
			情 報	平31
			工 業	平31
法 学 部	法 律 学 科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	公 民	平31
	現代ビジネス法学科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	公 民	平31

学 部	学 科 等	免 許 状 の 種 類 及 び 免 許 教 科		認 定 年 度
		免 許 状 の 種 類	免 許 教 科 ・ 領 域	
文 学 部	教 育 学 科	中学校 一種	社 会	平31
			保 健 体 育	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
			公 民	平31
			保 健 体 育	平31
		特別支援学校 一種	知 的 障 害 者 肢 体 不 自 由 者 病 弱 者	平31
		養護教諭 一種		平31
		幼稚園 一種		平31
		小学校 一種		平31
	史 学 地 理 学 科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
	文 学 科	中学校 一種	国 語	平31
		高等学校 一種	国 語	平31
			書 道	平31
21世紀 アジア学部	21 世 紀 ア ジ ア 学 科	中学校 一種	社 会	平31
			英 語	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
			公 民	平31
			英 語	平31
経 営 学 部	経 営 学 科	中学校 一種	社 会	平31
		高等学校 一種	地 理 歴 史	平31
			公 民	平31
			情 報	平31
			商 業	平31

別表第12

入 学 検 定 料

選抜制度の種類	検 定 料
1. AO入学試験、推薦選抜、スポーツ・武道選抜、社会人選抜、前期選抜、デリバリー選抜、中期選抜及び後期選抜 ※一定期間内の併願受験者の併願検定料については、別に定める。 2. 海外帰国生徒選抜、外国人留学生選抜及び編入学・転入学選抜	35,000円
大学入学共通テスト利用選抜 ※一定期間内の併願受験者の併願検定料については、別に定める。	15,000円
日本国外在住外国人留学生選抜 ※本大学が、海外で実施する外国人を対象とする入学者選抜	5,000円

別表第13 入 学 金 等

(単位:円)

(本表は令和8年度入学生に適用する。)

学 部		学 費 目 年	入学金	学 費			計	
				授業料	施 設 設備費	教材費		実 験 実習費
政経学部	政治行政学科 経済学科	1	200,000	790,000	292,000	—	—	1,282,000
		2	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		3	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		4	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
	政治行政学科 経済学科 〔社会人〕	1	200,000	450,000	247,000	—	—	897,000
		2	—	450,000	247,000	—	—	697,000
		3	—	450,000	247,000	—	—	697,000
		4	—	450,000	247,000	—	—	697,000
体育学部	体育学科	1	200,000	888,000	429,000	—	75,000	1,592,000
		2	—	888,000	429,000	—	80,000	1,397,000
		3	—	888,000	429,000	—	30,000	1,347,000
		4	—	888,000	429,000	—	30,000	1,347,000
	武道学科	1	200,000	888,000	429,000	—	30,000	1,547,000
		2	—	888,000	429,000	—	30,000	1,347,000
		3	—	888,000	429,000	—	70,000	1,387,000
		4	—	888,000	429,000	—	30,000	1,347,000
	スポーツ 医科学科	1	200,000	899,000	499,000	—	150,000	1,748,000
		2	—	899,000	499,000	—	200,000	1,598,000
		3	—	899,000	499,000	—	250,000	1,648,000
		4	—	899,000	499,000	—	200,000	1,598,000
	こどもスポーツ 教育学科	1	200,000	888,000	433,000	—	100,000	1,621,000
		2	—	888,000	433,000	—	105,000	1,426,000
		3	—	888,000	433,000	—	55,000	1,376,000
		4	—	888,000	433,000	—	55,000	1,376,000
理工学部		1	200,000	1,045,000	305,000	—	97,000	1,647,000
		2	—	1,045,000	305,000	—	97,000	1,447,000
		3	—	1,045,000	305,000	—	97,000	1,447,000
		4	—	1,045,000	305,000	—	97,000	1,447,000
法学部	法律学科 現代ビジネス 法学科	1	200,000	790,000	292,000	—	—	1,282,000
		2	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		3	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		4	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
	現代ビジネス 法学科 〔社会人〕	1	200,000	450,000	247,000	—	—	897,000
		2	—	450,000	247,000	—	—	697,000
		3	—	450,000	247,000	—	—	697,000
		4	—	450,000	247,000	—	—	697,000
文学部	教育学科教育学コース	1	200,000	840,000	302,000	—	50,000	1,392,000
	史学地理学科地理・環境コース		200,000	840,000	302,000	—	20,000	1,362,000
	その他の学科及びコース		200,000	840,000	302,000	—	—	1,342,000
	教育学科初等教育コース	2	—	840,000	302,000	—	50,000	1,192,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	840,000	302,000	—	20,000	1,162,000
	その他の学科及びコース		—	840,000	302,000	—	—	1,142,000
	教育学科初等教育コース	3	—	840,000	302,000	—	50,000	1,192,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	840,000	302,000	—	20,000	1,162,000
	その他の学科及びコース		—	840,000	302,000	—	—	1,142,000
	教育学科初等教育コース	4	—	840,000	302,000	—	50,000	1,192,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	840,000	302,000	—	—	1,142,000
	その他の学科及びコース		—	840,000	302,000	—	—	1,142,000
21世紀アジア学部		1	200,000	840,000	299,000	—	—	1,339,000
		2	—	840,000	299,000	—	—	1,139,000
		3	—	840,000	299,000	—	—	1,139,000
		4	—	840,000	299,000	—	—	1,139,000
経営学部		1	200,000	790,000	292,000	—	—	1,282,000
		2	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		3	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
		4	—	790,000	292,000	—	—	1,082,000
備 考			1. 学費は年額を示す。 2. 文学部のコースは別表第9の履修区分上のコースを示す。					

別表第14 入 学 金 等

(単位:円)

(本表は令和7年度入学生に適用する。)

学 部 \ 学 費 目 年			入学金	学 費			計	
				授業料	施 設 設備費	教材費		実 験 実習費
政経学部	政治行政学科 経済学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	政治行政学科 経済学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
体育学部	体育学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	75,000	1,574,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	80,000	1,334,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	30,000	1,309,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	武道学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	30,000	1,529,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	30,000	1,284,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	70,000	1,349,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	スポーツ 医科学科	1	240,000	870,000	413,000	30,000	150,000	1,703,000
		2	—	895,000	418,000	30,000	200,000	1,543,000
		3	—	920,000	418,000	30,000	250,000	1,618,000
		4	—	945,000	418,000	30,000	200,000	1,593,000
	こどもスポーツ 教育学科	1	240,000	860,000	399,000	30,000	100,000	1,629,000
		2	—	885,000	369,000	30,000	105,000	1,389,000
		3	—	910,000	369,000	30,000	55,000	1,364,000
		4	—	935,000	369,000	30,000	55,000	1,389,000
理工学部		1	240,000	954,000	300,000	10,000	97,000	1,601,000
		2	—	979,000	265,000	10,000	97,000	1,351,000
		3	—	1,004,000	265,000	10,000	97,000	1,376,000
		4	—	1,029,000	265,000	10,000	97,000	1,401,000
法学部	法律学科 現代ビジネス 法学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	現代ビジネス 法学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
文学部	教育学科初等教育コース	1	240,000	782,000	272,000	10,000	25,000	1,329,000
	史学地理学科地理・環境コース		240,000	782,000	272,000	10,000	20,000	1,324,000
	その他の学科及びコース		240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
	教育学科初等教育コース	2	—	804,000	247,000	10,000	25,000	1,086,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	804,000	247,000	10,000	20,000	1,081,000
	その他の学科及びコース		—	804,000	247,000	10,000	—	1,061,000
	教育学科初等教育コース	3	—	826,000	247,000	10,000	25,000	1,108,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	826,000	247,000	10,000	20,000	1,103,000
	その他の学科及びコース		—	826,000	247,000	10,000	—	1,083,000
	教育学科初等教育コース	4	—	848,000	247,000	10,000	25,000	1,130,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
	その他の学科及びコース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
21世紀アジア学部		1	240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
		2	—	804,000	242,000	10,000	—	1,056,000
		3	—	826,000	242,000	10,000	—	1,078,000
		4	—	848,000	242,000	10,000	—	1,100,000
経営学部		1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
備 考			1. 学費は年額を示す。 2. 文学部のコースは別表第8の履修区分上のコースを示す。					

別表第15 入 学 金 等

(単位:円)

(本表は令和6年度入学生に適用する。)

学 部			学 費 目 年	入学金	学 費			計
			授業料		施 設 設備費	教材費	実 験 実習費	
政経学部	政治行政学科 経済学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	政治行政学科 経済学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
体育学部	体育学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	75,000	1,574,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	80,000	1,334,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	30,000	1,309,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	武道学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	30,000	1,529,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	30,000	1,284,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	70,000	1,349,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	スポーツ 医科学科	1	240,000	870,000	413,000	30,000	150,000	1,703,000
		2	—	895,000	418,000	30,000	200,000	1,543,000
		3	—	920,000	418,000	30,000	250,000	1,618,000
		4	—	945,000	418,000	30,000	200,000	1,593,000
	こどもスポーツ 教育学科	1	240,000	860,000	399,000	30,000	100,000	1,629,000
		2	—	885,000	369,000	30,000	105,000	1,389,000
		3	—	910,000	369,000	30,000	55,000	1,364,000
		4	—	935,000	369,000	30,000	55,000	1,389,000
理工学部		1	240,000	954,000	300,000	10,000	97,000	1,601,000
		2	—	979,000	265,000	10,000	97,000	1,351,000
		3	—	1,004,000	265,000	10,000	97,000	1,376,000
		4	—	1,029,000	265,000	10,000	97,000	1,401,000
法学部	法律学科 現代ビジネス 法学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	現代ビジネス 法学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
文学部	教育学科初等教育コース	1	240,000	782,000	272,000	10,000	25,000	1,329,000
	史学地理学科地理・環境コース		240,000	782,000	272,000	10,000	20,000	1,324,000
	その他の学科及びコース		240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
	教育学科初等教育コース	2	—	804,000	247,000	10,000	25,000	1,086,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	804,000	247,000	10,000	20,000	1,081,000
	その他の学科及びコース		—	804,000	247,000	10,000	—	1,061,000
	教育学科初等教育コース	3	—	826,000	247,000	10,000	25,000	1,108,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	826,000	247,000	10,000	20,000	1,103,000
	その他の学科及びコース		—	826,000	247,000	10,000	—	1,083,000
	教育学科初等教育コース	4	—	848,000	247,000	10,000	25,000	1,130,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
	その他の学科及びコース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
21世紀アジア学部		1	240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
		2	—	804,000	242,000	10,000	—	1,056,000
		3	—	826,000	242,000	10,000	—	1,078,000
		4	—	848,000	242,000	10,000	—	1,100,000
経営学部		1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
備 考			1. 学費は年額を示す。 2. 文学部のコースは別表第8の履修区分上のコースを示す。					

別表第16 入 学 金 等

(単位:円)

(本表は令和5年度入学生に適用する。)

学 部			学 費 目 年	入学金	学 費			計
					授業料	施 設 設備費	教材費	
政経学部	政治行政学科 経済学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	政治行政学科 経済学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
体育学部	体育学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	75,000	1,574,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	80,000	1,334,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	30,000	1,309,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	武道学科	1	240,000	830,000	399,000	30,000	30,000	1,529,000
		2	—	855,000	369,000	30,000	30,000	1,284,000
		3	—	880,000	369,000	30,000	70,000	1,349,000
		4	—	905,000	369,000	30,000	30,000	1,334,000
	スポーツ 医科学科	1	240,000	870,000	413,000	30,000	150,000	1,703,000
		2	—	895,000	418,000	30,000	200,000	1,543,000
		3	—	920,000	418,000	30,000	250,000	1,618,000
		4	—	945,000	418,000	30,000	200,000	1,593,000
	こどもスポーツ 教育学科	1	240,000	860,000	399,000	30,000	100,000	1,629,000
		2	—	885,000	369,000	30,000	105,000	1,389,000
		3	—	910,000	369,000	30,000	55,000	1,364,000
		4	—	935,000	369,000	30,000	55,000	1,389,000
理工学部		1	240,000	954,000	300,000	10,000	97,000	1,601,000
		2	—	979,000	265,000	10,000	97,000	1,351,000
		3	—	1,004,000	265,000	10,000	97,000	1,376,000
		4	—	1,029,000	265,000	10,000	97,000	1,401,000
法学部	法律学科 現代ビジネス 法学科	1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
	現代ビジネス 法学科 〔社会人〕	1	240,000	420,000	225,000	10,000	—	895,000
		2	—	430,000	206,000	10,000	—	646,000
		3	—	440,000	206,000	10,000	—	656,000
		4	—	450,000	206,000	10,000	—	666,000
文学部	教育学科初等教育コース	1	240,000	782,000	272,000	10,000	25,000	1,329,000
	史学地理学科地理・環境コース		240,000	782,000	272,000	10,000	20,000	1,324,000
	その他の学科及びコース		240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
	教育学科初等教育コース	2	—	804,000	247,000	10,000	25,000	1,086,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	804,000	247,000	10,000	20,000	1,081,000
	その他の学科及びコース		—	804,000	247,000	10,000	—	1,061,000
	教育学科初等教育コース	3	—	826,000	247,000	10,000	25,000	1,108,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	826,000	247,000	10,000	20,000	1,103,000
	その他の学科及びコース		—	826,000	247,000	10,000	—	1,083,000
	教育学科初等教育コース	4	—	848,000	247,000	10,000	25,000	1,130,000
	史学地理学科地理・環境コース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
	その他の学科及びコース		—	848,000	247,000	10,000	—	1,105,000
21世紀アジア学部		1	240,000	782,000	272,000	10,000	—	1,304,000
		2	—	804,000	242,000	10,000	—	1,056,000
		3	—	826,000	242,000	10,000	—	1,078,000
		4	—	848,000	242,000	10,000	—	1,100,000
経営学部		1	240,000	730,000	270,000	10,000	—	1,250,000
		2	—	750,000	245,000	10,000	—	1,005,000
		3	—	770,000	245,000	10,000	—	1,025,000
		4	—	790,000	245,000	10,000	—	1,045,000
備 考			1. 学費は年額を示す。 2. 文学部のコースは別表第8の履修区分上のコースを示す。					